平成26年度

Shizuoka City Museum of Art　ANNUAL REPORT 2014

静岡市美術館年報　No.5

平成26年度　静岡市美術館年報　No. 5
Shizuoka City Museum of Art　ANNUAL REPORT 2014

目　次

1．基本理念・沿革
1－1　基本理念 …… 3
1－2　沿革 …… 3
1－3　平成26(2014)年度事業一覧 …… 4

2．展覧会事業
2－1　巨匠の眼　川端康成と東山魁夷 …… 6
2－2　読売新聞創刊140周年記念・静岡第一テレビ開局35周年　法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り― …… 15
2－3　日本のアニメーション美術の創造者　山本二三展　～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～ …… 21
2－4　徳川家康公顕彰四百年記念事業・静岡市文化振興財団設立20周年記念事業
国宝・久能山東照宮展―家康と静岡ゆかりの名宝 …… 28
2－5　ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年 …… 36
2－6　没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて …… 43

3．交流事業(教育普及事業)
3－1　交流事業 …… 55
1)Shizubi Project 4 ヒトのカタチ、彫刻　津田亜紀子/藤原彩人/青木千絵／2)Shizubi シネマアワー／3)ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」／4)しずびオープンアトリエ／5)しずびチビッこプログラム／6)暦とあそぶワークショップ／7)プレゼントワークショップ／8)夜店市
3－2　連携事業 …… 64
1)ミュージアム教室・展示解説／2)静岡大学連携事業「静岡大学アートマネジメント力育成事業」／3)生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」／4)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)／5)静岡市文化振興財団設立20周年連携事業「キニナルスキニナルプロジェクト」／6)その他施設との連携等

4．受託事業等
4－1　受託事業 …… 69
1)「竹久夢二」展／2)静岡市清水文化会館マリナート常設展示「平野富山―清水が生んだ彩色木彫の名匠」／3)徳川家康公顕彰四百年記念事業 神の葵と将軍の葵―京都洛北世界遺産　上賀茂神社展―

5．調査研究・研修受入等
5－1　調査研究 …… 72
5－2　研修受入等 …… 73
5－3　博物館実習 …… 73
5－4　視察等受入 …… 74
5－5　その他 …… 74

6．収蔵品・図書等
6－1　収蔵品貸出 …… 75
6－2　画像貸出等 …… 75
6－3　図書等 …… 75

7．広報活動
7－1　広報印刷物 …… 76
7－2　ウェブサイト …… 77
7－3　施設広報記録 …… 77

8．管理運営
8－1　利用者数 …… 78
8－2　過去展覧会一覧 …… 83
8－3　組織図・職員名簿 …… 84
8－4　条例・施行規則 …… 85
8－5　施設・建築概要 …… 87

1．基本理念・沿革

1－1　基本理念

静岡市美術館は、JR静岡駅北口の25階建ビル「葵タワー」3階に、平成22年5月に開館、同年10月にグランドオープンしました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念とし、展覧会、教育普及、調査研究活動を行っています。
展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。
また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。
駅から徒歩3分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

美術館ロゴマーク

ロゴマークは、静岡、そして日本を象徴する富士山をモチーフにしています。重ねられた2つの円には、美術館を中心とした人の輪の広がりと、地域と世界を結ぶイメージが表されています。また、視点と奥行きの変化による“視ることの楽しさ”にも気付かせてくれます。

デザイン：柿木原政広（アートディレクター）

1－2　沿革

平成18(2006)年
3月　「静岡市文化振興ビジョン」策定
8月1日　有識者による「(仮称)静岡市立美術館基本計画懇話会」設置

平成19(2007)年
3月　「(仮称)静岡市立美術館　基本計画」策定
4月1日　「静岡市新美術館準備検討委員会」設置
（委員長：白井嘉尚静岡大学教授）
6月5日　「第1回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
以降、平成21(2009)年3月23日まで計7回開催
7月4日　「葵タワー」着工

平成20(2008)年
3月　「(仮称)静岡市立美術館運営実施計画」策定

平成21(2009)年
7月8日　美術館内装建築工事着工[内装設計：㈱丹青研究所、内装建築工事：㈱木内建設]
7月16日　静岡市美術館条例制定
11月12日　静岡市美術館条例施行規則制定

平成22(2010)年
3月24日　静岡市が㈶静岡市文化振興財団を指定管理者に指定
3月31日　「葵タワー」竣工
4月1日　「葵タワー」オープン
4月21日　静岡市美術館竣工
5月1日　静岡市美術館開館・完成記念式典開催
9月30日まで展覧会関連事業および交流事業を実施
10月1日　静岡市美術館グランドオープン記念式典開催
10月2日　開館記念展<Ⅰ>「ポーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ」開催（－11月28日）

平成23(2011)年
5月9日　当館のヴィジュアル・アイデンティティー（含：ロゴマーク）が「ワンショウ(ONE Show)」の銀賞を受賞

平成24(2012)年
1月4日　当館エントランスに漆芸作品「東海道五十三次ひとめ図」が設置され、除幕式を実施

平成25(2013)年
9月14日　来館100万人達成記念式典を実施

平成26(2014)年
5月2日　静岡県教育委員会より博物館相当施設に指定

平成27(2015)年
3月20日　静岡市が(公財)静岡市文化振興財団を第Ⅱ期指定管理者に再指定

※過去展覧会一覧については、83－84頁を参照。

1－3　平成26(2014)年度事業一覧

		展覧会	交流事業
平成26年（2014年）	4月		15日　暦とあそぶワークショップvol.8　関連展示 「こどもの日だ！昔のいろんな鯉のぼり」(－5月6日) 26日　暦とあそぶワークショップvol.8 「こどもの日だ！家族みんなで“鯉のぼり”をつくろう」
	5月	巨匠の眼　川端康成と東山魁夷 4月12日－6月1日＜開館44日間＞	3日　Shizubiシネマアワー vol.11　「映画×文学」①『伊豆の踊子』 4日　Shizubiシネマアワー vol.11　「映画×文学」②『コレラの時代の愛』 11日　プレゼントワークショップvol.11 「母の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」 24日　しずびチビッこプログラム①
	6月	読売新聞創刊140周年記念 静岡第一テレビ開局35周年 法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り― 6月14日－7月27日＜開館38日間＞	15日　プレゼントワークショップvol.12 「父の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」 29日　しずびチビッこプログラム②
	7月		
	8月	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 ～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～ 8月4日－9月23日＜開館48日間＞	15日　夜店市(－17日) 16日　しずびオープンアトリエ 「手まわしアニメーション“ゾートロープ”をつくろう！」(－31日) 30日　Shizubi シネマアワー vol.12 「アニメーション！アニメーション!!」①『パンダコパンダ』 31日　Shizubi シネマアワー vol.12 「アニメーション！アニメーション!!」②『木を植えた男』他
	9月		6日　しずびチビッこプログラム③-1 14日　ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」 第8回「映画と音楽－高畑勲作品をめぐって」 20日　しずびチビッこプログラム③-2
	10月	徳川家康公顕彰四百年記念事業 静岡市文化振興財団設立20周年記念事業 国宝・久能山東照宮展―家康と静岡ゆかりの名宝 10月4日－11月24日＜開館45日間＞	
	11月		15日　しずびチビッこプログラム④
	12月	ロイヤル・アカデミー展 イギリス美術の華麗なる150年 12月6日－1月25日＜開館41日間＞	7日　プレゼントワークショップvol.13 「クリスマスの準備をしよう！子ども編」 14日　プレゼントワークショップvol.13 「クリスマスの準備をしよう！大人編」 16日　Shizubi Project 4　ヒトのカタチ、彫刻(－3月22日) 同　関連事業　アーティストトーク① 21日　Shizubi シネマアワー vol.13　「英国と二人の女王」 ①『ヴィクトリア女王　世紀の愛』 28日　Shizubi シネマアワー vol.13　「英国と二人の女王」②『クィーン』
平成27年（2015年）	1月		17日　しずびチビッこプログラム⑤ 24日　暦とあそぶワークショップvol.9 「節分の準備をしよう！」(実施中止)
	2月	没後100年　小林清親展 文明開化の光と影をみつめて 2月7日－3月22日＜開館38日間＞	7日　しずびオープンアトリエ 「提灯をつくろう！光をとおして見る清親の世界」(－3月22日) 11日　しずびチビッこプログラム⑥ 15日　Shizubi Project 4　関連事業　カタログ刊行記念 トークセッション「ヒトのカタチ、彫刻」 28日　Shizubi シネマアワー vol.14　「美術館の舞台裏」 ①『みんなのアムステルダム国立美術館へ』
	3月		1日　Shizubi シネマアワー vol.14　「美術館の舞台裏」 ②『ナショナル・ギャラリー　英国の至宝』 22日　Shizubi Project 4　関連事業　アーティストトーク② 28日　徳川家康公顕彰四百年記念事業 神の葵と将軍の葵―京都洛北世界遺産　上賀茂神社展―(－4月5日)

２．展覧会事業　目次

2－1　巨匠の眼　川端康成と東山魁夷…… 6

2－2　読売新聞創刊140周年記念・静岡第一テレビ開局35周年
法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―…… 15

2－3　日本のアニメーション美術の創造者　山本二三展　～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～　…… 21

2－4　徳川家康公顕彰四百年記念事業・静岡市文化振興財団設立20周年記念事業
国宝・久能山東照宮展―家康と静岡ゆかりの名宝…… 28

2－5　ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年 …… 36

2－6　没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて …… 43

2．展覧会事業

2−1　巨匠の眼　川端康成と東山魁夷

会期：4月12日（土）−6月1日（日）

概要：日本初のノーベル賞受賞文学者の川端康成と戦後を代表する日本画家・東山魁夷。それぞれの分野で美を追求した二人は、昭和30年、東山が川端の本の装丁を手がけたことをきっかけに深い親交をむすんだ。本展では、二人の交流に焦点をあてながら、川端康成が収集した美術品と、その中に含まれる東山魁夷作品、そして東山自身の作品やコレクションなど計200点余りを紹介した。
川端康成のコレクションは浦上玉堂《凍雲篩雪図》や池大雅《十便図》、与謝蕪村《十宜図》（いずれも国宝）をはじめとする古美術の名品から、昭和初期に交流のあった洋画家古賀春江や若き日の草間彌生といった前衛傾向の作品まで多岐にわたる。そして、ノーベル賞受賞を記念して画家本人から贈られた《北山初雪》をはじめとする東山魁夷の作品も少なからず含まれている。東山は川端の本のために挿絵や装画をたびたび描き、また川端は東山の画集に心のこもった序文を寄せるなど二人の交流はお互いの創作にも深くかかわるものであった。本展では、こうした川端と東山の言葉もあわせて紹介し、巨匠たちが制作の糧とした美術を「かたち」と「ことば」の両面からひもといた。

巡回先：なし

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、公益財団法人川端康成記念会、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社

監修：川端香男里（公益財団法人川端康成記念会理事長）、平山三男（同評議員）、東山すみ、齋藤進（東山家秘書）

企画：水原園博（公益財団法人川端康成記念会東京事務所代表）

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

観覧料：一般　1,100円（900円）
大高生・70歳以上　700円（500円）
中学生以下無料
※（　）内は前売および当日に限り20名以上の団体料金
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料
※リピーター割引：2回目以降、美術館窓口での半券提示で当日券200円引き

観覧者数：15,475人（有料11,108人、無料4,367人、有料率73.1％）

出品点数：120点（特別出品6点含む）

印刷物：
1）チラシ
＜仕様＞紙：OKスーパープラスター7C 90kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り（仕上A4）
グロスニス引き（表・裏共）
65,000部

2）ポスター
＜仕様＞紙：MT^{A+}-FS 135kg（各サイズ共）
加工：グロスニス引き（各サイズ共）
サイズ・数量：B1 100部（うち40枚はJR帯つき）、
B2 2,000部、B3 2,900部（うち400枚はJR帯つき）

チラシ表面

チラシ中面

B1・B2ポスター

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞150×211mm、476頁

カタログ表紙

カラー図版 369点（作品番号が付されているもののみ）
参考図版（カラー310点、モノクロ232点）

川端康成「美しい日本の私―その序説」
東山魁夷「星離(わか)れ行き」
森山秀子「ともに前衛の道を　川端康成と古賀春江」
森本穫「川端康成と源氏物語湖月抄」
原健太郎「川端康成と浅草」
川端香男里「文豪たちの書簡」
川端香男里「川端康成記念会と川端康成文学賞について」
稲葉真弓「川端康成の短編の魅力」
平山三男「川端康成と前衛（avant-garde アヴァン・ギャルド）技術革新で見えてくるモノ・世界関係性の変異と伝統」
平林彰「東山コレクション概説」
田口慶太「スケッチ、旅の始まりとともに」
川端康成「東山魁夷私感」
寺島照夫「あの日、あの時　東山先生を撮影して」
石川潤「雪月花の時―川端康成と東山魁夷」
水原園博「フォト・エッセイ　川端康成という森」

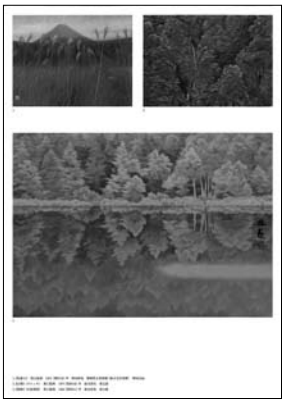
掲載作品目録

監修：川端香男里（公益財団法人川端康成記念会理事長）、東山すみ、斉藤進
編纂・執筆：水原園博（公益財団法人川端康成記念会東京事務所代表）
発行：株式会社求龍堂
発行年：2014年

※一般図書として刊行された。
※図録掲載作品の中には展覧会に出品されなかったものも含まれている。

普及ツール：
1）コラム入り作品リスト
鑑賞理解を促すため、作品についてのコラム入りの出品リストを制作、配布した。
＜仕様＞紙：b7トラネクスト 90kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り（仕上A4）
2枚重ね計8頁、折り目で2か所ホチキス止め
10,000部

表面


裏面

中面（コラム）

2）オリジナルブックカバーのプレゼント
川端康成、東山魁夷の著書を受付で提示した展覧会入場者に、当館オリジナルのブックカバーとシールをプレゼントした。

会期中払い出し数：金26件／銀29件　計55件

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、および特別メニューの提供を行った。

印刷物：

◆チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表

協賛チラシ裏

2)市内および近郊書店等でのしおりの配布

出品作品の図版と川端・東山の言葉をデザインしたしおりを5種類計5万枚作成し、静岡市および近郊の書店等に送付した。当館受付でしおりを提示した展覧会入場者には、当館オリジナルクリアファイルをプレゼントした。

印刷物：

◆しおり

＜仕様＞紙：MT^{A+}-FS 110kg

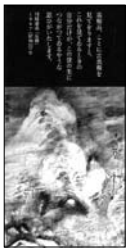
サイズ・加工・数量：60×120mm　グロスニス引き

全5種　各10,000部

横　表面　計4種

横　裏面（共通）

縦　表面　計1種



縦　裏面

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館：しずおか文化発信局』、4月2日・16日放送。
・「巨匠の眼　川端康成と東山魁夷展」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、4月11日放送。
・「巨匠の眼　川端康成と東山魁夷展」NHK静岡放送局『ひる・しず』、4月17日放送。
・「"巨匠の眼"入場者1万人」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、5月21日放送。

2)新聞

・「「かたち」と「ことば」、美を追求した二人の親交の軌跡　巨匠の眼　川端康成と東山魁夷」『日本経済新聞』(夕刊)東京本社版、5月1日。
・「二人の巨匠が見つめた「美」　巨匠の眼　川端康成と東山魁夷」『日本経済新聞』東京本社版、5月18日。
・「川端と東山の交流」『朝日新聞』(夕刊)東京本社版、5月21日。
・「川端康成と東山魁夷展　来館1万人突破　静岡市美術館」『日本経済新聞』静岡版、5月22日。
・宮川まどか「美術評　巨匠の眼　川端康成と東山魁夷　二人の巨匠　交流に光」『中日新聞』名古屋本社版、5月27日。

3)雑誌他

・「「巨匠の眼　川端康成と東山魁夷―知識も理屈もなく、私はただ見てゐる。」展　開催！」『ポトス』尾張旭・瀬戸・守山版、No.227。
・「展覧会紹介」『サライ』、4月号。
・「展覧会紹介」『あじくりげ』、672号。
・「展覧会紹介」『一個人』、6月号。
・「展覧会紹介」『ミセス』、6月号。
・「展覧会紹介」『美術の窓』、5月号。
・「展覧会紹介」『目の眼』、6月号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「静岡朝日テレビ」、「アットエス」、「歴史人」、「artscape」、「静岡市ホームページ」

関連事業：

1)記念講演会①「川端康成－モダニズムと『伝統』」

概要：本展監修者であり、比較文学・ロシア文学研究者である川端香男里氏を講師に迎えた。川端康成と東山魁夷の交流の紹介に加え、川端文学の本質について、20世紀文学の世界的動向を視野に入れた考察がなされた。
日時：4月12日(土)14:00－15:30
会場：多目的室　　**参加者数**：75人
講師：川端香男里氏(公益財団法人川端康成記念会理事長)

2)記念講演会②「東山魁夷の芸術について」

概要：東山魁夷の代表作を多数所蔵する東京国立近代美術館に長らく在籍し、2008年の東山魁夷の回顧展を手掛けた尾崎正明氏を講師に迎えた。東山魁夷の絵画の特徴について図版を多用してわかりやすく紹介した他、そうした造形的特質のみでは語りつくせない作品の魅力についてもふれた。
日時：4月19日(土)14:00－15:30
会場：多目的室　　**参加者数**：102人
講師：尾崎正明氏(美術史家、前京都国立近代美術館館長)

3)ギャラリートーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員による展示解説を行った。
日時：4月26日(土)、5月10日(土)　いずれも14:00－
会場：展示室　　**参加者数**：計65人
参加料：展覧会観覧料

4)SPAC俳優による朗読：川端文学の世界

概要：SPAC（静岡県舞台芸術センター）俳優による川端康成の短編小説の朗読会。朗読の合間には演出家によるトークを交え、学芸員による解説も実施した。
日時：5月17日(土)15:00－16:00
会場：多目的室　　**参加者数**：73人
演出：大岡淳　　**出演**：武石守正
（ともにSPAC-静岡県舞台芸術センター）

出品作品リスト

※作品番号は図録の番号と一致しない。
※作品データは原則として所蔵先提供資料に基づく。

第1章　文豪・川端康成

No.	題名	作者または制作・出土地	制作年	素材・技法	所蔵先	備考
1	自画像	川端康成	1916(大正5)年	紙本墨画	公益財団法人川端康成記念会	
2	文化勲章	畑正吉[デザイン]	1961(昭和36)年	七宝	公益財団法人川端康成記念会	デザインは1937年
3	ノーベル文学賞メダル	エリック・リンドベリ[デザイン]	1968(昭和43)年	金	公益財団法人川端康成記念会	デザインは1902年
4	ノーベル文学賞賞状	ギュンナー・ブルースウッツ／ケルスティン・アンカース	1968(昭和43)年	革、羊皮紙、彩色	公益財団法人川端康成記念会	
5	秋の野に	川端康成[書]、東山魁夷[画]	1968(昭和43)年	紙本墨書／紙本金銀彩、金銀箔	公益財団法人川端康成記念会	
6	ハワイ絵日記	平山郁夫(1930-2009)	1969(昭和44)年	紙本墨画淡彩	公益財団法人川端康成記念会	
7	『名人』(『八雲』稿)原稿	川端康成	1942(昭和17)年	紙・インク	公益財団法人川端康成記念会	
8	『名人』原稿	川端康成	1951-1954(昭和26-29)年	紙・インク	公益財団法人川端康成記念会	
9	山上林下人	川端康成	1968(昭和43)年	紙本墨書	東山家	孔雀筆による
10	心	川端康成	不詳	紙本墨書	東山家	
11	以文会友	川端康成	1971(昭和46)年	紙本墨書	公益財団法人川端康成記念会	
12	あてなるもの(『枕草子』より)	川端康成	不詳	紙本墨書	公益財団法人川端康成記念会	
13	佛はつねにいませども(『梁塵秘抄』より)	川端康成	不詳	紙本墨書	公益財団法人川端康成記念会	
14	根来硯台／猿面硯		不詳	木製漆塗／陶器、蒔絵装飾	東山家	川端康成旧蔵
15	孔雀筆		不詳	孔雀の羽、竹	公益財団法人川端康成記念会	
16	雲龍文象牙筆管		不詳	象牙、毛	公益財団法人川端康成記念会	
17	竹鳳凰文螺鈿箱／川端愛用の墨		不詳	木製漆塗螺鈿装飾／墨	公益財団法人川端康成記念会	
18	川端康成の書斎　再構成(富本憲吉《色絵灰皿》、一期一会硯箱、象牙山水文筆立、白磁丸型水滴など)				公益財団法人川端康成記念会	
19	『湖月抄』	北村季吟[著]	不詳	紙・木版、冊子	公益財団法人川端康成記念会	

第2章　川端康成の眼

No.	題名	作者または制作・出土地	制作年	素材・技法	所蔵先	備考
20	土偶　女子		縄文時代晩期(紀元前3-2世紀)	素焼	公益財団法人川端康成記念会	
21	埴輪　乙女頭部		古墳時代(5-6世紀)	素焼	公益財団法人川端康成記念会	
22	聖徳太子立像		鎌倉時代(13-14世紀)	木造彩色玉眼	公益財団法人川端康成記念会	
23	懸仏　十一面観音像頭部		鎌倉時代(13世紀)	銅	公益財団法人川端康成記念会	
24	夢記断簡	明恵成弁(1173-1232)	鎌倉時代(13世紀前半)	紙本墨書	公益財団法人川端康成記念会	
25	松図	尾形光琳(1658-1716)	江戸時代(17世紀後半-18世紀前半)	紙本墨画	公益財団法人川端康成記念会	
26	国宝　十便図	池大雅(1723-1776)	1771(明和8)年	紙本墨画淡彩	公益財団法人川端康成記念会	会期中場面替えあり
27	国宝　十宜図	与謝蕪村(1716-1783)	1771(明和8)年	紙本墨画淡彩	公益財団法人川端康成記念会	会期中場面替えあり
28	芳野山図	池大雅	江戸時代(18世紀)	紙本墨画淡彩	公益財団法人川端康成記念会	
29	般若心経書巌中観音図	池大雅	江戸時代(18世紀)	紙本墨書・墨画	公益財団法人川端康成記念会	
30	文台	与謝蕪村	1782(天明2)年	木(桐)	公益財団法人川端康成記念会	
31	国宝　凍雲篩雪図	浦上玉堂(1745-1820)	江戸時代(19世紀初)	紙本墨画淡彩	公益財団法人川端康成記念会	展示期間：5/17～6/1
32	山水図	江川担庵(1805-1855)	江戸時代(19世紀前半)	紙本墨画	公益財団法人川端康成記念会	
33	恁麼	良寛(1758-1831)	江戸時代(19世紀)	紙本墨書	公益財団法人川端康成記念会	
34	俳画「うつくしや」	小林一茶(1763-1827)	江戸時代(19世紀初)	紙本墨書・墨画	公益財団法人川端康成記念会	
35	俳画「坂本は」	小林一茶(1763-1827)	江戸時代(19世紀初)	紙本墨書・墨画	公益財団法人川端康成記念会	
36	五位扇面	菅　茶山(1748-1827)	江戸時代後期(18世紀後半-19世紀前半)	紙本墨書	公益財団法人川端康成記念会	
37	桃花山禽双孔雀図	渡辺華山(1793-1841)	1827(文政10)年	絹本彩色	公益財団法人川端康成記念会	展示期間：4/12～5/16
38	仏頭	アフガニスタン・ハッダ	3-5世紀	塑像	公益財団法人川端康成記念会	
39	蓮池花鳥図	朝鮮	李朝(19世紀)	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
40	うろこ紋切子小鉢	小林栄一郎(生没年不詳)	不詳	ガラス	公益財団法人川端康成記念会	岩田藤七箱書
41	拭漆栗楕円盆	黒田辰秋(1904-1982)	1965(昭和40)年	木製漆塗	公益財団法人川端康成記念会	
42	拭漆紙刀	黒田辰秋	1965(昭和40)年	木製漆塗	公益財団法人川端康成記念会	
43	拭漆栃手箱	黒田辰秋	1968(昭和43)年	木製漆塗	公益財団法人川端康成記念会	
44	乾漆梅花盆	黒田辰秋	制作年不詳	木製朱漆	公益財団法人川端康成記念会	京都の骨董商柳孝より贈られたもの
45	梅茶杓／茶杓入れ	黒田辰秋	昭和40年代	木製漆塗／竹製	公益財団法人川端康成記念会	
46	耀貝螺鈿茶器	黒田辰秋	1970(昭和45)年	木製漆塗螺鈿装飾	公益財団法人川端康成記念会	
47	AFTER-NOON	古賀春江(1895-1933)	1913(大正2)年	紙・水彩	公益財団法人川端康成記念会	
48	藁塚のある景色	古賀春江	不詳	紙・水彩	公益財団法人川端康成記念会	
49	菊花園	古賀春江	不詳	紙・水彩	公益財団法人川端康成記念会	
50	煙火	古賀春江	1927(昭和2)年	キャンバス・油彩	公益財団法人川端康成記念会	
51	牛と少女	古賀春江	1929(昭和4)年	紙・墨	公益財団法人川端康成記念会	

No.	題名	作者または制作・出土地	制作年	素材・技法	所蔵先	備考
52	海の幻想	古賀春江	1927(昭和2)年	紙・墨	公益財団法人川端康成記念会	
53	朗らかな春	古賀春江	1930(昭和5)年	紙・インク、水彩	公益財団法人川端康成記念会	
54	孔雀	古賀春江	1932(昭和7)年	紙・鉛筆、水彩	公益財団法人川端康成記念会	
55	そこに在る	古賀春江	1933(昭和8)年	紙・水彩	公益財団法人川端康成記念会	
56	公園のエピソード	古賀春江	1933(昭和8)年	紙・水彩	公益財団法人川端康成記念会	
57	麗子喜笑図	岸田劉生(1891-1929)	1922(大正11)年	紙本墨画淡彩	公益財団法人川端康成記念会	
58	村娘	岸田劉生	不詳	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	木村荘八題
59	桃	梅原龍三郎(1888-1986)	1932(昭和7)年	キャンバス・油彩	個人蔵	
60	信州安茂里風景	岩崎勝平(1905-1964)	1948(昭和23)年頃	キャンバス・油彩	公益財団法人川端康成記念会	
61	萬年山遠望	高田力蔵(1900-1992)	1953(昭和28)年	キャンバス・油彩	公益財団法人川端康成記念会	
62	雑草	草間彌生(1929-)	1953(昭和28)年	紙・グワッシュ、インク	公益財団法人川端康成記念会	
63	不知火	草間彌生	1955(昭和30)年	紙・パステル、 グワッシュ、インク	公益財団法人川端康成記念会	
64	センチメンタル・ジャニー 神と共に	ベル・串田(1903-1994)	不詳	キャンバス・油彩	公益財団法人川端康成記念会	
65	キャナル・グランデ	村山肥出夫(1933-)	1971(昭和46)年	キャンバス・油彩	公益財団法人川端康成記念会	
66	秋一日	牧進(1936-)	1971(昭和46)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
67	滝(小下図)	東山魁夷	1954(昭和29)年頃	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
68	風	東山魁夷	1956(昭和31)年頃	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
69	お濠端	東山魁夷	1959(昭和34)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
70	女の手	オーギュスト・ロダン (1840-1917)	不詳	ブロンズ	公益財団法人川端康成記念会	
71	ビクトル・ユーゴー	オーギュスト・ロダン	不詳	ブロンズ	公益財団法人川端康成記念会	
72	女性像	オーギュスト・ルノワール (1841-1919)	1886年	紙・鉛筆	公益財団法人川端康成記念会	
73	ヴェールの女	パブロ・ピカソ(1881-1973)	1923年	紙・パステル	公益財団法人川端康成記念会	
74	グリージの教会	ピエール=ウジェーヌ・クレラン (1897-1980)	1969年	紙・水彩	公益財団法人川端康成記念会	
75	雪の中の詩人	ピエール=ウジェーヌ・クレラン	1969年	リトグラフ	公益財団法人川端康成記念会	

第3章　川端文学の世界

No.	題名	作者または制作・出土地	制作年	素材・技法	所蔵先	備考
76	『雪国』(創元社)	川端康成[著]、芹沢銈介[装幀]	1937(昭和12)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
77	『川端康成選集一』(改造社)	川端康成[著]、芹沢銈介[装幀]	1938(昭和13)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
78	『川端康成集』(改造社)	川端康成[著]、芹沢銈介[装幀]	1934(昭和9)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
79	『女性開眼』(創元社)	川端康成[著]、芹沢銈介[装幀]	1937(昭和12)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
80	『愛する人達』(新潮社)	川端康成[著]、芹沢銈介[装幀]	1941(昭和16)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
81	『温泉宿』(実業之日本社)	川端康成[著]、芹沢銈介[装幀]	1946(昭和21)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
82	『川端康成全集』表紙画画帖	安田靫彦(1884-1978)	1948-1954(昭和23-29)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
83	『川端康成全集』(新潮社)	川端康成[著]、安田靫彦[装幀]	1948-1954(昭和23-29)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
84	抒情歌	高井貞二(1911-1986)	1937(昭和12)年	紙・インク、淡彩	公益財団法人川端康成記念会	
85	『伊豆の踊子』挿絵原画	木村荘八(1893-1958)	1926(昭和元)年頃	紙・インク	公益財団法人川端康成記念会	
86	『抒情哀話　伊豆の踊子』 (近代文藝社)	川端康成[著]	1933(昭和8)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
87	四鶴飛翔図(『千羽鶴』装幀原画)	小林古径(1883-1957)	1952(昭和27)年	紙本墨画淡彩	公益財団法人川端康成記念会	
88	志野(『千羽鶴』挿絵原画)	杉山寧(1909-1993)	1952(昭和27)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
89	志野茶碗	加藤唐九郎(1898-1985)	不詳	陶器	公益財団法人川端康成記念会	
90	『千羽鶴(特装版)』	川端康成[著]、ケルスティン・ ティニ・ミウラ[装幀]	不詳	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
91	『千羽鶴(独語版)』 (ドイツ、フイッシャー社)	川端康成[著]、八代佐地子[訳]、 東山魁夷[装幀・挿絵]	1955(昭和30)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
92	『片腕』装幀原画	東山魁夷	1965(昭和40)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
93	『片腕』(新潮社)	川端康成[著]、東山魁夷[装幀]	1965(昭和40)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
94	『日も月も』(河出書房)	川端康成[著]、東山魁夷[装幀]	1955(昭和30)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
95	『四季より』(求龍堂)	川端康成[著]、東山魁夷[挿絵]	1962(昭和37)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
96	『四季より』「白馬」挿絵原画	東山魁夷	1962(昭和37)年	紙本墨画	東山家	
97	雪降る (『川端康成作品選』装幀原画)	東山魁夷	1968(昭和43)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
98	「川端康成作品選」(中央公論社)	川端康成[著]、東山魁夷[装幀]	1968(昭和43)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
99	『川端康成自選集』(集英社)	川端康成[著]、東山魁夷[装幀]	1968(昭和43)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
100	京の春(『古都』挿絵原画)	東山魁夷	1973(昭和48)年	紙本彩色	東山家	
101	京の秋(『古都』挿絵原画)	東山魁夷	1973(昭和48)年	紙本彩色	東山家	
102	冬の花(習作)	東山魁夷	1962(昭和37)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
103	『古都』(光悦垣直筆装)表紙原画	東山魁夷	1973(昭和48)年	絹本墨画金泥	公益財団法人川端康成記念会	
104	『古都』(光悦常直筆装)	川端康成[著・題字]、 東山魁夷[装幀・挿絵]	1973(昭和48)年	絹本墨画金泥	公益財団法人川端康成記念会	

No.	題名	作者または制作・出土地	制作年	素材・技法	所蔵先	備考
105	『古都』(牧羊社)	川端康成[著・題字]、東山魁夷[装幀・挿絵]	1973(昭和48)年	書籍	公益財団法人川端康成記念会	
106	『新潮　臨時増刊　川端康成読本』(昭和47年第7号)		1972(昭和47)年	書籍	個人蔵	
107	定家卿傳授に(『葉隠』より)	三島由紀夫(1925-1970)	不詳	紙本墨書	公益財団法人川端康成記念会	
108	菊池寛書簡				公益財団法人川端康成記念会	
109	谷崎潤一郎書簡				公益財団法人川端康成記念会	
110	林芙美子書簡				公益財団法人川端康成記念会	
111	岡本かの子書簡				公益財団法人川端康成記念会	
112	横光利一書簡				公益財団法人川端康成記念会	
113	太宰治書簡				公益財団法人川端康成記念会	
114	坂口安吾書簡				公益財団法人川端康成記念会	
115	三島由紀夫書簡(複写)				公益財団法人川端康成記念会	
116	瀬戸内寂聴書簡				公益財団法人川端康成記念会	

第4章　東山魁夷の眼

No.	題名	作者または制作・出土地	制作年	素材・技法	所蔵先	備考
117	彩色板絵	エジプト	プトレマイオス王朝時代(紀元前3世紀頃)	木、彩色	東山家	
118	石碑断片	エジプト	プトレマイオス王朝時代(紀元前3世紀頃)	石	東山家	
119	踊り手	ギリシャ	紀元前3世紀頃	ブロンズ	東山家	梅原龍三郎旧蔵
120	小動物像	ギリシャ	紀元前3世紀頃	ブロンズ	東山家	
121	片手付瓶	ローマ	不詳	ガラス	東山家	
122	梨型細瓶	ローマ	1-2世紀	ガラス	東山家	
123	緑耳付瓶	ローマ	2-3世紀	ガラス	東山家	
124	緑彩黒絵鳥文瓶	ペルシャ・カーシャーン	13世紀頃	陶器	東山家	
125	青釉碗	ペルシャ	13世紀頃	陶器	東山家	
126	銀化鉢	ペルシャ	13世紀頃	陶器	東山家	
127	筒型青銅花入	中国	戦国時代(紀元前5-3世紀)	青銅	東山家	
128	官人立像	中国	漢時代(紀元前3-3世紀)	陶器	東山家	
129	加彩馬頭	中国	漢時代(紀元前3-3世紀)	陶器	東山家	
130	小禽図	中国	元時代(13-14世紀)	絹本彩色	東山家	
131	写経		天平時代(8世紀)	紙本墨書	東山家	唐招提寺旧蔵
132	舎利会香炉		鎌倉時代(13世紀)	木製彩色	東山家	唐招提寺旧蔵
133	伊勢物語図色紙	伝 俵屋宗達(生没年不詳)	江戸時代前期(17世紀)	紙本彩色	東山家	益田孝(鈍翁)旧蔵
134	源氏物語図屏風断簡	伝 俵屋宗達	江戸時代前期(17世紀)	紙本彩色	東山家	本願寺、団琢磨、安井曾太郎旧蔵
135	裸婦	長谷川利行(1891-1940)	1937(昭和15)年	キャンバス・油彩	東山家	
136	赤い道	長谷川利行	不詳	キャンバス・油彩	東山家	
137	早春風景	安井曾太郎(1888-1955)	1914(大正3)年頃	キャンバス・油彩	東山家	
138	桜島	梅原龍三郎(1888-1986)	1936(昭和11)年	キャンバス・油彩	東山家	
139	十一面観音菩薩図	村上華岳(1888-1939)	1914(大正3)年頃	紙本淡彩	東山家	
140	寒渚枯柳図	村上華岳	1920-1921(大正9-10)年	紙本墨画淡彩	東山家	
141	青磁香炉	板谷波山(1872-1963)	不詳	磁器	東山家	
142	彩斑　山帰来香炉	楠部彌弌(1897-1984)	1964(昭和39)年	陶器	東山家	
143	海辺にて	オーギュスト・ロダン	1906年頃	ブロンズ	東山家	梅原龍三郎箱書
144	光の横顔	オディロン・ルドン(1840-1916)	1886年	リトグラフ	東山家	
145	風景常新	川端康成	1968(昭和43)年	紙本墨書	東山家	
146	スエズ紀行　月夜(スケッチ)	東山魁夷	1933(昭和8)年	紙本彩色	東山家	
147	スエズ紀行　砂漠(スケッチ)	東山魁夷	1933(昭和8)年	紙本彩色	東山家	
148	スエズ紀行　驢馬(スケッチ)	東山魁夷	1933(昭和8)年	紙本彩色	東山家	
149	スエズ紀行　オアシス(スケッチ)	東山魁夷	1933(昭和8)年	紙本彩色	東山家	
150	スエズ紀行　街(スケッチ)	東山魁夷	1933(昭和8)年	紙本彩色	東山家	
151	スエズ紀行　水汲み(スケッチ)	東山魁夷	1933(昭和8)年	紙本彩色	東山家	
152	スエズ紀行　港(スケッチ)	東山魁夷	1933(昭和8)年	紙本彩色	東山家	
153	ストックホルム　グランドホテルより(スケッチ)	東山魁夷	1962(昭和37)年頃	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	取材地：スウェーデン
154	フレデリク城を望む(スケッチ)	東山魁夷	1963(昭和38)年頃	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	取材地：デンマーク
155	白夜薄明(スケッチ)	東山魁夷	不詳	紙本彩色	東山家	
156	夕紅(スケッチ)	東山魁夷	1990(平成2)年	紙本彩色	東山家	取材地：デンマーク
157	窓辺に寄せて(スケッチ)	東山魁夷	不詳	紙本彩色	東山家	
158	『北欧紀行　古き町にて』	東山魁夷[著・画]	1964(昭和39)年	リトグラフ、ポートフォリオ	東山家	
159	東山魁夷宛て川端康成書簡		1964(昭和39)年	紙本墨書	東山家	

No.	題名	作者または制作・出土地	制作年	素材・技法	所蔵先	備考
160	裏窓(スケッチ)	東山魁夷	1969(昭和44)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	取材地： オーストリア　ザルツブルグ
161	マリアの壁	東山魁夷	1971(昭和46)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	取材地： オーストリア　エッツ
162	晩鐘(スケッチ)	東山魁夷	1971(昭和46)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	取材地： ドイツ　フライブルク
163	太湖の畔り(スケッチ)	東山魁夷	1976(昭和51)年	紙本彩色	東山家	取材地：中国
164	灘江にて(スケッチ)	東山魁夷	1976(昭和51)年	紙本彩色	東山家	取材地：中国
165	潮音(小下図)	東山魁夷	1966(昭和41)年	紙本彩色	東山家	取材地： 島根県　戸田小浜
166	雲二題　山の雲(スケッチ)	東山魁夷	1949(昭和24)年	紙本彩色	東山家	取材地： 岐阜県上宝郡笠ケ岳
167	雲二題　海の雲(スケッチ)	東山魁夷	1949(昭和24)年	紙本彩色	東山家	取材地： 山形県鶴岡市湯野浜
168	望郷(スケッチ)	東山魁夷	1973(昭和48)年頃	紙本彩色	東山家	取材地：瀬戸内海
169	荒寥(スケッチ)	東山魁夷	1972(昭和47)年	紙本彩色	東山家	
170	ポプラ並木(スケッチ)	東山魁夷	1977(昭和52)年	紙本彩色	東山家	
171	花(木版原画)	東山魁夷	1985(昭和60)年	紙本彩色	東山家	
172	山峡(スケッチ)	東山魁夷	1973(昭和48)年	紙本彩色	東山家	唐招提寺障壁画制作のためのスケッチ
173	朝雲(木版原画)	東山魁夷	1976(昭和51)年	紙本彩色	東山家	取材地：奈良県　吉野
174	緑の朝(スケッチ)	東山魁夷	不詳	紙本彩色	東山家	
175	緑影(木版原画)	東山魁夷	1986(昭和61)年	紙本彩色	東山家	
176	断崖を望む(スケッチ)	東山魁夷	1969(昭和44)年頃	紙本彩色	東山家	取材地： ドイツ　オーバー・ゼー
177	山湖静(習作)	東山魁夷	1967(昭和42)年	紙本彩色	個人蔵	
178	樹根(小下図)	東山魁夷	1955(昭和30)年	紙本彩色	東山家	取材地： 高知県　室戸岬
179	暮秋(スケッチ)	東山魁夷	不詳	紙本彩色	東山家	
180	秋映(スケッチ)	東山魁夷	1957(昭和32)年	紙本彩色	東山家	取材地： 神奈川県箱根町姥子
181	秋林(習作)	東山魁夷	不詳	紙本彩色	東山家	
182	冬近し(習作)	東山魁夷	1974(昭和49)年	紙本彩色	東山家	取材地： ドイツ北部　ザクセンヴァルト
183	水辺の秋(スケッチ)	東山魁夷	不詳	紙本彩色	東山家	
184	落葉(スケッチ)	東山魁夷	1977(昭和52)年	紙本彩色	東山家	取材地：ドイツ
185	木枯らし舞う(習作)	東山魁夷	1983(昭和58)年	紙本彩色	東山家	取材地：ドイツ北部
186	秋富士	東山魁夷	1955(昭和30)年	絹本彩色	静岡県立美術館 (鈴木光氏寄贈)	特別出品
187	冬日(スケッチ)	東山魁夷	1975(昭和50)年	紙本彩色	東山家	取材地：ドイツ
188	北山杉　秋(習作)	東山魁夷	1962(昭和37)年	紙本彩色	東山家	取材地：京都府　北山
189	北山杉　冬(習作)	東山魁夷	1962(昭和37)年	紙本彩色	東山家	取材地：京都府　北山
190	北山初雪	東山魁夷	1968(昭和43)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	取材地：京都府　北山
191	雪の山郷(習作)	東山魁夷	1983(昭和58)年	紙本彩色	東山家	取材地： 秋田県鹿角市湯瀬
192	山峡飛雪(習作)	東山魁夷	1983(昭和58)年	紙本彩色	東山家	取材地： 岩手県・秋田県　八幡平
193	静晨(習作)	東山魁夷	1990(平成2)年	紙本彩色	東山家	取材地：長野県長野市
194	湖岸(小下図)	東山魁夷	1991(平成3)年	紙本彩色	東山家	取材地：ドイツ
195	樹氷(習作)	東山魁夷	1976(昭和51)年	紙本彩色	東山家	取材地：山形県山形市蔵王
196	月の光(習作)	東山魁夷	1998(平成10)年	紙本彩色	東山家	取材地：山形県山形市蔵王
197	聖夜(習作)	東山魁夷	1990(平成2)年	紙本彩色	東山家	取材地：ドイツ南部
198	星の夜(習作)	東山魁夷	1985(昭和60)年	紙本彩色	東山家	取材地：東京都
199	静宵(習作)	東山魁夷	1967(昭和42)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
200	月影(習作)	東山魁夷	1966(昭和41)年	紙本彩色	公益財団法人川端康成記念会	
201	しじまの渓(スケッチ)	東山魁夷	不詳	紙本彩色	東山家	
202	夕かげ(習作)	東山魁夷	1995(平成7)年	紙本彩色	東山家	
203	私ハ生カサレテキル	東山魁夷	不詳	紙本墨書、彩色	東山家	

2－2　読売新聞創刊140周年記念・静岡第一テレビ開局35周年
法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－

会期：6月14日（土）－7月27日（日）

概要：聖徳太子ゆかりの法隆寺は7世紀に創建された。2021年には聖徳太子1400年御遠忌を迎える。本展では法隆寺の国宝「観音菩薩立像（夢違観音）」や、重要文化財「観音菩薩立像」（兵庫・鶴林寺）、重要文化財「釈迦如来倚像」（東京・深大寺）など白鳳期（7世紀後半～8世紀初）の仏像や太子信仰に関する宝物によって、太子の「和」の精神をたどった。なお、第3章は「太子信仰の広がり」とし、巡回各館独自の内容で、当館では「法隆寺と徳川家」とした。

巡回先：福岡市美術館、岡崎市美術博物館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、法隆寺、静岡第一テレビ、読売新聞社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

学術協力：奈良国立博物館

特別協賛：セキスイハイム東海

協賛：あいおいニッセイ同和損保、野崎印刷紙業、ビーバンジョア

観覧料：一般　1,200円（1,000円）
大高生・70歳以上　800円（600円）
中学生以下無料
※（　）内は前売および当日に限り20名以上の団体料金
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料
※リピーター割引：2回目以降、美術館窓口での半券の提示で当日券200円引き

観覧者数：26,566人（有料19,600人、無料6,966人、有料率73.80％）

出品点数：72件（特別出品を含む）

印刷物：
1）チラシ
＜仕様＞紙：グラディアCoC 99kg
サイズ・数量：A4 70,000部

2）ポスター
＜仕様＞紙：マットコート135kg（B1）、グラディアCoC 120.5kg（B2・B3）
サイズ・数量：B1 140部（うち40枚はJR帯つき）、B2 2,000部、B3 2,600部（うち400枚はJR帯つき）

チラシ表面

チラシ裏面

B1ポスター

B2ポスター

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞210×297mm、173頁

カタログ表紙

カラー図版 193点
参考図版（カラー10点、モノクロ8点）

大野玄妙「聖徳太子と「和の精神」」
東野治之「法隆寺と聖徳太子」
湯山賢一「法隆寺と聖徳太子信仰の美術」

出品目録/法隆寺年表/法隆寺境内図　等

監修：奈良国立博物館、法隆寺
編集：奈良国立博物館、岡崎市美術博物館、静岡市美術館、福岡市美術館、読売新聞社
発行：読売新聞社
発行年：2014年

普及ツール：1）音声ガイド

各種連携：
1）近隣店舗との連携
葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、および特別メニューの提供を行った。
印刷物：
◆チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表

協賛チラシ裏

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「〇ごと伝言板：法隆寺展紹介」静岡第一テレビ『〇ごとワイド』、5月16日、7月8日放送。
・「もうすぐ開幕　法隆寺展の見どころ」静岡第一テレビ『〇ごとワイドnews every. しずおか』、6月10日放送。
・「静岡市美術館「法隆寺展」あす開幕」静岡第一テレビ『〇ごとワイド news every. しずおか』、6月13日放送。
・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『ひる・しず』、6月18日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館：しずおか文化発信局』、6月18日、7月23日放送。
・「あいチャン！！これイチ：法隆寺展国宝が静岡に！」静岡第一テレビ『あいチャン！！』、6月24日放送。
・「静岡市美術館　「法隆寺展」1万人突破」静岡第一テレビ『〇ごとワイド news every. しずおか』、7月4日放送。
・「展覧会紹介」FMしみず『マリンパルほっとライン』、7月17日放送。
・「静岡市美術館　「法隆寺展」入場者2万人に」静岡第一テレビ『〇ごとワイド』、『FRONT ZERO』、7月18日放送。

2)新聞

・「法隆寺の歴史感じて　静岡市美術館　国宝含む69件展示」『読売新聞』静岡版、6月14日。
・吉田恵理「法隆寺展①：優しく清々しい表情　国宝観音菩薩立像(夢違観音)」『読売新聞』静岡版、6月17日。
・大石沙織「法隆寺展②：V字形眉鋭く理知的　聖徳太子立像(2歳像)」『読売新聞』静岡版、6月20日。
・吉田恵理「法隆寺展③：太子16歳　父の平癒祈る　聖徳太子孝養像及び二王子・二天像」『読売新聞』静岡版、6月24日。
・吉田恵理「法隆寺展④：人物描写活き活きと　聖徳太子絵伝第三幅　遠江法橋筆」『読売新聞』静岡版、6月27日。
・大石沙織「法隆寺展⑤：家康　太子の加護求め奉納　剣　銘信国および剣袋」『読売新聞』静岡版、6月29日。
・「法隆寺展　1万人」『読売新聞』静岡版、7月5日。
・清岡央「家康と法隆寺の縁　静岡で法隆寺展」『読売新聞』東京本社版、7月16日。
・「法隆寺展　2万人突破」『読売新聞』静岡版、7月19日。

3)雑誌他

・「展覧会紹介」『目の眼』、6月号。
・「展覧会紹介」『エクラ』、7月号。
・「展覧会紹介」『季刊そう』、7月号。
・「展覧会紹介」『bun ten 文化展望 Art and Culture』、Vol.50。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「セキスイハイム東海メールマガジン」、「artscape」、「静岡市ホームページ」、「TNC静岡ジモティーズ」、「一個人」

開幕式終了後の展示室での法要

7月18日　2万人達成

関連事業：

1）講演会①「和の精神と日本文化－日本の宗教観と平和精神」

概要：展覧会開幕記念として、法隆寺管長の大野氏を講師に迎え、聖徳太子の「和」の精神や文化について、管長としての視点からお話いただいた。また、聖徳太子の生涯についても、出品作品や文献などをもとに紹介した。特に太子が広めたとされる仏教について、中国との交流を交えつつ、日本人の宗教観を考察した。なお、事前応募者が430人超となったため、音声をエントランスホールに流す対応を行った。
日時：6月14日（土）13:30－15:00
会場：多目的室　　**参加者数**：134人
講師：大野玄妙師（法隆寺管長）
主要広報記録：
◆テレビ
・「静岡市美術館　法隆寺の住職が講演」静岡第一テレビ『news every. サタデー』、6月14日放送。

2）講演会②「聖徳太子の伝記絵について」

概要：本展で学術協力を得た奈良国立博物館より北澤氏を招き、《聖徳太子絵伝》の成立の背景と描かれた内容を詳しく解説いただいた。鎌倉新仏教の興りを背景に、太子が日本の釈迦としてとらえられること、太子信仰の広がり、そこで利用された聖徳太子の伝記とその絵画化の関係などが紹介された。
日時：7月13日（日）14:00－15:30
会場：多目的室　　**参加者数**：127人
講師：北澤菜月氏（奈良国立博物館学芸部研究員）

3）講演会③「白鳳のほほえみ―飛鳥時代後期の彫刻について―」

概要：国宝《夢違観音》をはじめとする白鳳期（飛鳥時代後期）の仏像について、本展学術協力先の奈良国立博物館より岩田氏を招きご講演いただいた。白鳳という時代、様式的特色、金銅仏の構造や制作方法等彫刻史の基本的事項を、文献と貴重な画像とでわかりやすく説明された。夢違観音を白鳳から天平への過渡期的作品であると位置づけた。
日時：7月21日（月・祝）14:00－15:30
会場：多目的室　　**参加者数**：144人
講師：岩田茂樹氏（奈良国立博物館学芸部上席研究員）

出品作品リスト

※作品番号は図録の番号と一致。欠番の作品は静岡会場未出品。
※指定記号◉は国宝、◎は重要文化財、□は県指定文化財を示す。

第1章　夢違観音と白鳳のほほえみ

No.	指定	作品名	作品名(ルビ)	材質	時代	所蔵者	展示期間
1	◉	観音菩薩立像(夢違観音)	かんのんぼさつりゅうぞう(ゆめちがいかんのん)	銅造・鍍金	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
2	◎	観音菩薩立像	かんのんぼさつりゅうぞう	銅造・鍍金	飛鳥時代(7世紀)	兵庫・鶴林寺	通期
3	◎	釈迦如来倚像	しゃかにょらいいぞう	銅造・鍍金	飛鳥時代(7世紀)	東京・深大寺	通期
4	◎	観音菩薩立像	かんのんぼさつりゅうぞう	銅造・鍍金	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
5	◎	観音菩薩立像	かんのんぼさつりゅうぞう	銅造・鍍金	飛鳥時代(7世紀)	滋賀・報恩寺	通期
6	◎	観音菩薩立像(伝金堂薬師如来脇侍)	かんのんぼさつりゅうぞう (でんこんどうやくしにょらいきょうじ)	銅像・鍍金	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
7		菩薩立像	ぼさつりゅうぞう	銅造・鍍金	飛鳥時代(7世紀)	奈良・興福院	通期
8	◎	文殊菩薩立像	もんじゅぼさつりゅうぞう	木造・漆箔	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
9	◎	菩薩立像	ぼさつりゅうぞう	木造・彩色(現状)	飛鳥時代(7世紀)	奈良・金龍寺	通期
10	◎	菩薩半跏思惟像	ぼさつはんかしゆいぞう	銅像・鍍金	飛鳥時代(7世紀)	福岡市美術館 (松永コレクション)	通期
11		飛天(金堂天蓋附属)　横笛	ひてん(こんどうてんがいふぞく)　よこぶえ	木造・彩色	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
11		飛天(金堂天蓋附属)　蓮華	ひてん(こんどうてんがいふぞく)　れんげ	木造・彩色	天福元年(1233)	奈良・法隆寺	通期

第2章　聖徳太子と太子信仰

No.	指定	作品名	作品名(ルビ)	材質	時代	所蔵者	展示期間
12		聖徳太子立像(二歳像)	しょうとくたいしりゅうぞう(にさいぞう)	木造・彩色	徳治2年(1307)	奈良・法隆寺	通期
13		聖徳太子立像(二歳像)	しょうとくたいしりゅうぞう(にさいぞう)	木造・彩色	鎌倉時代 (13～14世紀)	奈良国立博物館	通期
14		聖徳太子曼荼羅	しょうとくたいしまんだら	絹本著色	室町時代(15世紀)	大阪・四天王寺	通期
18		聖徳太子立像(孝養像)	しょうとくたいしりゅうぞう(きょうようぞう)	木造・彩色	鎌倉時代(14世紀)	奈良・法隆寺	通期
19	◎	聖徳太子立像(孝養像)	しょうとくたいしりゅうぞう(きょうようぞう)	木造・彩色	鎌倉時代(13世紀)	奈良・成福寺	通期
20		聖徳太子孝養坐像	しょうとくたいしきょうようざぞう	木造・彩色	南北朝～室町時代 (14～15世紀)	大阪・四天王寺	通期
21	◎	聖徳太子孝養像	しょうとくたいしきょうようぞう	絹本著色	鎌倉時代(13世紀)	奈良・法隆寺	前期
22		聖徳太子孝養像	しょうとくたいしきょうようぞう	絹本著色	弘治2年(1556)	奈良・法隆寺	後期
25	◎	聖徳太子孝養像及び二王子・二天像	しょうとくたいしきょうようぞうおよび におうじ・にてんぞう	絹本著色	鎌倉時代(13世紀)	兵庫・鶴林寺	通期
27		聖徳太子孝養像・四臣像	しょうとくたいしきょうようぞう・ししんぞう	絹本著色	室町時代(15世紀)	大阪・四天王寺	通期
29		聖徳太子坐像(摂政像)	しょうとくたいしざぞう(せっしょうぞう)	木造・彩色	弘化2年(1845)	奈良・法隆寺	通期
31		聖徳太子摂政像(水鏡御影)	しょうとくたいしせっしょうぞう (みずかがみのみえい)	絹本著色	鎌倉時代 (13～14世紀)	奈良・法隆寺	通期
33		聖徳太子摂政像(楊枝御影)	しょうとくたいしせっしょうぞう (ようじのみえい)	絹本著色	鎌倉時代(14世紀)	大阪・四天王寺	通期
35		聖徳太子二王子像　幽竹法眼筆	しょうとくたいしにおうじぞう ゆうちくほうげん　ひつ	紙本著色	宝暦13年(1763)	奈良・法隆寺	前期
36		聖徳太子二王子像　和田貫水筆	しょうとくたいしにおうじぞう わだかんすい　ひつ	紙本著色	明治30年(1897)	奈良国立博物館	後期
39		聖徳太子勝鬘経講讃図	しょうとくたいししょうまんぎょうこうさんず	絹本著色	鎌倉時代(14世紀)	大阪・一心寺	通期
42	◎	聖徳太子絵伝　遠江法橋筆 第一～四幅	しょうとくたいしえでん とおとうみほっきょう　ひつ	絹本著色	元享3年(1323)	大阪・四天王寺	通期
45		聖徳太子絵伝　第一幅	しょうとくたいしえでん	絹本著色	南北朝時代(14世紀)	大阪・叡福寺	6/14-7/6
45		聖徳太子絵伝　第三幅	しょうとくたいしえでん	絹本著色	南北朝時代(14世紀)	大阪・叡福寺	7/8-7/27
45		聖徳太子絵伝　第四幅	しょうとくたいしえでん	絹本著色	南北朝時代(14世紀)	大阪・叡福寺	7/8-7/27
45		聖徳太子絵伝　第六幅	しょうとくたいしえでん	絹本著色	南北朝時代(14世紀)	大阪・叡福寺	6/14-7/6
47		聖徳太子絵伝	しょうとくたいしえでん	絹本著色	室町時代(15世紀)	大阪・四天王寺	通期
50	□	聖徳太子略絵伝	しょうとくたいしりゃくえでん	絹本著色	室町時代(16世紀)	愛知・満性寺	前期
51		聖徳太子略絵伝	しょうとくたいしりゃくえでん	絹本著色	室町時代(16世紀)	大阪・四天王寺	後期

No.	指定	作品名	作品名(ルビ)	材質	時代	所蔵者	展示期間
53	◎	聖皇曼荼羅　堯尊筆	しょうこうまんだら　ぎょうそん　ひつ	絹本著色	建長6年(1254)	奈良・法隆寺	前期
54		聖皇曼荼羅　竹坊与次兵衛慶茂筆	しょうこうまんだら たけのぼうよじへいよしけ　ひつ	紙本著色	寛政12年(1800)	奈良・法隆寺	後期
55		釈迦三尊十六羅漢図	しゃかさんぞんじゅうろくらかんず	絹本著色	室町時代(16世紀)	大阪・四天王寺	前期
56		山越阿弥陀図	やまこしあみだず	絹本著色	室町時代(15世紀)	奈良・當麻寺中之坊	後期
58		法華義疏　巻第一	ほっけぎしょ	紙本墨書	鎌倉時代(13世紀)	奈良・法隆寺	通期
59		聖徳太子講式　叡尊筆	しょうとくたいしこうしき　えいそん　ひつ	紙本墨書	永仁2年(1294)	奈良・西大寺	通期
60		聖徳太子講式　覚乗筆	しょうとくたいしこうしき　かくじょう　ひつ	紙本墨書	永享3年(1431)	大阪・四天王寺	通期
61	□	如意輪観音菩薩半跏像	にょいりんかんのんぼさつはんかぞう	木造・漆箔	平安時代(12世紀)	兵庫・鶴林寺	通期
62	◎	行道面(獅子頭)	ぎょうどうめん(ししがしら)	木造・彩色	平安時代(12世紀)	奈良・法隆寺	通期
62	◎	行道面(蠅払)	ぎょうどうめん(はえはらい)	木造・彩色	平安時代(12世紀)	奈良・法隆寺	通期
63	◎	八部衆面(沙羯羅)	はちぶしゅうめん(さから)	木造・彩色	保延4年(1138)	奈良・法隆寺	通期
63	◎	八部衆面(乾闥婆)	はちぶしゅうめん(けんだつば)	木造・彩色	保延4年(1138)	奈良・法隆寺	通期
63	◎	八部衆面(迦楼羅)	はちぶしゅうめん(かるら)	木造・彩色	保延4年(1138)	奈良・法隆寺	通期
63	◎	八部衆面(緊那羅)	はちぶしゅうめん(きんなら)	木造・彩色	保延4年(1138)	奈良・法隆寺	通期
64		法隆寺伽藍縁起并流記資財帳	ほうりゅうじがらんえんぎならびに るきしざいちょう	紙本墨書	江戸時代(18世紀)	奈良・法隆寺	通期
65		法隆寺東院縁起資財帳	ほうりゅうじとういんえんぎしざいちょう	紙本墨書	江戸時代(19世紀)	奈良・法隆寺	通期
66		聖徳太子伝暦	しょうとくたいしでんりゃく	紙本墨書	観応2年(1351)	奈良・法隆寺	通期
67		軒丸瓦・軒平瓦(若草伽藍所用)	のきまるがわら・のきひらがわら (わかくさがらん)	瓦製	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
68		蓮華文鬼瓦(若草伽藍所用)	れんげもんおにがわら (わかくさがらん)	瓦製	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
69		軒丸瓦・軒平瓦(斑鳩宮所用)	のきまるがわら・のきひらがわら (いかるがのみや)	瓦製	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
70		軒丸瓦・軒平瓦(西院伽藍所用)	のきまるがわら・のきひらがわら (さいいんがらん)	瓦製	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
71		銅七星剣	どうしちせいけん	刀身:銅製、漆 箔鞘:木製・黒漆 塗・金銅装	飛鳥時代(7世紀)	奈良・法隆寺	通期
72	◎	鳴鏑矢	なりかぶらや	鉄・竹・牛角	飛鳥時代(7世紀)	大阪・四天王寺	通期

第3章　太子信仰の広がりー法隆寺と徳川家ー

No.	指定	作品名	作品名(ルビ)	材質	時代	所蔵者	展示期間
78	□	剣　銘信国および剣袋	けん　めいのぶくにおよびけんぶくろ	刀身:鉄製 鞘:木製 剣袋:絹製	室町時代(15世紀)	奈良・法隆寺	通期
79		剣　無銘(伝天国)および剣袋	けん　むめい(でん　あまくに)および けんぶくろ	刀身:鉄製 把:銅製・鍍金 鞘:木製・黒塗漆 剣袋:絹製	桃山～江戸時代 (16～17世紀)	奈良・法隆寺	通期
80		桐文轡	きりもんくつわ	鉄製	桃山時代(16世紀)	奈良・法隆寺	通期
81		徳川家康像	とくがわいえやすぞう	絹本著色	江戸時代 (18～19世紀)	奈良・法隆寺	前期
82		徳川家康像	とくがわいえやすぞう	紙本墨画	江戸時代 (18～19世紀)	奈良・法隆寺	通期
83		六字名号	ろくじみょうごう	紙本墨書	桃山時代(16世紀)	奈良・法隆寺	通期
84		山岡鉄舟書	やまおかてっしゅう　しょ	紙本墨書	明治時代(19世紀)	奈良・法隆寺	通期
85		徳川家康禁制写、徳川秀忠朱印状写 黒漆塗箱附属	とくがわいえやすきんせいうつし、 とくがわひでただしゅいんじょううつし、 くろうるしぬりばこふぞく	紙本墨書	江戸時代 (18～19世紀)	奈良・法隆寺	通期
86		梓弓箱	あずさゆみばこ	木製、黒漆塗	元禄4年(1691)	奈良・法隆寺	通期
87		六目鏑矢の袋および箱	むつめかぶらやのふくろおよびはこ	袋:絹製 箱:木製・黒漆塗	元禄7年(1694)	奈良・法隆寺	通期
88		駿府政事録　巻第六、巻第八	すんぷせいじろく	紙本墨書	江戸時代 (18～19世紀)	奈良・法隆寺	通期
89		東照大権現様御宿坊之覚	とうしょうだいごんげんさま ごしゅくぼうのおぼえ	紙本墨書	江戸時代 (17～18世紀)	奈良・法隆寺	通期
特別出品		聖徳太子二歳像 平野富山作	しょうとくたいしにさいぞう ひらのふざん　さく	木造・彩色	昭和時代(20世紀)	静岡市 (静岡市美術館管理)	通期

2－3　日本のアニメーション美術の創造者
山本二三展
～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～

会期：8月4日（月）－9月23日（火・祝）

概要：山本二三（1953年－）はアニメーションの美術監督・背景画家として、「天空の城ラピュタ」（1986年）、「火垂るの墓」（1988年）、「もののけ姫」（1997年）、「時をかける少女」（2006年）など、日本を代表する数々の名作に携わり、今日まで作品を特徴づける背景画を描き続けている。
アニメーションの背景画は、普段あまり意識されることのない、物語を背後で支える重要な要素のひとつである。そこに山本は、入念な取材と豊かな色彩感覚、細密で写実的な表現によって、音やにおい、空気感までも漂わせるリアリティを生み出した。
アニメーションの中で、1枚の背景画を目にする時間はほんの一瞬である。しかし、その一瞬が積み重なり、ひとつの世界を作り上げたとき、私たちはそこにある風景に感情を動かされ、ときに郷愁さえ覚えるのはなぜだろうか。本展では、未公開作品を含む、作者自らが選んだ手描きの背景画やイメージボード（準備段階に描かれるスケッチ）など、初期から最新作まで約200点を一堂に紹介し、今なお私たちを魅了してやまない、山本二三の背景画の世界に迫った。
なお、毎週木曜日・土曜日を「トークフリーデー」とし、会話を楽しみながら鑑賞できるようにした。

巡回先：みやざきアートセンター、福岡アジア美術館、金沢21世紀美術館、出雲文化伝承館（※2014年度開催箇所のみ記載）

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送、毎日新聞社

後援：静岡市教育委員会

協力：絵映舎

企画協力：神戸新聞社

特別協賛：清水銀行

観覧料：一般　900円（700円）
大高生・70歳以上　700円（500円）
中学生以下無料
※（　）内は前売および当日に限り20名以上の団体料金
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料

観覧者数：66,773人
（有料48,950人、無料17,823人、有料率73.31％）

出品点数：214点

印刷物：
1)チラシ
＜仕様＞紙：b7トラネクスト 86kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り（仕上A4）72,000部

2)ポスター
＜仕様＞紙：マットコート 135kg（B1）
ミセスB スーパーホワイト 110kg（B2）
マットコート 110kg（B3）
サイズ・数量：B1 100部、B2 2,000部、B3 2,500部
（B2ポスターのみグロスニス引き加工あり）

チラシ表面

チラシ中面

B1ポスター

B2ポスター

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞226×297mm、131頁

カタログ表紙

カラー図版 192点
参考図版（モノクロ16点）

大森正夫「描かれた心象が「背景」となる時」
山本二三（構成・編集：金井紀子）「師は自然～私が背景画を続けてこられた理由」
岡泰正「山本二三美術監督「火垂るの墓」をめぐって」

アニメーション用語解説/作家略歴/フィルモグラフィー /出品目録

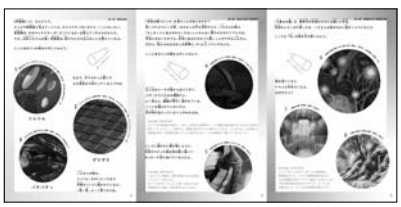
学術協力・編集：神戸市立博物館
解説執筆：岡泰正、菅本宏明、三好唯義、金井紀子
増補作品解説執筆：絵映舎
発行：神戸新聞社
発行年：2013年

普及ツール：1）音声ガイド　2）解説パネル
3）用語解説つき作品リスト

4）鑑賞ガイド
作品を探しながら鑑賞できるように、よく見てほしい作品を中心に、図版の一部分のみを掲載。作品横のアイコンパネルを目印に、作品を探しながら鑑賞することができる仕組みとした。

＜仕様＞紙：上質 90kg
サイズ・加工・数量：210×445.5mm（仕上210×148.5mm）
巻き三つ折り 10,000部

鑑賞ガイド表面


鑑賞ガイド中面

5）オリジナルしおり・缶バッジ
ファミリー層向けの事前広報ツールとして制作。人気作品「もののけ姫」の《シシ神の森》を半分ずつ印刷したしおりのうち一方を市内の小・中学校全校生徒に配布した他、市内の書店にも前売り券販売と同時に配架を依頼した。しおり持参者には、もう一方のしおりをプレゼント、さらに会期中再度入場した方にはオリジナル缶バッジをプレゼントした。

制作物：
◆しおり
＜仕様＞紙：ミラーコート・ゴールド 180kg
サイズ：各150×35mm
数量：タイプ① 150,000部、タイプ② 5,000部

タイプ①　表面

タイプ②　表面

タイプ①　裏面

タイプ②　裏面

2枚目引換者数：5,000人（8月4日より配布開始。8月14日に予定枚数に達し配布終了）

◆缶バッジ
＜仕様＞φ32mm　3,000個
利用者数：683人

6）「二三タイム」の実施
8月中無休の周知の一環として、8月中の毎週月曜日の14:00－15:00にご入場の方先着100人に展覧会オリジナル缶バッジをプレゼントした。

実施日：8月4・11・18・25日（いずれも月）
缶バッジ払い出し数：計400個

7）記念撮影スポットの設置
エントランスホール内に、記念撮影可能なスポットを設置した。

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、および近隣の店舗にて特別メニュー「碧い空に浮かぶ雲のスイーツ」の提供を行った。

印刷物：

◆チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表

協賛チラシ裏

2)静岡市立中央図書館との連携

図書館からの発案により、静岡市立中央図書館の入口で展覧会の告知を、さらに2階の展示スペースでは、所蔵図書と出品作品を比較展示した。

3)JR東海企画「アート＆トレイン」への協力

JR東海が企画した、電車を利用して県内7か所の美術館をめぐる「アート＆トレイン」へ協力。イベントリーフレット持参の方に展覧会オリジナル缶バッジを進呈した。

実施期間：8月5日（火）−9月23日（火・祝）

利用者数：1,199人

山本氏が普段使用している道具で再現した作業机

9月12日　入場者5万人達成

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」SBSラジオ『朝番長：情報三枚おろし』、7月31日放送。
・「アニメ背景の第一人者　山本二三さん作品展」静岡放送『JNNニュース：県内ニュース』、8月4日放送。
・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『たっぷり静岡』、8月13日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館：しずおか文化発信局』、8月13日、9月4日・10日放送。
・「山本二三展　来場者5万人達成」静岡放送『イブアイしずおか』、9月12日放送。
・「アニメーション美術監督　山本二三展　来場者5万人達成」静岡放送『静岡新聞ニュース』、9月13日放送。

2)新聞

・「山本二三展　静岡市美術館　8月4日から」『静岡新聞』、6月23日。
・安岡真理「アニメ美術の創造者　山本二三（上）　下町の空気感まで表現　じゃりン子チエ《大阪の夜》」『静岡新聞』（夕刊）、7月28日。
・安岡真理「アニメ美術の創造者　山本二三（中）　実写以上の感情的効果　火垂るの墓《捨てられた思い出》」『静岡新聞』（夕刊）、7月29日。
・安岡真理「アニメ美術の創造者　山本二三（下）　記憶を呼び起こす一瞬　時をかける少女《ゴーヤ棚》」『静岡新聞』（夕刊）、7月30日。
・渡辺亮一「風景が立ち上がる　山本二三展　日本のアニメーション美術の創造者」『毎日新聞』東京本社版、8月3日。
・「山本二三展あす開幕　静岡市美術館　背景画など210点展示」『静岡新聞』、8月3日。
・「情感豊か　アニメ背景画　山本二三展開幕　静岡市美術館」『静岡新聞』（夕刊）、8月4日。
・井上知大「静岡　山本二三展開幕　アニメ作品　世代超え魅了　「火垂るの墓」「もののけ姫」…」『毎日新聞』静岡版、8月5日。
・安岡真理「山本二三展@静岡市美術館（上）「未来少年コナン」背景を質感豊かに」『毎日新聞』静岡版、8月5日。
・安岡真理「山本二三展@静岡市美術館（中）「天空の城ラピュタ」架空の世界に現実感」『毎日新聞』静岡版、8月6日。
・安岡真理「山本二三展@静岡市美術案（下）「もののけ姫」神話的自然の原風景」『毎日新聞』静岡版、8月7日。
・河野貴子「入館1万人目は中区の神田さん　静岡市美術館の「山本二三展」」『中日新聞』静岡版、8月12日。
・「山本二三展　入場1万人　静岡市美術館　浜松の神田さんら幸運」『静岡新聞』、8月12日。
・「大自在」『静岡新聞』、8月13日。
・「アニメーション美術の創造者　山本二三展」『富士ニュース』、8月14日。
・「小冊子持参で美術館特典　JR東海、来月まで企画」『静岡新聞』、8月15日。
・「山本二三展　入場3万人　静岡市美術館　開幕から20日、最速記録」『静岡新聞』、8月24日。
・「名誉賞の宮崎駿監督　文明批判、自然への畏敬　奥深いアニメ文化創造　「後世に残すべき」県内ファン受賞祝福」『静岡新聞』、8月29日。
・「ラピュタの世界　細密に　背景画家　山本二三の200点」『読売新聞』静岡版、8月31日。
・「山本二三展　入場5万人　静岡市美術館　繊細な情景描写人気」『静岡新聞』、9月13日。
・「山本二三展6万人　静岡市美術館開館以来最多」『静岡新聞』、9月22日。
・「「芸術との境目薄く」「時代映す表現」…美術館“サブカルの秋”　県内、相次ぐ企画展好調」『静岡新聞』（夕刊）、10月30日。

3)雑誌他

・「展覧会紹介」『MOE』、8月号。
・「展覧会紹介」『くれよん』、8月号。
・「美しい日本のアニメーション美術が堪能できる　山本二三展～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～」『Hot Pepper』、8月号。
・「展覧会紹介」『CAR and DRIVER』、9月号。
・「展覧会紹介」『ミセス』、10月号。

4)ウェブサイト等（媒体名のみ記載）

「アートアニュアルオンライン」、「Japan Design Net」、「一個人」、「pen online」、クリエイティブwebマガジン「unsorted」、「静岡市Facebook」、「TNCジモティーズ」、「静岡ミュージックモール beatfull」、「伊豆フル」

関連事業：

1)清水銀行プレゼンツ
山本二三トークショー＆デモンストレーション
①トークショー＆サイン会
概要：山本氏を迎え、展覧会担当学芸員によるインタビュー形式でのトークショー。プロジェクターで出品作品や展示資料の写真を紹介しながら、山本氏自身の作品制作、本展覧会に寄せる思いなどを伺い、終了後にはサイン会を行った。
日時：8月9日(土)14:00－15:00
会場：多目的室
参加者数：125人　※サイン会は当選者のうち、本展の図録購入者(当館ミュージアムショップにて当日先着50名に実施)
講師：山本二三氏(美術監督・背景画家)
主要広報記録：
◆新聞
・神谷円香「「もののけ姫」などアニメ手掛ける　山本二三さん作品展　宮崎駿監督との裏話披露　葵区の市美術館トークショー」『中日新聞』静岡版、8月10日。
・「「火垂るの墓」「もののけ姫」…　背景画家の山本さん　アニメの緻密さ語る」『朝日新聞』静岡版、8月16日。

トークショー

②デモンストレーション(伝統的な背景画の実演制作)
概要：山本氏本人によるアニメーションにおける伝統的な背景画の実演制作。静岡会場に合わせ、「富士山」を描いた。作業の様子は多目的室のスクリーンに投影、山本氏から逐次解説いただきながら進行した。なお、完成した作品はその後展示室内で展示した。
日時：8月10日(日)14:00－15:00
会場：多目的室　　**参加者数**：139人
講師：山本二三氏(美術監督・背景画家)
主要広報記録：
◆新聞
・「山本二三さん　背景画実演　静岡市美術館で作品展開催中　アニメに豊かな表現」『静岡新聞』(夕刊)、8月11日。

デモンストレーション

展示室内でのデモンストレーション放映と作品展示

3)ギャラリートーク
概要：当館学芸員によるギャラリートークを会期中計2回実施した。会場内混雑により、展示室から多目的室に会場を変更し、プロジェクターに作品図版を投影し解説した。
日時：8月23日(土)、9月15日(月・祝)
いずれも16:00－
会場：多目的室　　**参加者数**：計82人

出品作品リスト

第1章：質感を描く

タイトル	寸法(cm)	種別
未来少年コナン　1978年		
コアブロック	26.8×37.6	背景画
ギガントコントロールルーム	26.0×36.2	背景画(ブック付き)
ルパン三世　1980年		
高円寺上空	24.6×36.0	背景画
アルバトロス	25.5×36.0	背景画
じゃりん子チエ　1981年		
縁日	24.5×35.0	背景画
チエの店(1)	24.4×34.7	背景画
陽だまり	26.2×36.4	背景画(セル付き)
決闘場	26.6×36.4	背景画
チエの勉強机	24.3×34.5	背景画
公園(1)	24.6×34.7	背景画
チエの店(2)	24.3×34.4	背景画
チエの店(3)	24.5×34.4	背景画
路地裏	24.6×34.7	背景画(ブック付き)
公園(2)	24.5×34.6	背景画
チエの店(4)	24.5×34.9	背景画
堅気屋	24.5×36.5	背景画(ブック付き)
大阪の夜	43.0×35.5	背景画(ブック付き)
かちかち山　1997年		
岩船様	26.0×36.0	イメージボード(ブック付き)
おじいさんの家	25.7×35.9	イメージボード
山への道	26.0×36.2	背景画(ブック付き)
夕暮れの家	25.6×36.1	イメージボード
かちかち山の麓の村	26.4×36.1	イメージボード
俯瞰のおじいさんの家	25.4×35.7	背景画
おじいさんの家の中	25.6×36.0	イメージボード(ブック付き)
夕日に染まる山	25.7×35.8	イメージボード
狸の砦	26.0×36.1	背景画(ブック付き)
燃える狸の小屋	25.8×36.0	背景画(ブック付き)
夜の囲炉裏端	25.8×36.3	背景画(ブック付き)
仇討ちのおじいさん	18.0×25.5	イメージボード
燃えおちた小屋	25.6×36.4	背景画
宇宙ショーへようこそ　2010年		
プラネットワン(1)	25.7×36.5	背景画
プラネットワン(2)	25.6×36.1	背景画
グスコーブドリの伝記　2012年		
寒村の広場	25.5×36.4	背景画
雪と馬車	26.0×41.9	背景画
閉ざされた教室	25.6×36.4	背景画

第2章：架空の世界に現実感を

タイトル	寸法(cm)	種別
天空の城ラピュタ　1986年		
隠れ家	25.4×36.2	背景画
炭鉱	25.6×36.2	背景画
月夜	25.5×36.2	背景画(ブック付き)
坑道	24.0×36.2	背景画
草原	25.6×36.2	背景画
ラピュタ内部	25.5×36.2	背景画
暖炉	25.4×36.2	背景画
ラピュタのロボット	25.5×36.2	背景画(セル付き)
内部への入り口	25.5×36.2	背景画
飛行石のある所	25.5×36.1	背景画(ブック付き)
荒れ地	25.5×36.2	背景画
荒廃したラピュタ	27.0×38.5	背景画(ブック付き)
炭鉱町	26.9×38.2	背景画
名探偵ホームズ　1982年		
アジト	25.5×35.3	背景画
金貨製造工場	25.0×36.3	背景画
夜のベーカー街	42.0×55.0	背景画(ブック付き)
ファンタジックチルドレン　2004年		
16世紀のフランス	26.0×36.0	背景画
廃墟	25.4×35.9	背景画
霧と教会	26.0×36.0	背景画
ガジュマルとアンコールトム	25.4×35.9	背景画
寺院	25.5×36.2	イメージボード
村	25.7×36.2	背景画(ブック付き)
NEMO／リトル・ニモ　1989年		
ニモの部屋	24.6×47.7	背景画
パレス	39.2×50.6	イメージボード
世界樹の迷宮Ⅳ　伝承の巨神　2012年		
街からのアプローチ	25.8×36.7	背景画
タルシス	35.3×25.5	背景画
タルシスの広場	25.8×36.6	背景画
セフリムの宿	25.8×37.0	背景画
ベルンド工房	25.4×36.6	背景画
冒険者ギルド	25.7×36.8	背景画
風馳ノ草原	38.9×27.2	背景画
碧照ノ樹海	38.8×27.3	背景画
深霧ノ幽谷	38.0×26.6	背景画
金剛獣ノ岩窟	36.8×25.4	背景画
木偶ノ文庫	36.7×25.4	背景画
煌天破ノ都	36.5×25.7	背景画
巨人の掌	36.9×25.5	背景画
歩き屋フリルとチョコレートきしだん　2013年		
トレイジャの街	26.3×36.8	挿絵
トレイジャの裏通り	25.7×36.9	挿絵
マドレーヌ王国に落ちるフリル	25.9×36.5	挿絵
チョコレートのお城	25.8×37.1	挿絵
洞窟の中の迷い道	26.0×36.9	挿絵
洞窟の中の大門	37.0×26.0	挿絵
カビルムシーバの宝物	25.7×37.2	挿絵
カビルムシーバの寝室	25.7×37.3	挿絵
マドレーヌ王国へ飛ぶフリル	36.9×26.0	挿絵
魔法をかけられる騎士たち	25.6×37.3	挿絵
王妃を守る王様	25.9×37.0	挿絵

第3章：背景画の持つ感情的効果

タイトル	寸法(cm)	種別
火垂るの墓　1988年		
捨てられた思い出	16.4×25.3	イメージボード
逃げ惑う影	16.8×25.2	イメージボード
哀しい点描	16.6×23.7	イメージボード
野荒し	16.6×24.1	イメージボード
何故…	18.2×24.3	イメージボード
忘れ物	16.6×24.1	イメージボード
節子と人形	16.6×25.0	イメージボード
破壊	18.0×25.4	カラーボード
火炎	18.1×25.4	カラーボード
駅のホーム	18.5×25.4	カラーボード
市電	18.0×25.3	カラーボード
駅	25.7×36.2	背景画(ブック付き)
裏通り	25.6×36.0	背景画(ブック付き)
縁側	25.8×36.3	背景画
清太の家	25.7×36.4	イメージボード
悲しみ	25.6×36.2	背景画(セル付き)
残された木	25.7×36.2	背景画
空襲	25.5×36.2	背景画
瓦礫	25.4×36.0	背景画(ブック付き)
焼跡の校庭	26.0×36.5	背景画(セル付き)
焼夷弾	25.8×36.2	背景画
疎開先	25.8×36.5	イメージボード
宵待草	25.6×36.2	背景画
雨上がり	25.5×36.2	背景画
水辺	25.7×36.2	背景画
二人の家	25.7×36.1	背景画(ブック付き)
水田	25.7×36.1	背景画(ブック付き)
ほとりに浮かぶ	25.6×36.2	背景画(ブック付き)
火垂るの家	25.9×36.2	背景画(ブック付き)
清太・節子の家	25.5×36.5	美術設定
三宮駅周辺	25.5×36.5	美術設定
はとよ　ひろしまの空を　1999年		
原爆ドーム	27.0×38.3	背景画
原爆の後	38.5×26.7	背景画(セル付き)

タイトル	寸法(cm)	種別
希望の木　2013年		
雪雲		背景画
被災した陸前高田市の高田松原と希望の木		背景画
被災前の希望の木		イメージボード
破壊された松原		イメージボード
希望の木		ポスター用原画
広田湾から陸前高田市の高田松原を望む		背景画
被災前の大町商店街		背景画
盛岡　温泉地ポスター　2012年		
つなぎ温泉	23.5×35.0	
鷲宿温泉	23.5×34.5	
肖像　2009年		
母達の肖像	52.0×64.5	
父の肖像	20.0×16.5	
五島・うるわしき郷里　2012年		
慈恵院のマリア様	28.5×21.0	
高浜の魚籃観音像	33.0×22.2	
三井楽町	23.0×31.5	
魚津ケ崎公園のコスモス畑	52.2×37.0	
大瀬崎灯台と椿	19.0×29.0	
長崎三景　2012年		
グラバー邸	23.5×34.6	
眼鏡橋	23.0×34.6	
大浦天主堂	23.5×34.6	

第4章：神話的自然の原風景

タイトル	寸法(cm)	種別
もののけ姫　1997年		
お社の中	27.0×38.1	背景画
中世の村	27.0×38.1	イメージボード
コダマの道(1)	27.1×38.1	背景画(ブック付き)
シシ神の森(1)	27.0×38.2	背景画
シシ神の森(2)	27.0×38.1	背景画(ブック付き)
木漏れ日	27.0×38.1	背景画
シシ神の森(3)	27.0×38.2	カラーボード(ブック付き)
タタラ場の食堂	27.0×38.2	イメージボード
シシ神の島(1)	27.0×38.2	背景画
シシ神の島(2)	27.0×38.2	背景画
シシ神の島(3)	27.0×38.2	背景画
デイダラボッチの山	27.0×38.2	背景画(ブック付き)
早朝の山	26.9×42.4	背景画(セル付き)
シシ神の森(4)	28.4×49.6	背景画
水底と苔	40.1×38.6	背景画
照葉樹林	19.0×27.0	イメージボード
朝の荒れ地	27.0×38.3	背景画(ブック付き)
コダマの道(2)	46.6×38.0	背景画
シシ神の森(5)	32.4×47.3	イメージボード
お社	61.5×52.4	背景画(ブック付き)
シシ神の森(6)	23.2×157.0	背景画(ブック付き)
川の光　2009年		
獣みち	25.4×35.9	背景画
野川	46.5×29.5	背景画
季節は巡り	19.5×149.0	背景画
菩提樹の春夏秋冬　2012年		
菩提樹の春夏秋冬	春夏27.0×93.3	壁紙用原画
	秋冬25.8×95.2	
無告(むこく)の森　2011年		
無題	42.1×39.6	イメージボード
ハイドゥナン　2011年		
復活	29.6×41.9	イメージボード
ミヨリの森　2007年		
輝く氷	41.9×30.5	イメージボード
ブナの林	26.0×36.2	イメージボード
怒れる精霊(1)	30.2×43.1	イメージボード
怒れる精霊(2)	27.0×38.3	イメージボード(セル付き)

タイトル	寸法(cm)	種別
山に帰る鹿	26.3×36.3	イメージボード
あらしのよるに　2005年		
リスの巣	25.4×40.2	背景画
光る草	33.2×36.0	背景画
くまのがっこう〜ジャッキーとケイティ　2010年		
一本橋	22.2×32.0	背景画
暗い森	21.8×30.2	背景画
金の小鳥　1990年		
北風さん	25.7×36.1	背景画(セル付き)
風車小屋	25.5×36.2	背景画(ブック付き)
おにぎりころりん　1991年		
倒木	25.3×36.0	背景画(セル付き)
夕暮れ	43.5×35.8	背景画(セル付き)
くじらぐも　1992年		
空へ	25.8×36.2	背景画(セル付き)
くじらぐもと散歩	23.5×36.0	背景画(セル付き)
おおかみと7ひきの子やぎ　1993年		
駆けっこ	25.4×36.0	背景画(セル付き)
おおかみと7ひきの子やぎ	25.0×35.8	背景画(セル付き)
Coo　遠い海から来たクー　1993年		
洋助の家	25.8×36.1	背景画
夜のダイニングキッチン	27.3×38.8	背景画
マナ島の砂浜	26.9×36.4	背景画(ブック付き)
マナ島の街	27.0×45.5	背景画
コーラルガーデン	37.0×65.7	背景画
タイコンデロンガのいる海　1990年		
沖縄の海	25.3×36.1	背景画
サバニ	25.4×36.0	背景画
教科書用挿絵　1998年		
三内丸山遺跡(青森県・縄文時代)		
三内丸山遺跡　家屋(青森県・縄文時代)		
「米づくりが始められたころ」(長野県更埴市・弥生時代)		
「米づくりが広がったころ」(長野県更埴市・弥生時代)		
「古墳を築く」(長野県更埴市・弥生時代)		

第5章：見なれた風景にひそむ、特別な一瞬

タイトル	寸法(cm)	種別
時をかける少女　2006年		
哲学堂グラウンド	25.8×36.1	背景画
真琴と美雪の部屋	26.0×36.0	背景画
家庭科実習室	25.9×36.1	背景画
理科実験室(1)	25.6×50.3	背景画
グラウンド	25.8×36.6	背景画
理科実験室(2)	25.6×36.1	背景画
洗い場	26.4×36.9	背景画
真琴の部屋	26.1×36.1	背景画
水底	25.4×36.0	背景画
理科実験室(3)	26.0×36.0	背景画
ドラッグストア前	25.6×35.7	背景画
真琴の家の廊下	26.2×36.2	背景画
夜の真琴の家	25.8×36.1	背景画(ブック付き)
坂道	25.5×36.5	背景画
踏切	44.9×29.8	ポスター原画
分かれ道	25.2×36.1	背景画
真琴の家	26.0×36.1	イメージボード
夕暮れ(1)	25.7×36.9	背景画
夕暮れ(2)	25.6×36.1	背景画
ゴーヤ棚	26.1×36.3	背景画
路地と花	25.5×36.0	背景画
国立博物館	25.9×36.5	背景画

2－4　徳川家康公顕彰四百年記念事業
静岡市文化振興財団設立20周年記念事業
国宝・久能山東照宮展
－家康と静岡ゆかりの名宝

会期：10月4日（土）－11月24日（月・祝）

概要：江戸幕府を開いた徳川家康が、晩年「久能城は駿府城の本丸と思う」と、その重要性を説き、自らを久能山に葬るよう遺言してから400年になろうとしている。家康没後、二代将軍秀忠によって整備されたその建造物は、最古の東照宮建築として2010年に国宝に指定された。
この機に当たり、本展では重要文化財「洋時計」をはじめとした家康の駿府大御所時代の遺愛品はもちろん、家康から慶喜まで徳川家歴代将軍所用の甲冑が、肖像画と共に初めて勢揃いした。また家康を尊敬した三代将軍家光が奉納した御神宝装束を公開するなど、久能山東照宮ならではの名宝が一堂に会した。さらに久能山東照宮前史として、久能寺（現・鉄舟寺）に伝来した日本三大装飾経の一つ、国宝「久能寺経」などにより、霊山である久能山の往時の繁栄をしのんだ。

巡回先：なし（自主企画展）

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社

共催：徳川家康公顕彰四百年記念事業推進委員会

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

特別協力：久能山東照宮、（公財）徳川記念財団、静岡新聞社

観覧料：一般　1,200円（1,000円）
大高生・70歳以上　800円（600円）
中学生以下無料
※（　）内は前売および当日に限り20名以上の団体料金
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料
※リピーター割引：2回目以降、美術館窓口での本展半券提示で当日券200円引き

観覧者数：20,353人（有料14,375人、無料5,978人、有料率70.63％）

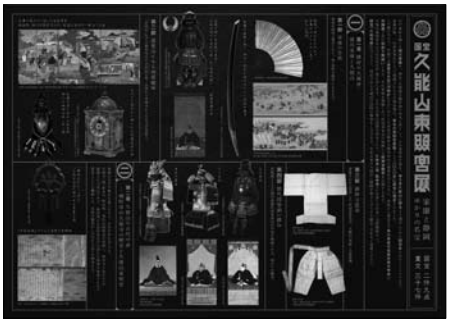
出品点数：125件（特別展示、参考出品含む）

印刷物：

1）チラシ
＜仕様＞紙：MT^{A+}-FS 110kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り（仕上A4）75,000部

2）ポスター
＜仕様＞紙：MT^{A+}-FS 135kg（各サイズ共）
サイズ・数量：B1 140部（うち40枚はJR帯つき）、
B2 2,000部、B3 2,700部（うち400枚はJR帯つき）

チラシ表面



チラシ中面

B1・B2ポスター①

B2ポスター②

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞193×258mm、148頁

カタログ表紙

カラー図版 231点
参考図版（カラー15点、モノクロ11点）

落合偉洲「ごあいさつ」
宮崎隆旨「国宝・久能山東照宮展―家康と静岡ゆかりの名宝―によせて」
宮崎隆旨「徳川家康の甲冑と御具足師岩井与左衛門」
田中潤「久能山東照宮伝世の御神宝装束―東照大権現神服としての白地有文の袍を中心に―」

久能寺関係年表/徳川家関係系図/徳川家関係年表/久能山東照宮300年祭・350年祭の記録/主要参考文献/出品目録　等

監修：宮崎隆旨（元奈良県立美術館 館長）
執筆：田中潤（お茶の水女子大学非常勤講師）、宮崎隆旨（監修者・元奈良県立美術館 館長）、渡辺妙子（佐野美術館 館長）、吉田恵理・大石沙織（静岡市美術館）
編集・発行：静岡市美術館
発行年：2014年

普及ツール：
1）音声ガイド

2）小学生向け展覧会みどころチラシ
静岡市内小学校6年生全員に対し、本展の鑑賞ガイドを作成、配布した。
＜仕様＞サイズ・数量：A4 10,000部

みどころチラシ　表面

みどころチラシ　裏面

各種連携：
1）近隣店舗との連携
葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、および特別メニューの提供を行った。
印刷物：
◆チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表

協賛チラシ裏

2）「国宝　久能山東照宮へ行こう!!」共通券・バス事業
本展を機会に久能山参拝を促すため、本展観覧券、静鉄バス、日本平ロープウェイ、東照宮拝観券、東照宮博物館観覧券をセットにした共通券（本展会期中のみの利用、通常一般4,160円のところ2,800円で販売）を作成・販売した。また、静岡駅～日本平ロープウェイ間の路線バスは、通常のダイヤに加え、直行便を往路1便、復路2便を増便した。
利用者数等：チケット売上枚数 1,236枚
バス乗車人数 398人（運行本数計138便）

制作物：
◆告知チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 90kg
サイズ・数量：A4 15,000部

◆チケット
＜仕様＞サイズ・数量：170×70mm、5,000部

チラシ

チケット

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「家康さんぽ：国宝久能山東照宮展紹介」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、9月19日放送。
・「国宝久能山東照宮展みどころ紹介①：家康公の洋時計」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、9月29日放送。
・「家康と静岡ゆかりの名宝が勢ぞろい　生中継・静岡市美術館」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、10月3日放送。
・「国宝久能山東照宮展　開幕セレモニー　静岡市美術館」静岡朝日テレビ『朝日テレビニュース』、10月3日放送。
・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『大御所のおメガネ』、10月4日放送。
・「国宝久能山東照宮展みどころ紹介②」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、10月6日放送。
・「国宝久能山東照宮展」NHK静岡放送局『県内ニュース』、10月7日放送。
・「国宝久能算東照宮展みどころ紹介③」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、10月13日放送。
・「国宝久能山東照宮展みどころ紹介④」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、10月20日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館：しずおか文化発信局』、10月22日・29日放送。
・「国宝久能山東照宮展　来場者1万人　静岡市美術館」静岡朝日テレビ『朝日テレビニュース』、10月30日放送。
・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、11月3日放送。
・「国宝久能山東照宮展みどころ紹介⑤」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、11月10日放送。
・「国宝久能山東照宮展みどころ紹介⑥」静岡朝日テレビ『とびっきり！しずおか』、11月17日放送。
・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『たまごちゃん』、11月22日放送。

2)新聞

・加納慎也「静岡朝日テレビ女子アナ5人がCM　皆の者頭が高い～　400年前の家康甲冑であるぞ～」『日刊スポーツ』静岡版、8月27日。
・「久能山東照宮展　静岡ゆかりの名宝公開　来月4日から　静岡市美術館」『静岡新聞』、9月11日。
・「国宝2件、重要文化財37件含む約110件　全国から名宝が里帰り！」『朝日新聞』東京本社版、9月27日。
・「久能山東照宮展　静岡市で開幕式　家康没後400年記念事業」『日本経済新聞』静岡版、10月4日。
・「久能山の名宝一堂　市美術館企画展　歴代将軍の甲冑も」『静岡新聞』、10月5日。
・「久能山東照宮展　来館1万人突破　静岡市美術館」『日本経済新聞』静岡版、10月31日。
・河野貴子「国宝・久能山東照宮展　1万人目は葵区の仁科さん」『中日新聞』静岡版、10月31日。
・「東照宮展1万人　市美術館　仁科さんに記念品」『静岡新聞』、10月31日。
・「国宝・久能山東照宮展　静岡市美術館」『富士ニュース』、11月13日。

3)雑誌他

・「受け継がれる　徳川将軍家の至宝」『道の駅　静岡県・箱根版』、秋号。
・「展覧会紹介」『歴史群像』、10月号。
・「全国からゆかりの名品が里帰り　国宝・久能山東照宮展―家康と静岡ゆかりの名宝―」『Hot Pepper』静岡・清水版、10月号。
・「徳川将軍家の宝物が、この秋静岡に集結　国宝・久能山東照宮展　家康と静岡ゆかりの名宝」『歴史読本』、12月号。
・「展覧会紹介」『書道界』、11月号。
・「展覧会紹介」『美術の窓』、11月号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「クラブニッキィ」メールマガジン、「静岡朝日テレビ」、「インターネットミュージアム」、「Japan Design Net」、「artscape」、「アットエス」、「静岡市ホームページ」、「静岡市Facebook」、「Yahoo! JAPAN」、「じゃらんnet」、「静岡朝日テレビアナウンサーブログ」、「るるぶmobile：今週末行きたい」、「アートテラー・とに～の[ここにしかない美術室]：かっこいいチラシは裏切らない」、「Happy Plus Art」内コラム「酒、時々美術館」

関連事業：

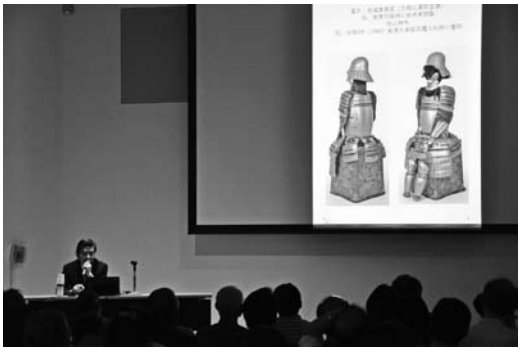
1)ワークショップ「フォトモで作ろう静岡の街「いま」「むかし」」
概要：「フォトモ(フォト/写真＋モデル/模型)」と名付けた独自の創作活動を続ける糸崎氏を招いたワークショップ。古写真・絵葉書を使用する「むかし編」と、自分で撮影した写真を使用する「いま編」と2回に分けて実施。制作をとおして久能山や静岡の美術・歴史・文化を楽しく学べるアーティストワークショップとなった。
日時：①「むかし編」10月5日(日)　②「いま編」10月13日(月・祝)
いずれも　13:00－16:00(全2回)
会場：ワークショップ室および静岡市内中心部
対象・参加者数：小学1年生～中学3年生　22人
参加料：1,000円(※観覧券1枚付)
講師：糸崎公朗氏(写真家)
持ち物：デジタルカメラ
共催：ふじのくに子ども芸術大学
主要広報記録：
◆新聞
・「フォトモでむかし復元　葵区で小中生　静岡を立体的に」『静岡新聞』、10月7日。

「むかし編」制作風景

「いま編」取材風景

2)講演会①「久能山東照宮御鎮座四百年」
概要：久能山東照宮の宮司、落合氏による家康および久能山東照宮についての講演会。久能山に所蔵されている家康手沢品のうち、洋時計について、近代におけるエピソードを交えて紹介したほか、所蔵館の宮司としての洋時計の評価を独自の視点で解説された。
日時：10月11日(土)14:00－15:30
会場：多目的室　　**参加者数**：103人
講師：落合偉洲氏(久能山東照宮 宮司)
主要広報記録：
◆新聞
・「洋時計など「遺産」紹介　久能山東照宮の落合宮司講演　葵区」『静岡新聞』、10月12日。

3)講演会②「異形の兜と立物―家康の時代の甲冑―」
概要：本展監修者であり、甲冑研究の第一人者である宮崎氏による講演会。戦国期の変わり兜を概観しつつ、久能山所蔵の兜の解説、そして家康の質実剛健な趣味を指摘した。
日時：10月19日(日)14:00－15:30
会場：多目的室　　**参加者数**：83人
講師：宮崎隆旨氏(本展監修者、元奈良県立美術館 館長)



4)講演会③「久能山東照宮御神宝装束とゆかりの染織品」

概要：有職故実研究者である田中氏による講演会。神宝装束について解説しつつ、装束の模様や付属物の斬新かつ明快な読みから、徳川記念財団所蔵の礼拝像は、徳川家光の筆になる可能性があること、久能山東照宮に御神宝装束を奉納したのも家光であろうこと、白の装束は神君家康のために特につくられた希少な品であることやその歴史的意義について指摘された。

日時：10月26日（日）14:00－15:30

会場：多目的室　　**参加者数**：69人

講師：田中潤氏（お茶の水女子大学非常勤講師）

5)講演会④「徳川家康の日本刀観」

概要：日本刀研究の第一人者であり、日本刀研究者としても学芸員としても50年の経験をもつ大ベテラン・渡邉妙子氏の講演。家康は、鑑定の権威である本阿弥の鑑定とは違う、独自の観点をもっていたことを作品や文献から明らかにした。刀剣の初心者にもわかるように、概説的な部分をうまくおりまぜ、刀装具の見どころについても触れた。

日時：11月8日（土）14:00－15:30

会場：多目的室　　**参加者数**：90人

講師：渡邉妙子氏（佐野美術館 館長）

6)静岡市文化振興財団設立20周年連携事業「キニナルスキニナルプロジェクト」／静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業／静岡・室内楽フェスティバル2014

ミュージアム・コンサート

※67頁を参照。

出品作品リスト

※会期中展示替え(前期：10/4-26、後期：10/28-11/24)を行った。必要に応じて巻き替え等をった。
※指定記号◉は国宝、◎は重要文化財、□は県指定文化財を示す。

第一章　駿府の大御所・徳川家康と久能山

第一節　家康の生涯

No.	指定	作品名	所用／奉納	作者	年代	員数	所蔵	展示期間
1	□	東照社縁起絵巻(全五巻のうち一巻～三巻)		住吉如慶筆	正保3年 (1646)奉納	三巻	紀州東照宮	通期 *前期・後期で 巻き替え
2	◎	金溜塗頭形兜(金溜塗具足のうち)	徳川家康所用		桃山時代	一頭	久能山東照宮博物館	通期
3	◎	白檀塗頭形兜　頬当(白檀塗具足のうち)	徳川家康所用		桃山時代	一頭 一掛	久能山東照宮博物館	前期
4	◎	伊予札黒糸威胴丸具足(歯朶具足)	徳川家康所用	岩井与左衛門作	桃山時代	一領	久能山東照宮博物館	10/21-11/24
5		茶糸威胴丸具足　具足櫃	徳川家康奉納	岩井与左衛門作	江戸時代初期	一領 一合	漢国神社	10/4-10/19
6	◎	南蛮胴具足	徳川家康所用 徳川頼宣奉納		桃山～ 江戸時代初期	一領	紀州東照宮	通期
7		金扇馬標	伝 徳川家康所用		桃山～ 江戸時代初期	一本	久能山東照宮博物館	通期
8	◎	脇指　無銘　伝 貞宗作 附　黒鮫柄合口拵	徳川家康所用	伝 貞宗作	南北朝時代	一口	久能山東照宮博物館	通期
9	◎	脇指　無銘　伝 相州行光作 附　黒鮫柄黒漆鞘小サ刀拵	徳川家康所用	伝 相州行光作	鎌倉時代	一口	久能山東照宮博物館	通期
10	◎	太刀　無銘　伝 光世作 附　革柄蝋色鞘打刀拵	徳川家康所用	伝 三池光世作	鎌倉時代	一口	久能山東照宮博物館	通期
11		後水尾天皇宸翰神号「東照大権現」			江戸時代初期	一幅	久能山東照宮博物館	通期

第二節　遺愛品にみる南蛮趣味

No.	指定	作品名	所用／奉納	作者	年代	員数	所蔵	展示期間
12		徳川家康像			江戸時代	一幅	久能山東照宮博物館	前期
13	◎	洋時計		銘 ハンス・デ・エバロ	1581 年	一個	久能山東照宮博物館	10/4-11/9
14		駿府并近郊図			慶応4年(1868)	一枚	静岡県立中央図書館	前期
15		駿府御薬園絵図面			昭和13年 (1938)写	一枚	静岡県立中央図書館	前期
16		水艸立鷺図		伝　徳川家康筆	江戸時代	一幅	久能山東照宮博物館	前期
17		銀子覚書		徳川家康筆	江戸時代	一幅	久能山東照宮博物館	前期
18		布帛覚書　正月十二日付		徳川家康筆	江戸時代	一幅	久能山東照宮博物館	前期
19	□	築城図屏風			桃山～ 江戸時代初期	六曲一隻	名古屋市博物館	前期
20		南蛮人渡来図屏風			桃山～ 江戸時代初期	六曲一双	宮内庁三の丸尚蔵館	後期
21	◎	火縄銃　一挺(二挺のうち) 附、火薬入・玉入・火縄・胴乱	徳川家康所用	野田清堯作	慶長18年(1613)	一挺	久能山東照宮博物館	通期
22	◎	黒漆塗三葉葵紋鞍・鐙(鞍　一具のうち)	徳川家康所用		桃山～ 江戸時代初期	一背 一双	久能山東照宮博物館	通期
23	◎	金銀象嵌けひきばし	徳川家康所用		16 ～17世紀	一挺	久能山東照宮博物館	11/3-11/24
24	◎	鉛筆	徳川家康所用		16 ～17世紀	一本	久能山東照宮博物館	11/3-11/24
25	◎	和鋏　銘　盛町(二挺のうち一挺)	徳川家康所用		桃山～江戸時代	一挺	久能山東照宮博物館	通期
26	◎	目器	徳川家康所用		桃山～江戸時代	一掛	久能山東照宮博物館	11/3-11/24
27	◎	朝鮮版『和剤局方』	徳川家康所用		朝鮮時代 (16世紀)	六冊のうち	久能山東照宮博物館	通期
28	◎	薬刻小刀	徳川家康所用		桃山～江戸時代	一口	久能山東照宮博物館	通期
29	◎	青磁鉢(乳棒二本付)	徳川家康所用		明時代 (15 ～16世紀)	一口／二本	久能山東照宮博物館	通期
30	◎	菊桐蒔絵蓋付椀	徳川家康所用		桃山～江戸時代	一口	久能山東照宮博物館	通期
31	◎	黒柿硯箱	徳川家康所用		江戸時代	一合	久能山東照宮博物館	通期
32	◎	屈輪文堆黒盆	徳川家康所用		明時代 (14 ～15世紀)	一枚	久能山東照宮博物館	通期
33	◎	蓮形堆朱香合	徳川家康所用		明時代 (14 ～15世紀)	一合	久能山東照宮博物館	通期
34	◎	七宝燭台			明時代 (16 ～17世紀)	一基	久能山東照宮博物館	通期

第三節　御神宝装束

No.	指定	作品名	所用／奉納	作者	年代	員数	所蔵	展示期間
35		東照宮御影九月十七日拝礼			正保2年(1645) 9月16日	一幅	(公財)徳川記念財団	前期
36	◎	冠　附　梨子地雁蒔絵冠箱			江戸時代前期	一頭 一合	久能山東照宮博物館	通期
37	◎	袍　白地花輪違総文穀紗			江戸時代前期	一領	久能山東照宮博物館	前期
38	◎	袍　白地三葉葵蓮華唐草文穀紗			江戸時代前期	一領	久能山東照宮博物館	後期
39	◎	下襲　蘇芳地横遠菱文穀紗			江戸時代前期	一領	久能山東照宮博物館	前期
40	◎	下襲　蘇芳地横遠菱文穀紗			江戸時代前期	一領	久能山東照宮博物館	後期
41	◎	表袴　白地牡丹唐草文浮織物			江戸時代前期	一腰	久能山東照宮博物館	前期
42	◎	表袴　白地牡丹唐草文固地綾			江戸時代前期	一腰	久能山東照宮博物館	後期
43	◎	平緒　輪宝三葉葵紋刺繍			江戸時代前期	一筋	久能山東照宮博物館	前期
44	◎	石帯　巡方帯			江戸時代前期	一条	久能山東照宮博物館	前期
45	◎	石帯　通用帯			江戸時代前期	一条	久能山東照宮博物館	後期
46	◎	襪　白花輪違浮織物			江戸時代前期	一足	久能山東照宮博物館	前期
47	◎	襪　白花輪違固地綾			江戸時代前期	一足	久能山東照宮博物館	後期
48	◎	笏　附　黒漆青貝蒔絵箱			江戸時代前期	二握一合 の内 一握	久能山東照宮博物館	前期
49	◎	檜扇　附　黒漆青貝蒔絵箱			江戸時代前期	一握 一合	久能山東照宮博物館	後期

第四節　歴代将軍揃い踏み

No.	指定	作品名	所用／奉納	作者	年代	員数	所蔵	展示期間
50		徳川家康像			江戸時代前期	一幅	総本山長谷寺	通期
51		徳川秀忠像			江戸時代	一幅	総本山長谷寺	通期
52		茶絲威具足	徳川秀忠所用		江戸時代初期	一領	久能山東照宮博物館	通期
53	◉	太刀　銘　真恒	徳川秀忠奉納	真恒作	平安時代末期	一口	久能山東照宮博物館	通期
54		徳川家光像		栄賢筆	江戸時代	一幅	総本山長谷寺	通期
55		交色素懸威具足	徳川家光所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
56		徳川家綱像			江戸時代	一幅	総本山長谷寺	通期
57		紫絲威具足	徳川家綱所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
58		塗空穂(調度　二組一揃のうち)	徳川家綱奉納		江戸時代 寛文2年(1662) 奉納	一腰	久能山東照宮博物館	通期
59		徳川綱吉像			江戸時代	一幅	法隆寺	通期
60		紅絲腰裾白絲威具足	徳川綱吉所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
61		稼穡図屏風		徳川綱吉筆	江戸時代	六曲一双	久能山東照宮博物館	通期
62		徳川家宣像			江戸時代	一幅	総本山長谷寺	通期
63		白絲威具足	徳川家宣所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
64		陣羽織　羅紗地上黒下白山形松皮菱切り継き	徳川家宣所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
65		葵紋付具足下(胴着)　白地藍筋格子模様麻	徳川家宣所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
66		裁着　茶地青牡丹唐草文緞子	徳川家宣所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
67		徳川家継像			江戸時代	一幅	総本山長谷寺	通期
68		黒糸威二枚胴具足(写形歯朶具足)	伝 徳川家継所用	岩井与左衛門作	江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
69		徳川吉宗像			江戸時代	一幅	総本山長谷寺	通期
70		紺絲威鎧　兜・大袖付	徳川吉宗所用	岩井源兵衛作	元文2年 (1737)	一領	久能山東照宮博物館	通期
71		鎧直垂　直垂袴　壺腋巾	徳川吉宗所用		江戸時代	一具	久能山東照宮博物館	通期
72		徳川家重像			江戸時代	一幅	総本山長谷寺	通期
73		黒絲威六十二間筋兜	伝 徳川家重所用		江戸時代	一頭	久能山東照宮博物館	通期
74		徳川家治像			江戸時代	一幅	総本山長谷寺	通期
75		黒糸威大黒頭巾形兜 歯朶前立(写形歯朶具足のうち)	伝 徳川家治所用	岩井与左衛門作	江戸時代	一頭	久能山東照宮博物館	通期
76		徳川家斉像		森田易信筆	江戸時代後期	一幅	総本山長谷寺	通期
77		黒糸威大黒頭巾形兜 歯朶前立　頬当(写形歯朶具足のうち)	伝 徳川家斉所用	岩井与左衛門作	江戸時代	一頭	久能山東照宮博物館	通期
78		徳川家慶像		森田易信筆	江戸時代後期	一幅	総本山長谷寺	通期
79		縹絲素懸威具足	伝 徳川家慶所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期

No.	指定	作品名	所用／奉納	作者	年代	員数	所蔵	展示期間
80		徳川家定像		森田易信筆	江戸時代後期	一幅	総本山長谷寺	通期
81		青絲威具足	伝 徳川家定所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
82		徳川家茂像		徳川茂栄筆	江戸時代後期	一幅	(公財)徳川記念財団	通期
83		紺絲威腹巻　背板付	伝 徳川家茂所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
84		葵紋付胴着	伝 徳川家茂所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
85		袖付陣羽織　緋羅紗地白羅紗三葉葵紋切りはめ	伝 徳川家茂所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
86		筒袖陣羽織　紫羅紗地三葉葵紋葵字切りはめ	徳川家茂所用		江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
87		馬面	伝 徳川家茂所用		江戸時代	一頭	久能山東照宮博物館	通期
88		紅絲威具足		岩井与左衛門作	江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
89		染付徳利	伝 敬子(天璋院)所用		江戸時代後期	一対	(公財)徳川記念財団	通期
90		柄鏡・鏡巣(黒塗葵牡丹紋散蒔絵)	敬子(天璋院)所用		江戸時代後期	一面一合	(公財)徳川記念財団	通期
91		小袖　萌黄繻子地雪持笹御所車文様葵紋付	敬子(天璋院)所用		江戸時代後期	一領	(公財)徳川記念財団	10/21-11/3
92		染付碗　禁裏御用窯	和宮(静寛院宮)所用		江戸時代後期	七口	(公財)徳川記念財団	通期
93		和宮婚礼調度 葵葉菊紋散花桐唐草蒔絵嗽台　嗽椀付	和宮(静寛院宮)所用		江戸時代後期	一具	(公財)徳川記念財団	前期
94		貝桶(黒塗桜蝶唐草蒔絵)	伝 和宮(静寛院宮) 所用		江戸時代後期	一対	(公財)徳川記念財団	後期
95		打掛　白綸子地桜梅牡丹藤源氏車文様			江戸時代後期	一領	(公財)徳川記念財団	11/5-11/16
96		打掛　白綸子地卍立涌菊牡丹藤文様染繍			江戸時代後期	一領	(公財)徳川記念財団	11/18-11/24
97		打掛　白綸子地菊葵七宝繋文様			江戸時代後期	一領	(公財)徳川記念財団	10/4-10/19
98		徳川慶喜像		玉置金司・ 矢崎千代治筆	明治24年(1893)	一面	久能山東照宮博物館	通期
99		卯花威胴丸(白萌葱糸威胴丸)	徳川慶喜所用	頬当銘 「水府住　紀義治作」	江戸時代	一領	久能山東照宮博物館	通期
100		氷香		徳川慶喜筆	江戸時代後期	一幅	久能山東照宮博物館	通期
101		日本風景		徳川慶喜筆	明治時代	一面	久能山東照宮博物館	通期
102		徳川家達像		石橋和訓筆	大正15年(1926)	一面	(公財)徳川記念財団	通期
103		山光無古今		徳川家達筆	明治時代	一幅	久能山東照宮博物館	通期
104		徳川家康御影		徳川家達賛・ 小山栄達筆	昭和2年(1927)	一幅	個人蔵	通期
105		短刀 銘 広次　附　朱塗鞘合口拵	勝海舟奉納	広次作	室町時代	一口	久能山東照宮博物館	通期
106		南無妙法蓮華経		山岡鉄舟筆	明治時代	一幅	久能山東照宮博物館	通期

第二章　久能山の古代中世―補陀洛山久能寺の歴史と久能山東照宮

No.	指定	作品名	所用／奉納	作者	年代	員数	所蔵	展示期間
107		久能寺縁起			康永元年(1342)	一巻	鉄舟寺	通期
108	◎	金銅錫杖頭	念空奉納		康治元年(1142)	一柄	鉄舟寺	通期
109	◉	久能寺経			平安時代	十九巻のうち	鉄舟寺	
109-1		方便品	結縁者：源季頼					前期
109-2		譬喩品	結縁者：待賢門院(藤原璋子)					後期
109-3		化城喩品	結縁者：待賢門院女房別当					後期
109-4		宝塔品	結縁者：藤原親隆室					前期
109-5		嘱累品	結縁者：藤原為範					後期
109-6		薬王品	結縁者：平実親室					後期
109-7		普門品	結縁者：弁源					前期
109-8		観普賢経	結縁者：高階通憲(信西)					前期
110		久能山総絵図			江戸時代中期 (天明頃)	一枚	久能山東照宮博物館	通期
111		久能山東照宮絵図			明治20年(1887) 再版	一枚	静岡県立中央図書館	通期
112		久能山真景之図			江戸時代後期 (天保頃)	一枚	静岡県立中央図書館	通期
113		久能山東照宮絵葉書			明治～昭和時代	十三組	静岡県立中央図書館	通期
特別展示		久能山東照宮絵葉書による復元フォトモ	糸崎公朗		平成26年(2014)	8点組	個人蔵	通期
参考1		『記念』			大正4年(1915)	一冊	静岡市立清水中央図書館	通期
参考2		『久能山東照宮三百年祭奉斎会主催　古書画展覧会図録』			大正4年(1915)	一冊	静岡市立清水中央図書館	通期
参考3		『久能山東照宮三五〇年祭記念写真帖』			昭和40年(1965)	一冊	静岡市／ 静岡市立清水中央図書館	通期

2−5　ロイヤル・アカデミー展
イギリス美術の華麗なる150年

会期：12月6日(土)−1月25日(日)

概要：イギリス・ロンドンにあるロイヤル・アカデミー・オブ・アーツは、1768年に国王ジョージ3世の庇護のもと、画家や彫刻家、建築家、版画家らによって創設された歴史ある芸術機関である。アカデミーは、芸術家への支援だけでなく、芸術家を目指す学生たちに無償の教育を提供する美術学校も併設し、若手の育成にも力を入れていた。アカデミーの創設によりイギリスの美術は発展を遂げ、世界で活躍するアーティストも次々と生まれ、アカデミーはイギリスにおける「美の殿堂」となっていった。本展では、ロイヤル・アカデミーの貴重なコレクションから、レノルズ、ゲインズバラ、ターナー、カンスタブル、ミレイ、サージェント等の絵画の他、アカデミーの教育で実際に使われていた資料など約100点を展示した。

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ、テレビ静岡、中日新聞東海本社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、ブリティッシュ・カウンシル、静岡リビング新聞社、K-mix、中日ショッパー

特別協賛：静岡トヨタ

協賛：大日本印刷

協力：東京富士美術館

輸送協力：KLMオランダ航空、日本航空

観覧料：一般　1,300円(1,100円)
大高生・70歳以上　900円(700円)
中学生以下無料
※(　)内は前売および当日に限り20名以上の団体料金
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料
※前売一般に限り、ペアチケットも販売した(2枚1組2,000円)。

観覧者数：16,034人(有料11,136人、無料4,898人、有料率69.45%)

出品点数：96点

印刷物：

1)チラシ
＜仕様＞紙：ユーライト 110kg
サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4) 70,000部

2)ポスター
＜仕様＞紙：ユーライト 135kg（各サイズ共）
サイズ・数量：B1 140部(うち40枚はJR帯つき)、
B2 2,100部、B3 2,800部(うち400枚はJR帯つき)

チラシ表面

チラシ中面

B1・B2ポスター

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞226×286mm、188頁

カタログ表紙

カラー図版 97点
参考図版（カラー8点、モノクロ34点）

マリアン・スティーヴンズ「ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ　1768-1918」
ヘレン・ヴァレンタイン、アネット・ウィッカム「ロイヤル・アカデミー・スクール　1768-1918」
ニコラス・サヴィッジ「世界に開くアカデミーの窓―1768-1918年のロイヤル・アカデミーのライブラリー」
河村錠一郎「ロイヤル・アカデミーの多層性」

イギリス関連地図/出品作家リスト/主要参考文献/作品リスト

オリジナル版出版：ロイヤル・アカデミー出版
日本語版監修：河村錠一郎
日本語版翻訳：河村錠一郎、堀川麗子、平谷美華子、小川かい、マーサ・マクリントク
日本語版編集：東京富士美術館、静岡市美術館、東京新聞
写真著作権コーディネーション：ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ
発行：東京新聞
発行年：2014年

普及ツール：
1）音声ガイド

2）ロイヤル・アカデミー創設記念日はがきプレゼント
アカデミー創設記念日である会期中の12月10日に、当日入場の先着100人に本展オリジナルはがきをプレゼントした。
実施日：12月10日（水）　**ハガキ払出数**：100枚

各種連携：
1）近隣店舗との連携
葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、および特別メニューの提供を行った。
印刷物：
◆チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表

協賛チラシ裏

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」NHKEテレ『日曜美術館アートシーン』、9月28日放送。
・「日本初公開の作品も　“ロイヤル・アカデミー展”6日開幕」テレビ静岡『FNNテレビ静岡スーパーニュース』、12月3日放送。
・「あす開幕！ロイヤル・アカデミー展　イギリス「美の殿堂」一挙公開」テレビ静岡『てっぺん静岡』、12月5日放送。
・「あす開幕　ロイヤル・アカデミー展」テレビ静岡『FNNテレビ静岡ニュース』、12月5日放送。
・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『ひる・しず』、12月10日放送。
・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館：しずおか文化発信局』、12月17日放送。
・「展覧会紹介」FM-たじみ『pipi っとcafé：お出かけマップ』、12月22日放送。
・「ターナーやミレイなどの作品展示　ロイヤル・アカデミー展　1万人」テレビ静岡『FNNテレビ静岡スーパーニュース』、1月16日放送。

2)新聞

・小川かい「静岡市美術館　12月6日から　ロイヤル・アカデミー展　英国美術の殿堂」『中日新聞』静岡版、12月4日。
・「英国が誇る名画　慎重に設置作業　ロイヤル・アカデミー展　静岡市美術館で6日から」『中日新聞』静岡版、12月4日。
・「静岡でロイヤル・アカデミー展」『聖教新聞』、12月6日。
・垣見窓佳「英国美術　華麗なる足跡―静岡市美術館きょう開幕」『中日新聞』静岡版、12月6日。
・「静岡でロイヤル・アカデミー展開幕　「英国美術の殿堂」150年の変遷紹介」『中日新聞』(夕刊)静岡版、12月6日。
・「美術ファン　胸躍らす　静岡　ロイヤル・アカデミー展開幕」『中日新聞』静岡版、12月7日。
・本名陽子「ロイヤル・アカデミー展①《室内、ヴェネツィア》忠実すぎた「老い」」『中日新聞』静岡版、12月17日。
・林望「ロイヤル・アカデミー展②《ドルバダーン城》 崇高美求め続ける」『中日新聞』静岡版、12月18日。
・井形慶子「ロイヤル・アカデミー展③《ベラスケスの想い出》心捉える少女の気高さ」『中日新聞』静岡版、12月19日。
・潮江宏三「ロイヤル・アカデミー展④《水門を通る舟》雲を観察、空に生命」『中日新聞』静岡版、12月20日。
・松岡佑子「ロイヤル・アカデミー展⑤《人魚》惹きつける暗い眼差し」『中日新聞』静岡版、12月21日。
・安斎耕一「美の履歴書386：ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス《人魚》 視線の先にあるのは」『朝日新聞』(夕刊)東京本社版、12月24日。
・「ロイヤル・アカデミー展」『富士ニュース』、1月8日。
・「真理は「知」にあり」『毎日小学生新聞』、1月10日。
・「ロイヤル・アカデミー展　ブリティッシュ・カウンシル駐日代表　ジェフ・ストリーター氏寄稿　英国近代美術を先導　静岡市美術館　25日まで開催」『中日新聞』静岡版、1月11日。
・「ようこそ　美の殿堂へ　ロイヤル・アカデミー展　静岡市美術館　25日まで」『中日新聞』静岡版、1月13日。
・「「英国の美」来場者1万人　静岡市美術館　ロイヤル・アカデミー展」『中日新聞』静岡版、1月17日。

3)雑誌他

・「展覧会紹介」『クオリア』、Vol.23。
・「イギリスの「美の殿堂」を一挙公開　ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年」『Hot Pepper』静岡・清水版、12月号。
・「展覧会紹介」『すろーかる』、12月号。
・「ターナーからラファエル前派まで一挙公開　静岡市美術館にて「ロイヤル・アカデミー展」開催」『プラネッツ』、vol.593。
・「女王陛下も愛した、麗しのイギリス絵画」『芸術新潮』、12月号。
・「展覧会紹介」『ジパング倶楽部』、1月号。
・「展覧会紹介」『魅惑のフェルメール全仕事：美術展にようこそ！ 2015年に出会える名画たち』、1月5日。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「テレビ静岡」、「Japan Design Net」、「artscape」、「ブリティッシュ・カウンシルメールマガジン」、「静岡市ホームページ」

1月16日　入場者1万人達成

関連事業：

1)ギャラリートーク

概要：当館学芸員によるギャラリートークを会期中計2回実施した。

日時：12月13日（土）、1月17日（土）
いずれも14:00－

会場：展示室　　**参加者数**：計95人

参加料：展覧会観覧料

2)講演会①「ロイヤル・アカデミーが目ざしたもの―その理想と現実」

概要：近代イギリス美術を専門とする人見氏を講師に迎え、創設からヴィクトリア朝時代までのアカデミーの発展の様子や、組織が目ざした理想的な美の形がどのように形成されたのか、社会的背景やラファエル前派等の新しい動きにもふれながら解説された。

日時：1月10日（土）14:00－15:30

会場：多目的室　　**参加者数**：65人

講師：人見伸子氏（成蹊大学講師）

主要広報記録：

◆テレビ

・「ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術史を学ぼう！」テレビ静岡『FNNテレビ静岡スーパーニュース』、1月10日。

◆新聞

・横光竜二「絵画に物語　楽しんで　ロイヤル・アカデミー展　葵区で講演会」『中日新聞』静岡版、1月11日。

3)講演会②「グランド・ツアー盛期のイギリス人たち」

概要：17～19世紀の西洋美術研究者である小針氏を講師に迎え、17～18世紀にかけて、イギリスの貴族・富裕層に流行した「グランド・ツアー」の実態の他、「グランド・ツアー」がアカデミーの設立とイギリス美術全体へ及ぼした影響を考察した。

日時：1月11日（日）14:00－15:30

会場：多目的室　　**参加者数**：61人

講師：小針由紀隆氏（静岡文化芸術大学教授）

主要広報記録：

◆新聞

・奥村圭吾「英国美術「GT」が寄与　葵区　ロイヤルアカデミー展講演」『中日新聞』静岡版、1月12日。

出品作品リスト

※作品番号は図録番号と一致する。※No.11は都合により不出品。
※作品の所蔵先はすべてロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ。

I. 設立：名声への道、1768-1837

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	アゴスティーノ・カルリーニ	ジョージ3世の胸像	1773年	大理石	81.0×60.0×38.0
2	ウィリアム・ビーチ	皇太子(後のジョージ4世)	1798年頃	油彩・カンヴァス	141.4×117.6
3	ヴァレンタイン・グリーン	自画像(ジョシュア・レノルズの作品を模写)	1780年	メゾチント	44.8×37.8
4	ヴァレンタイン・グリーン	ウィリアム・チェンバーズ (ジョシュア・レノルズの作品を模写)	1780年	メゾチント	45.1×38.4
5	アンジェリカ(アンゲリカ)・カウフマン	自画像	1770年	エッチング	18.0×14.5
6	ジョシュア・レノルズ	セオリー	1779-80年	油彩・カンヴァス	178.0×179.0
7	チャールズ・ベストランド	アカデミー会員の総会 (ヘンリー・シングルトンの作品を模写)	1800年	エングレーヴィング	56.9×76.0
8	ジョン・シングルトン・コプリ	貢の銭	1782年	油彩・カンヴァス	128.3×153.7
9	ヘンリー・フューズリ	大蛇ミズガルズと闘う雷神トール	1790年	油彩・カンヴァス	133.0×94.6
10	トマス・ゲインズバラ	泉に羊のいるロマンティックな風景	1783年頃	油彩・カンヴァス	153.7×186.7
12	ウィリアム・ホッジズ	ベナレスのガート	1787年	油彩・カンヴァス	91.5×130.8
13	フィリップ・ジャック・ド・ルーサボーグ(ルーテルブール)	畜牛と人物のいる風景、近づく嵐	1781年	油彩・カンヴァス	90.0×146.4
14	ソーリ・ギルピン	雷雨の中の馬	1798年	油彩・カンヴァス	84.6×127.7
15	ジョゼフ・マラド・ウィリアム・ターナー	ドルバダーン城	1800年	油彩・カンヴァス	119.4×90.2
16	ジョン・カンスタブル	水門を通る舟	1826年	油彩・カンヴァス	101.6×127.0
17	ジョン・カンスタブル	風景の習作：小屋と虹	1808-16年頃	油彩・ボードに貼付けた紙	13.9×21.5
18	ジョン・カンスタブル	フラットフォードの水車小屋、ストゥーア川の水門より	1811年頃	油彩・カンヴァスに貼付けた紙	26.0×35.5
19	ジョン・カンスタブル	雲の習作：木の地平線	1821年9月27日	油彩・ボードに貼付けた紙	25.8×30.5
20	ヘンリー・レイバーン	少年とうさぎ	1814年頃	油彩・カンヴァス	103.0×79.3
21	デイヴィッド・ウィルキー	ネズミ探しで穴を掘る少年たち	1812年	油彩・ボード	36.4×30.4
22	トマス・ロレンス	自画像	1825年頃	油彩・カンヴァス	91.0×71.4

II. 国家的地位の確立、1837-1867

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
23	クラークスン・スタンフィールド	ライスケンシェック近くのスヘルデ川、スコールの日	1837年	油彩・カンヴァス	96.6×130.2
24	トマス・クレジック	道端で休む画家のいる風景	1851年頃	油彩・カンヴァス	71.0×91.5
25	リチャード・レッドグレイヴ	勘当	1851年	油彩・カンヴァス	78.4×107.1
26	エドウィン・ランシア	忠実な猟犬	1830年頃	油彩・カンヴァス	68.4×91.2
27	アルフレッド・エルモア	「ヴェローナの二紳士」より	1857年	油彩・カンヴァス	70.1×53.9
28	ウィリアム・バウエル・フリス	眠るモデル	1853年	油彩・カンヴァス	63.2×72.8
29	ジョン・コルカット・ホーズリ	居心地のよい場所	1865年	油彩・カンヴァス	76.8×57.1
30	ジョン・フレデリック・ルイス	カイロのカフェの入り口	1865年	油彩・ボード	76.2×53.4
31	デイヴィッド・ロバーツ	バールベックの大神殿入り口	1841年	油彩・板	75.8×61.8
32	フレデリック・グドール	ヌビア人奴隷の唄	1863年	油彩・カンヴァス	71.2×92.0

Ⅲ. 名声と繁栄、1867-1895

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
33	チャールズ・ウェスト・コウプ	1875年度のロイヤル・アカデミー展出品審査会	1876年	油彩・カンヴァス	145.2×220.1
34	ローレンス・アルマ=タデマ	神殿への道	1882年	油彩・カンヴァス	101.5×52.0
35	エドワード・ポインター	占い師	1877年	油彩・カンヴァス	64.2×76.5
36	ジョージ・フレデリック・ウォッツ	フレデリック・レイトンの肖像	1888年	油彩・カンヴァス	115.0×88.0
37	ルイーズ王女、アーガイル公爵夫人	ヴィクトリア女王	1876年	大理石	83.8×58.5×36.0
38	ジョン・エヴァレット・ミレイ	ベラスケスの想い出	1868年	油彩・カンヴァス	102.7×82.4
39	フランク・カダガン・クーパー	虚栄	1907年	油彩・板	57.1×38.1
40	エドウィン・オースティン・アビー	リュート弾き	1899年	油彩・カンヴァス	77.0×51.5
41	ソロモン・ジョセフ・ソロモン	聖ゲオルギウス	1906年頃	油彩・カンヴァス	213.0×106.2
42	ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	人魚	1900年	油彩・カンヴァス	96.5×66.0
43	ウィリアム・クウィラー・オーチャードスン	ノース・フォアランドにて	1890年	油彩・カンヴァス	93.0×78.0
44	ジョージ・ヘンリー・ボートン	追憶	1896年	油彩・カンヴァス	54.6×80.0
45	ジョージ・ヴィカット・コウル	秋の朝	1891年	油彩・カンヴァス	81.5×132.8
46	ベンジャミン・ウィリアムズ・リーダー	砂の採取場、バロウズ・クロス	1898年	油彩・カンヴァス	61.2×102.2
47	アーネスト・アルバート・ウォーターロウ	ロワン川のほとり	1903年	油彩・カンヴァス	92.4×67.2

Ⅳ. モダンの受容：黙認と妥協、1895-1918

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
48	ウォルター・シッカート	サンタ・マリア・デッラ・サルーテ聖堂、ヴェネツィア	1901年頃	油彩・カンヴァス	56.0×46.0
49	ジョージ・クラウセン	オランダの少年・習作	1870年代中後期	油彩・カンヴァス	34.7×26.2
50	ジョージ・クラウセン	麦畑に立つピンクのドレスの女	1881年	油彩・カンヴァス	35.9×25.9
51	ジョージ・クラウセン	農家の庭	1893年	油彩・カンヴァス	42.0×34.0
52	ジョージ・クラウセン	夕暮れの海沿いに並ぶ木造の家・習作(オランダ)	1870年代中後期	油彩・カンヴァス	33.1×49.1
53	ジョージ・クラウセン	古い納屋の中	1908年	油彩・カンヴァス	91.6×76.6
54	フランク・ブラムリー	内緒ばなし	1911年	油彩・カンヴァス	89.5×75.0
55	ジェイムズ・ジェビューサ・シャノン	ブラック&シルバー	1909年頃	油彩・カンヴァス	87.3×103.7
56	スタナップ・フォーブズ	港に面した窓辺	1910年	油彩・カンヴァス	112.5×86.7
57	ジョン・シンガー・サージェント	庭の女性たち、トッレガッリ城	1910年	油彩・カンヴァス	71.1×91.5
58	ジョン・シンガー・サージェント	室内、ヴェネツィア	1899年	油彩・カンヴァス	66.0×83.5
59	ジョン・レイヴァリ	ヴァン・ダイク・ルーム、ウィルトン	1920年頃	油彩・カンヴァス	63.5×76.0
60	ヘンリー・ハーバート・ラ・タング	香水用のスミレ	1913年頃	油彩・カンヴァス	109.0×95.0
61	ヘンリー・テューク	水浴をする人たち	1914年	油彩・カンヴァス	90.2×59.7
62	チャールズ・シムズ	クリオと子どもたち	1913年、 1915年塗替	油彩・カンヴァス	114.3×182.9

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
63	ミシェル=ウジェーヌ・シュヴルール	72の明色による色相環(シュヴルール『色の定義と命名法』([1861年、パリ]の図5)	1861年	4枚重ねのカラー鋼板印刷	26.3×23.4
64	ジョヴァンニ・バッティスタ・チプリアーニ	ロイヤル・アカデミー・ディプロマのための装飾デザイン	1769年	ペン、インク、淡彩・紙	63.3×45.2
65	エドワード・フランシス・バーニー	ニュー・サマセット・ハウスの古典クラス	1780年頃	ペン、インク、水彩・紙	33.5×48.5
66	作者不詳	ラオコーン像・習作	1851-73年	チョーク・紙	70.0×45.5
67	エドウィン・ランシア	ラオコーン像の手・習作	1817-18年頃	チョーク・紙	37.8×35.8
68	ジョージ・リッチモンド	エルギン・マーブルズの河の神の像	1824年	鉛筆、チョーク・紙	34.5×40.8
69	ジョン・エヴァレット・ミレイ	バンクラティオン	1842年	鉛筆・チョーク・紙	49.0×63.2
70	ベンジャミン・ロバート・ヘイドン	腰椎、骨盤、大腿の筋肉および骨	1805年	ペン、インク・紙	46.7×32.5
71	ジョージ・スタッブズ	「馬の筋肉解剖図　第10図」のための最終習作	1756-58年	鉛筆・紙	35.5×19.5
72	アンドレアス・ヴェサリウス	筋肉図　第4図(『人体の構造』第2版[バーゼル、1555年]7巻本の第2巻221ページより)	1555年	凸版木版画	41.6×27.5
73	ジェイムズ・バリ	岩の上に座る男性裸像	1790年代頃	黒チョークの上にペン、インク・クリーム色のレイド(簀の目入り)紙	51.6×31.9
74	トマス・ストザード	横たわる裸婦の背画	1800年頃	鉛筆・ウォーヴ(網目入り)紙	10.0×12.3
75	トマス・ストザード	横たわる男性裸像のスケッチ	1800年頃	ペン、インク・レイド紙	16.0×9.3
76	トマス・ストザード	横たわる裸婦の背面	1800年頃	ペン、インク・紙	7.8×9.8
77	トマス・ストザード	座る裸婦	1800年頃	水彩、鉛筆・紙	18.6×12.4
78	トマス・ストザード	赤い背景幕のある横たわる裸婦	1800年頃	水彩・鉛筆・紙	12.6×19.8
79	トマス・ストザード	男性裸像の背面	1800年頃	水彩・紙	19.3×12.2
80	トマス・ストザード	男性裸像の背面	1800年頃	鉛筆、ペン、インク・紙	15.4×8.6
81	ウィリアム・マルレディ	裸婦	1858年	チョーク・紙	55.7×28.1
82	ジョージ・フレデリック・ウォッツ	2人の女性の頭部の習作	1850年代	鉛筆、チョーク・紙	26.1×41.1
83	ウィリアム・チェンバーズ	コリント様式を模した柱頭装飾デザイン	1757-70年頃	ペン、インク・淡彩・紙	37.0×35.3
84	チャールズ・ロバート・コッカレル制作と推定	再生古代ローマのジュリアス・シーザー・フォーラム	1845年頃	水彩・紙	66.4×99.6
85	ジョルジョ・ギージ	ラファエロの夢(ルカ・ペンニの作品を模写?)	1561年	エングレーヴィング	38.2×54.5
86	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ	ライオンの浅浮き彫り(『想像の牢獄』第2版第3集[1772年頃、ローマ]の図5)	1770年代初頭	エッチング、エングレーヴィング	57.0×41.6
87	ジョージ・スタッブズ	ライオンを恐れる馬	1788年	エッチング	25.2×33.0
88	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	立派なお手柄!死人を相手に!・「戦争の惨禍」(1863年、マドリード)第39図	1810-14年	エッチング、淡彩、ドライポイント	13.7×18.7
89	トマス・ラプトン	ソルウェイ・モス(ターナー『研鑽の書』[1807-19年、ロンドン]第6部の第52図)	1815年?	エッチング、メゾチント、彫版師試し刷り	18.6×26.8
90	デイヴィッド・ルーカス	ウェイマス湾、ドーセット海岸(ジョン・カンスタブル『イングランドの特徴的なさまざまな風景』[1830-32年、ロンドン]より)	1830年	メゾチント、ドライポイント、鋼板	14.2×18.3
91	サミュエル・パーマー	孤独な塔	1879年	エッチング	16.7×23.4
92	レオナルド・ダ・ヴィンチ	絵画論(ニコラ・プッサンによる挿絵、小チャールズ・エラードにより改訂、ルネ・ロションにより版刻)	パリ、1651年	エングレーヴィング、凸版印刷	40.0×58.0
93	ジャン=フランソワ・ニスロン	球をなす6つの立体形の星(ニスロン『遠近法の不思議』[1663年、パリ]図15より)	1650-51年	エッチング(図)、エングレーヴィング(文字)	26.7×19.0
94	イッポリート・ロッセリーニ	エジプトとヌビアの記念碑	ピサ、1832-44年	エッチング、水彩	52.0×71.5
95	イッポリート・ロッセリーニ	エジプトとヌビアの記念碑	ピサ、1832-44年	エッチング、水彩	71.8×52.0
96	エドワード・マイブリッジ	バッファローのギャロップ(マイブリッジ『動物の運動：動物の連続動作についての写真による研究1872-85』[1887年、ロンドン])	1872-85年	コロタイプ	22.8×34.7
97	エドワード・マイブリッジ	障害飛越：装鞍した鹿毛馬デイジー（マイブリッジ『動物の運動：動物の連続動作についての写真による研究1872-85』[1887年、ロンドン]	1872-85年	コロタイプ	25.4×31.0

2－6　没後100年　小林清親展
文明開化の光と影をみつめて

会期：2月7日（土）－3月22日（日）

概要：将軍直属の御家人（ごけにん）の家系に生まれた小林清親（1847-1915）は、慶応4（1868）年の伏見の戦いに参戦、明治維新後には徳川家に従って一時静岡に移住した、郷土にゆかりある画家である。
やがて東京に戻った清親は、明治9（1876）年、江戸からの変貌を遂げた東京風景を、光と影の表現に工夫を凝らした木版画として発表した。いわゆる「光線画」である。風景のほかにも、花鳥や静物を題材に清新な作品を次々と手がけたが、明治14（1881）年を最後に好評だった東京風景の出版を止め、社会風刺画を多く描いてジャーナリズムとの関係を深めた。日清・日露の戦争時には戦争錦絵も手がけたが、木版の衰退という大きな流れの中、次第に出版からは手を引き、50歳を過ぎたころからは肉筆画に腕をふるった。
没後100年の節目となる本展では、版画・肉筆画・スケッチなど約280点により、最後の浮世絵師・清親を総合的に回顧。「光線画」だけでない、幅広い作品を紹介し、晩年まで衰えることのなかった清親の画業を再検討した。

共同企画：練馬区立美術館
会期：平成27（2015）年4月5日（日）－5月17日（日）

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送、日本経済新聞社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協力：横浜美術館

助成：芸術文化振興基金

観覧料：一般　900円（700円）
大高生・70歳以上　700円（500円）
中学生以下無料
※（　）内は前売および当日に限り20名以上の団体料金
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料
※リピーター割引：2回目以降、美術館窓口での本展半券提示で当日券200円引き

観覧者数：9,827人（有料6,746人、無料3,081人、有料率68.65％）

出品点数：287件

印刷物：

1）チラシ
＜仕様＞紙：モンテルキア 69kg
サイズ・加工・数量：210×597mm二つ折り（仕上A4）
型抜き 65,000部

2）ポスター
＜仕様＞紙：しこくてんれい 110kg（B1）、しこくてんれい 135kg（B2）、モンテルキア 91.5kg（B3）
サイズ・数量：B1 140部（うち40部はJR帯つき）、
B2 2,000部（両面印刷）、
B3 2,900部（うち400部はJR帯つき）

チラシ表面

チラシ中面

B1ポスター
B2ポスターA面

B2ポスターB面

B3ポスター

カタログ：
＜仕様＞147×212mm、223頁

カタログ表紙

カラー図版 336点
参考図版（カラー95点、モノクロ6点）

column1「懐旧と異国趣味―耽美派の文学者たちにとっての清親」
column2「光線画の源泉」
column3「清親にみる広重の面影」

加藤陽介「小林清親の画業」
山本香瑞子「浮世絵版画の死と再生―清親の評価の変遷」

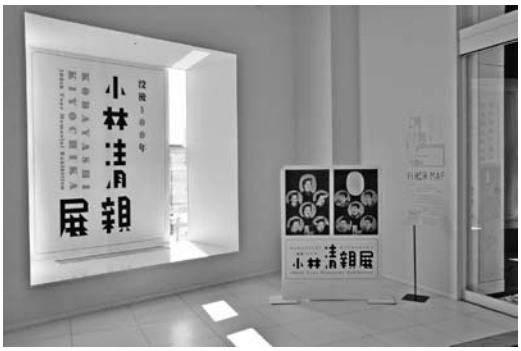
橘川英規編「小林清親　文献目録」

小林清親年譜/掲載作品一覧

編集：練馬区立美術館、静岡市美術館
執筆：加藤陽介（練馬区立美術館）、山本香瑞子・大石沙織（静岡市美術館）
発行：青幻舎
発行年：2015年

※一般図書として刊行された。
※図録掲載作品の中には当会場では出品されなかったものも含まれている。

普及ツール
1）顔出しパネル
記念撮影用に、清親の「壱人六面相」の一部を切り抜いた顔出しパネルを呉服町通り側入口に設置した。



2）缶バッジプレゼントの実施
小林清親の戯画「壱人六面相」にちなみ、顔写真（家族、ペットあるいは観覧者自身）の提示で先着500人にオリジナル缶バッジをプレゼントした。

制作物：
◆缶バッジ
＜仕様＞φ25mm
利用者数：500人

各種連携：
1）近隣店舗との連携
葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、および近隣の店舗にて特別メニューの提供を行った。
印刷物：
◆チラシ
＜仕様＞紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部

協賛チラシ表

協賛チラシ裏

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館：しずおか文化発信局』、2月11日、3月2日放送。

・「文明開化の光と影　～小林清親“東京名所図”～」NHKＥテレ『日曜美術館』、2月22日、3月1日放送。

2)新聞

・山本香瑞子「文明開化　光と影で表現：没後100年　小林清親展　来月7日から静岡市美術館」『静岡新聞』、1月28日。

・「明治の風物　木版で表現　小林清親展きょうから公開　来月22日まで静岡」『静岡新聞』、2月7日。

・「文明開化期の光と影を捉える　没後100年　小林清親展」『日本経済新聞』静岡版、2月15日。

・岸桂子「「最後の浮世絵師」の陰影　没後100年　小林清親展」『毎日新聞』東京本社版（夕刊）、3月9日。

・「明治の“絵師”「小林清親展」　アイデア豊富自由な表現　22日まで静岡市美術館」『静岡新聞』、3月16日。

・宮川匡司「陰影豊か「光線画」もはや近代画家　「最後の浮世絵師」小林清親を再考」『日本経済新聞』東京本社版（夕刊）、3月31日。

3)雑誌他

・「二月の旅指南：古くて新しい明治の浮世絵とは」『ひととき』、2月号。

・「展覧会紹介」『月刊美術』、2月号。

・「展覧会紹介」『くれよん』、2月号。

・「光と影のコントラストが美しい：没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて」『HotPepper』静岡・清水版、2月号。

・「最後の浮世絵師・清親の生涯を追う：没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて」『ギャラリー』、2月号。

・「木版画で人気を博した明治の浮世絵師　没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて」『プラネッツ』、vol.596。

・「展覧会紹介」『美術の窓』、3月号。

・邱馨慧「國際藝壇：捕捉光影的浮世絵師　幕末明治的小林清親」『藝術家』、4月号、256-261頁。

4)ウェブサイト等（媒体名のみ記載）

「静岡市ホームページ」、「静岡市Facebook」、「artscape」、「Yahoo!JAPAN」、「じゃらんnet」、「まちぽ」

関連事業：

1)記念講演会①「小林清親の世界―その生涯と画業―」
概要：近代版画史、出版文化に精通した岩切氏を講師に迎え、小林清親の画業について、明治期の版画事情などを交えつつ総合的にお話いただいた。
日時：2月14日(土)14:00－15:30
会場：多目的室　　**参加者数**：62人
講師：岩切信一郎氏(新渡戸文化短期大学教授)

2)ギャラリートーク
概要：当館学芸員によるギャラリートークを会期中計2回実施した。
日時：2月21日(土)、3月14日(土)
いずれも14:00－
会場：展示室　　**参加者数**：計65人
参加料：展覧会観覧料

3)記念講演会②「小林清親の学んだもの」
概要：本展共同企画者である練馬区立美術館の加藤氏を講師に迎え、小林清親の画業について、浮世絵版画や西洋版画との関係という視点からお話いただいた。晩年の肉筆画や生涯にわたる水彩スケッチなどに光を当てることで、新たな清親像を伝えたいという講師の思いが伝えられた。
日時：3月7日(土)14:00－15:30
会場：多目的室　　**参加者数**：66人
講師：加藤陽介氏(練馬区立美術館学芸員)
主要広報記録：
◆新聞
・「江戸への郷愁繁栄　東京の学芸員　小林清親の作風解説」『静岡新聞』、3月8日。

出品作品リスト

※会期中展示替えを行った。展示期間は下記のとおり。
①2月7日(土)−2月15日(日)　②2月17日(火)−2月22日(日)　③2月24日(火)−3月1日(日)
④3月3日(火)−3月8日(日)　⑤3月10日(火)−3月15日(日)　⑥3月17日(火)−3月22日(日)
※目録番号の記載のないものは、当館では展示しなかった。

第1章　光線画

No.	作品名	制作年／発行年	判型・寸法／材質技法等	所属先	展示期間 ①	②	③	④	⑤	⑥
1	東京五大橋之一　両国真景	明治9年(1876)	竪大判錦絵三枚続	山口県立萩美術館・浦上記念館	■	■				
2	東京江戸橋之真景	明治9年(1876)	竪大判錦絵三枚続	山口県立萩美術館・浦上記念館			■	■		
3	海運橋(第一銀行雪中)	明治9年頃(c.1876)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			
4	海運橋(第一銀行雪中)	明治9年頃(c.1876)	横大判錦絵	川崎・砂子の里資料館				■	■	■
5	東京新大橋雨中図	明治9年(1876)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗				■	■	■
6	東京新大橋雨中図	明治9年頃(c.1876)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			
8	二重橋前乗馬兵	明治9年(1876)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗				■	■	■
9	二重橋前乗馬兵	明治9年(1876)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
10	元柳橋両国遠景	明治12年(1879)	横大判錦絵	千葉市美術館				■	■	■
12	小梅曳舟通雪景	明治12年(1879)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■			
13	一石橋夕景	明治12年頃(c.1879)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
14	本所御蔵橋	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	町田市立国際版画美術館	■	■	■			
16	東京銀座街日報社	明治9年(1876)	横大判錦絵	千葉市美術館				■	■	■
17	上野公園画家写生図	明治9年頃(c.1876)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
18	両国雪中	明治10年頃(c.1877)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
19	両国雪中	明治10年頃(c.1877)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗				■	■	■
20	萬代橋朝日出	明治13年(1880)	横大判錦絵	府中市美術館				■	■	■
21	萬代橋朝日出	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
22	上野六角茶屋	明治13年(1880)	横大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
23	上野六角茶屋	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
24	赤坂紀伊国坂	明治13年(1880)	横大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
25	赤坂紀伊国坂	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)				■	■	■
26	桜田弁慶堀原	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
27	九段馬かけ	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
28	九段馬かけ	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
29	常盤橋内紙幣寮之図	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
31	御城内釣橋之図	明治12年頃(c.1879)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
32	駿河町雪	明治12年頃(c.1879)	横大判錦絵	府中市美術館				■	■	■
34	駿河町雪	明治12年頃(c.1879)	横大判錦絵	町田市立国際版画美術館	■	■	■			
36	高輪牛町朧月景	明治12年(1879)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
37	川口鍋釜製造図	明治12年(1879)	横大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
38	川口鍋釜製造図	明治12年(1879)	横大判錦絵	千葉市美術館				■	■	■
39	第二回内勧業博覧会表口	明治14年(1881)	横大判錦絵	町田市立国際版画美術館	■	■	■			
40	第二回内勧業博覧会内五角堂	明治14年(1881)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
41	第二回内勧業博覧会内美術館噴水	明治14年(1881)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
42	多目伊希	明治14年(1881)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
43	大伝馬町大丸	明治14年(1881)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			
45	東京小梅曳船夜図	明治9年頃(c.1876)	横大判錦絵	川崎・砂子の里資料館				■	■	■
46	今戸橋茶亭の月夜	明治10年頃(c.1877)	横大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	■	■				
47	御茶水蛍	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗			■	■		
48	御茶水蛍	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	太田記念美術館					■	■
49	今戸有明楼之景	明治12年(1879)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			

No.	作品名	制作年／発行年	判型・寸法／材質技法等	所属先	展示期間 ①	②	③	④	⑤	⑥
50	今戸有明楼之景	明治12年(1879)	横大判錦絵	太田記念美術館	■	■				
51	江戸橋夕暮富士	明治12年(1879)	横大判錦絵	千葉市美術館	■	■	■			
52	江戸橋夕暮富士	明治12年(1879)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)				■	■	■
53	川崎月海	明治12年頃(c.1879)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
54	川崎月海	明治12年頃(c.1879)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)				■	■	■
55	五本松雨月	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
57	大川岸一之橋遠景	明治13年(1880)	横大判錦絵	府中市美術館				■	■	■
58	天王寺下衣川	明治13年(1880)	横大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
59	両国花火之図	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)			■	■	■	■
61	本町通夜雪	明治13年(1880)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗				■	■	■
62	浅草夜見世	明治14年(1881)	横大判錦絵	町田市立国際版画美術館				■	■	■
64	日本橋夜	明治14年(1881)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			
65	日本橋夜	明治14年(1881)	横大判錦絵	町田市立国際版画美術館				■	■	■
66	日本橋夜	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
67	今戸夏月	明治14年(1881)	横大判錦絵	千葉市美術館	■	■	■			
68	柳原夜雨	明治14年(1881)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
69	浅草寺年乃市	明治14年(1881)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
70	新橋ステンション	明治14年(1881)	横大判錦絵	川崎・砂子の里資料館	■	■	■			
71	池の端花火	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	■	■				
72	隅田川夜	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	町田市立国際版画美術館				■	■	■
73	東京橋場渡黄昏景	明治9年(1876)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗	■	■	■	■		
74	東京橋場渡黄昏景	明治9年頃(c.1876)	横大判錦絵	神奈川県立歴史博物館					■	■
75	東京橋場渡黄昏景	明治9年頃(c.1876)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
76	柳嶋日没	明治10-11年頃(c.1877-78)	横大判錦絵	千葉市美術館	■	■	■			
77	川口善光寺雨晴	明治12年(1879)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
78	大森朝乃海	明治13年(1880)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			
79	大森朝乃海	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)				■	■	■
80	隅田川小春凪	明治13年(1880)	横大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
81	隅田川小春凪	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
82	隅田川枕橋前	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
83	大川冨士見渡	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■			
84	隅田川中洲水雷火	明治14年(1881)	横大判錦絵	府中市美術館				■	■	■
85	隅田川中洲水雷火	明治14年(1881)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
86	大川端石原橋	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
87	東京両国百本杭暁之図	明治12年(1879)	横大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
88	東京両国百本杭暁之図	明治12年(1879)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)				■	■	■
90	梅若神社	明治12-14年頃(c.1879-81)	横大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館			■	■		
91	梅若神社	明治12-14年頃(c.1879-81)	横大判錦絵	千葉市美術館					■	■
92	佃嶋雨晴	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■				
93	湯島元聖堂之景	明治12年(1879)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
95	旧本丸雪晴	明治12年頃(c.1879)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
96	旧本丸雪晴	明治12年頃(c.1879)	横大判錦絵	町田市立国際版画美術館	■	■	■			
97	三ツ又永代橋遠景	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■

No.	作品名	制作年／発行年	判型・寸法／材質技法等	所属先	展示期間 ①	②	③	④	⑤	⑥
98	虎乃門夕景	明治13年(1880)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			
100	橋場の夕暮	明治13年(1880)	横大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	■	■				
101	橋場の夕暮	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)			■	■		
102	神田川夕景	明治14年(1881)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			
103	神田川夕景	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	太田記念美術館					■	■
104	九段坂五月夜	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
105	浅草田甫太郎稲荷	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	府中市美術館				■	■	■
106	明治十四年一月廿六日出火　浜町より写両国大火	明治14年(1881)	横大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
107	明治十四年一月廿六日出火　浜町より写両国大火	明治14年(1881)	横大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	■	■				
108	明治十四年二月十一日夜大火 久松町二而見る出火	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館			■	■		
109	明治十四年二月十一日夜大火 久松町二而見る出火	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
110	明治十四年一月廿六日出火　両国大火浅草橋	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館					■	■
111	明治十四年一月廿六日出火　両国大火浅草橋	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗				■	■	■
112	明治十四年一月十六日出火　両国焼跡	明治14年(1881)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
113	猫と提灯	明治10年(1877)	横大々判錦絵	千葉市美術館	■	■	■			
参考	猫と提灯　別摺		横大々判錦絵	千葉市美術館				■	■	■
参考	猫と提灯　順序摺り	昭和18年(1943)	木版画　七〇枚	渡邊木版美術画舗	■	■	■	■	■	■
参加	猫と提灯　版木			渡邊木版美術画舗	■	■	■	■	■	■
115	朝顔	明治12年(1879)	横大判錦絵	太田記念美術館					■	■
116	鴨に枯蓮	明治12年(1879)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
117	鴨に枯蓮	明治12年(1879)	横大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	■	■				
118	柿に目白	明治13年(1880)	横大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館			■	■		
119	鵜にトンボ	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
120	鵜にトンボ	明治13年(1880)	横大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館					■	■
121	狐に三日月	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
122	鉄砲打猟師	明治13年頃(c.1880)	竪大判錦絵二枚続	千葉市美術館				■	■	■
123	東京名所　柳橋浅草橋の雨	明治9年頃(c.1876)	横間判錦絵	渡邊木版美術画舗					■	■
124	亀戸梅屋敷	明治12年頃(c.1879)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
125	向島桜	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
127	亀井戸藤	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
128	芝葉増上寺日中	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)				■	■	■
129	不忍池畔雨中図	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
130	箱根三枚橋雨	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	府中市美術館				■	■	■
131	箱根三枚橋雨	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
132	神田八雲神社暁	明治13年(1880)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			
133	神田八雲神社暁	明治13年(1880)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)				■	■	■
134	道灌山夕日暮	明治12年(1879)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
135	瀧の川の図	明治11年(1878)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
136	滝野川池の橋	明治11年頃(c.1878)	横大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
137	根津神社秋色	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	府中市美術館				■	■	■
138	箱根底倉湯本万年橋	明治14年(1881)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
139	愛宕山の図	明治11年(1878)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
140	愛宕山の図	明治11年(1878)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗				■	■	■

No.	作品名	制作年／発行年	判型・寸法／材質技法等	所属先	展示期間 ①	②	③	④	⑤	⑥
141	上野東照宮の夜	明治14年(1881)	横大判錦絵	町田市立国際版画美術館				■	■	■
142	上野東照宮積雪之図	明治12年(1879)	横大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
143	池の端弁天	明治13年(1880)	横大判錦絵	静岡県立美術館	■	■	■			
144	茶の水雪	明治13年(1880)	横大判錦絵	府中市美術館				■	■	■
145	茶の水雪	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
146	箱根神社雪	明治13年頃(c.1880)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
147	浅草寺雪中	明治14年(1881)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
148	諸国名所画帖	明治14年(1881)	銅版墨摺　木版色摺 折本十二枚揃、11.5×16.4	杜若文庫	■	■	■	■	■	■
149	駿州湖日没の冨士	明治12年(1879)	竪大判錦絵二枚続	静岡県立美術館				■	■	■
150	駿州湖日没の冨士	明治12年(1879)	竪大判錦絵二枚続	神奈川県立歴史博物館					■	■
151	従箱根山中冨嶽眺望	明治13年(1880)	横大判錦絵	千葉市美術館	■	■	■			
152	従箱根山中冨嶽眺望	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
153	箱根湖畔より富士眺望図	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	横浜美術館				■	■	■
154	静岡竜宝山の景	明治13年(1880)	横大判錦絵	横浜美術館	■	■	■			
155	三保の浦帆	明治14年(1881)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
156	薩た之冨士	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
157	薩た之冨士	明治14年頃(c.1881)	横大判錦絵	渡邊木版美術画舗				■	■	■
158	東京名所真景之内如月　待乳山雪の黄昏	明治29年(1896)	竪大判錦絵三枚続	個人蔵	■	■	■	■	■	■
159	武蔵百景之内　品川見越ノ月	明治17年(1884)	竪大判錦絵	神奈川県立歴史博物館					■	■
160	武蔵百景之内　隅田川より真乳山遠景	明治17年(1884)	竪大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	■	■				
161	武蔵百景之内　江戸ばしより日本橋の景	明治17年(1884)	竪大判錦絵	府中市美術館	■	■	■			
162	武蔵百景之内　目くろいゑんひう蔵	明治17年(1884)	竪大判錦絵	神奈川県立歴史博物館					■	■
163	武蔵百景之内　浅草寺本堂	明治17年(1884)	竪大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	■	■				
164	武蔵百景之内　谷中団子坂菊	明治17年(1884)	竪大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館			■	■		
165	武蔵百景之内　王子稲荷社	明治17年(1884)	竪大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■			
166	武蔵百景之内　鉄砲洲高橋佃島遠景	明治17年(1884)	竪大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)				■	■	■
167	武蔵百景之内　王子瀧の川	明治17年(1884)	竪大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館			■	■		
168	武蔵百景之内　江戸見坂	明治17年(1884)	竪大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	■	■				
169	武蔵百景之内　鴻台　市川の遠景	明治17年(1884)	竪大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)				■	■	■
170	武蔵百景之内　芝増上寺雪中	明治17年(1884)	竪大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館			■	■		
171	武蔵百景之内　深川ふゆき弁天	明治17年(1884)	竪大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館					■	■
172	武蔵百景之内　池上本門寺	明治17年(1884)	竪大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	■	■				
173	武蔵百景之内　池上本門寺	明治17年(1884)	竪大判錦絵	神奈川県立歴史博物館			■	■		
174	武蔵百景之内　両国花火	明治17年(1884)	竪大判錦絵	神奈川県立歴史博物館					■	■
175	日本名勝図会　嵐山	明治30年(1897)	竪大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館			■	■		
176	日本名勝図会　常陸桜川より筑波山を挑む	明治30年(1897)	竪大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)					■	■
177	日本名勝図会　猿橋	明治29年(1896)	竪大判錦絵	個人蔵(練馬区立美術館寄託)	■	■	■	■	■	■
178	日本名勝図会　厳島	明治29年(1896)	竪大判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	■	■				
179	日本名勝図会　清見潟	明治29年(1896)	竪大判錦絵	川崎・砂子の里資料館				■	■	■
180	日本名勝図会　田子の浦	明治30年(1897)	竪大判錦絵	川崎・砂子の里資料館	■	■	■			
181	三都三美人	明治10年(1877)	竪大判錦絵	個人蔵			■	■	■	■
182	三都三美人	明治10年頃(c.1877)	竪大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	■	■				
183	平忠盛御堂法師を捕る図	明治17年頃(c.1884)	竪大判錦絵三枚続	山口県立萩美術館・浦上記念館	■	■				

No.	作品名	制作年／発行年	判型・寸法／材質技法等	所属先	展示期間 ①	②	③	④	⑤	⑥
184	平忠盛御堂法師を捕る図	明治17年頃(c.1884)	竪大判錦絵三枚続	個人蔵	■	■	■	■	■	■
185	彫画共進会之内　小野小町	明治18年(1885)	竪大判錦絵三枚続	青木コレクション(千葉市美術館寄託)			■	■		
186	荘吾渡し場之図	明治17年(1884)	竪大判錦絵三枚続	山口県立萩美術館・浦上記念館	■	■				
187	三国誌桃園之図	明治18年(1885)	竪大判錦絵三枚続	個人蔵	■	■	■	■	■	■
188	明智左馬之助光春　湖水乗打唐崎松之図	明治32年(1899)	竪大判錦絵三枚続	山口県立萩美術館・浦上記念館			■	■		
189	宇治川　佐々木高綱　梶原景季水馬図	明治31年(1898)	竪大判錦絵三枚続	太田記念美術館					■	■
190	少名毘古那神を掌にのせた大国主命	制作年不詳(n.d.)	横大判錦絵、彩色	神奈川県立歴史博物館					■	■

第2章　風刺画・戦争画

No.	作品名	制作年／発行年	判型・寸法／材質技法等	所属先	展示期間 ①	②	③	④	⑤	⑥
191	清親放痴　東京谷中天王地	明治14年(1881)	竪大判錦絵	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■				
192	清親放夢痴　東京深川洲崎	明治14年(1881)	竪大判錦絵	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター			■	■		
193	清親ぱんち　両国ゑこういん	明治14年(1881)	竪大判錦絵	太田記念美術館	■	■				
194	清親ポンチ　東京　芳町	明治14年(1881)	竪大判錦絵	太田記念美術館			■	■		
195	清親放痴　東京隅田川牛嶌	明治14年(1881)	竪大判錦絵	太田記念美術館					■	■
196	喜世知可保ん地　東京三十間掘	明治14年(1881)	竪大判錦絵	太田記念美術館					■	■
197	壹人六面相　ンなる程	明治17年(1884)	竪大判錦絵	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■	■			
198	壹人六面相　ずっと如斯ですか	明治17年(1884)	竪大判錦絵	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター				■	■	■
199	壹人六面相　可笑くも何ともないハ	明治17年(1884)	竪大判錦絵	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター				■	■	■
200	壹人六面相　如斯すました所ハいかが	明治17年(1884)	竪大判錦絵	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■	■			
201	酒機嫌十二相之内 悪口を言て人に腹を立てさせる酒癖	明治18年(1885)	竪大判錦絵	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■				
202	酒機嫌十二相　理屈を並へる酒癖	明治18年(1885)	竪大判錦絵	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター			■	■		
203	酒機嫌十二相　気の長くなる酒癖	明治21年(1888)	竪大判錦絵	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター					■	■
204	眼を廻す器械　団団珍聞508号	明治18年(1885)	24.0×35.0	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター				■	■	■
205	亜細亜の貝産物　団団珍聞513号	明治18年(1885)	16.1×24.1	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■	■			
206	菊ハ菊ともよく改る　当世キク華壇 団団珍聞519号	明治18年(1885)	23.8×34.4	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■	■			
207	から美凧空の賑ひ　団団珍聞525号	明治19年(1886)	23.7×34.1	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター				■	■	■
208	思想の積荷　団団珍聞530号	明治19年(1886)	34.2×24.0	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■	■			
209	黒貝の汐むき　団団珍聞531号	明治19年(1886)	18.3×24.1	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター				■	■	■
210	当世水産狂珍会　団団珍聞539号	明治19年(1886)	34.5×24.0	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■	■			
211	当世六変化　団団珍聞552号	明治19年(1886)	24.2×34.8	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■	■			
212	草案の花嫁　団団珍聞554号	明治19年(1886)	24.1×34.7	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター				■	■	■
213	本燭内燭二様の影坊子　団団珍聞566号	明治19年(1886)	34.5×24.1	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター				■	■	■
214	かいろ遊千艸の働　団団珍聞585号付録	明治20年(1887)	37.7×50.8	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター	■	■	■			
215	極楽落し　団団珍聞693号付録	明治22年(1889)	39.5×52.9	京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター				■	■	■
216	我艦隊黄海ニ於清艦ヲ撃チ沈ル之図	明治27年(1894)	竪大判錦絵三枚続	個人蔵				■	■	■
217	我野戦砲兵九連城幕営攻撃	明治27年(1894)	竪大判錦絵三枚続	個人蔵	■	■	■	■	■	■
218	朝鮮豊島海戦之図	明治27年(1894)	竪大判錦絵三枚続	個人蔵	■	■	■	■	■	■
219	営口ノ厳寒ヲ冒シテ我軍露営ヲ張ル之図	明治28年(1895)	竪大判錦絵三枚続	千葉市美術館	■	■	■			
220	威海衛進軍配置之図	明治28年頃(c.1895)	竪大判錦絵三枚続	個人蔵	■	■	■	■	■	■
221	明治三十一年四月十日　奠都祭図	明治31年(1898)	竪大判錦絵三枚続	個人蔵	■	■	■	■	■	■

No.	作品名	制作年／発行年	判型・寸法／材質技法等	所属先	展示期間 ①	②	③	④	⑤	⑥
222	獅子図	明治17年(1884)	絹本着色　二曲一隻、169.2×172.0	千葉市美術館				■	■	■
223	象図	制作年不詳(n.d.)	紙本墨画　一幅、132.4×53.9	摘水軒記念文化振興財団(千葉市美術館寄託)	■	■	■			
224	二見ヶ浦	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　一幅、122.5×49.8	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
225	隅田川舟遊図	明治29年頃(c.1896)	絹本淡彩　一幅、97.5×34.8	個人蔵				■	■	■
226	飛鳥山	制作年不詳(n.d.)	紙本淡彩　一面、21.1×18.0	個人蔵	■	■	■	■	■	■
227	両国	制作年不詳(n.d.)	紙本淡彩　一面、21.1×18.0	個人蔵	■	■	■	■	■	■
228	瀧の川	制作年不詳(n.d.)	紙本淡彩　一面、21.1×18.0	個人蔵	■	■	■	■	■	■
229	柳島	制作年不詳(n.d.)	紙本淡彩　一面、21.1×18.0	個人蔵	■	■	■	■	■	■
230	待乳山遠望竹屋の渡図	明治末・大正初期(1910's)	絹本着色　一幅、25.8×50.6	松本市立博物館(胡桃沢コレクション)	■	■	■			
231	渓流富士	制作年不詳(n.d.)	絹本淡彩　一面、19.0×25.5	個人蔵	■	■	■	■	■	■
232	富士図	明治末・大正初期(1910's)	紙本淡彩　二曲一隻、135.4×123.5	個人蔵	■	■	■	■	■	■
233	親子龍之図	明治30-40年代(n.d.)	絹本着色　一幅、121.8×50.5	鐵斎堂			■	■	■	■
234	初午詣	明治41年(1908)	絹本着色　一幅、97.5×35.3	個人蔵	■	■				
235	七福神図	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　一幅、111.0×41.0	個人蔵				■	■	■
236	お福	制作年不詳(n.d.)	絹本淡彩　一幅、99.5×28.5	個人蔵	■	■	■			
237	恵比寿と大黒の万歳	制作年不詳(n.d.)	絹本淡彩　一幅、98.3×32.2	個人蔵				■	■	■
238	福禄寿と大黒	制作年不詳(n.d.)	絹本淡彩　一幅、103.3×34.8	個人蔵	■	■	■			
240	すりこ木とおかめ	制作年不詳(n.d.)	紙本淡彩　折本一冊、11.8×17.5	個人蔵	■	■	■	■	■	■
241	子供の三十二相	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　一面、29.6×24.5	個人蔵	■	■	■	■	■	■
242	福禄寿	制作年不詳(n.d.)	紙本淡彩　一幅、136.4×31.6	個人蔵				■	■	■
243	相合傘と雷神	制作年不詳(n.d.)	紙本淡彩　一幅、132.1×30.0	個人蔵	■	■	■			
244	遊女と達磨	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　一幅、96.7×35.0	個人蔵				■	■	■
245	美人達磨図	制作年不詳(n.d.)	紙本着色　一幅、111.7×42.0	個人蔵	■	■	■			
246	達磨・狸	明治末・大正初期(1910's)	紙本淡彩　色紙貼付一幅、各21.0×18.1	松本市立博物館(胡桃沢コレクション)	■	■	■			
247	かみなり	明治末・大正初期(1910's)	紙本淡彩　色紙貼付一幅、各21.0×18.1	松本市立博物館(胡桃沢コレクション)	■	■	■			
248	左甚五郎図	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　一幅、93.6×35.9	(社福)福島美術館				■	■	■
249	鬼念仏図	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　一幅、92.3×33.0	静岡県立美術館	■	■	■			
250	弁慶・牛若丸図	明治末・大正初期(1910's)	紙本淡彩　双幅、各135.5×19.7	個人蔵	■	■	■	■	■	■
251	鉄道馬車	制作年不詳(n.d.)	紙本淡彩　一幅、75.5×34.8	個人蔵	■	■	■	■	■	■
252	流行風俗	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　一幅、39.4×70.7	個人蔵	■	■	■	■	■	■
254	四季幽霊図	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　四幅、各120.4×42.0	福岡市博物館	■	■				
255	長坂橋の張飛	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　一幅、63.8×22.0	個人蔵				■	■	■
256	伊勢物語東下り図小襖	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　小襖四面、各面23.4×34.2	和泉市久保惣記念美術館	■	二面ずつ入替				■
257	源氏朧月夜之巻	明治末・大正初期(1910's)	絹本着色　一幅、102.2×33.4	松本市立博物館(胡桃沢コレクション)	■	■	■			
258	楠公戦死報告の図	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　一幅、120.1×40.6	個人蔵			■	■	■	■
259	豊太閤醍醐の花見	制作年不詳(n.d.)	絹本着色　双幅、各124.0×41.0	個人蔵			■	■	■	■
260	織豊徳三公之図	明治25年頃(c.1892)	絹本着色　一幅、115.3×42.7	個人蔵			■	■	■	■
261	川中島合戦図屏風(裏：龍虎墨竹図)	明治43年(1910)	表：絹本金地着色 裏：絹本墨画淡彩 六曲一双、各166.0×358.8	静岡県立美術館	■	■	■			
262	那須の与一　扇の的　平景清　錣引き	制作年不詳(n.d.)	紙本銀地着色 六曲一双、各169.0×345.0	個人蔵				■	■	■
263	仁徳天皇御図	明治末・大正初期(1910's)	絹本着色　一幅、126.8×56.6(描表装含む)	個人蔵	■	■	■	■	■	■
264	神代の国	明治末・大正初期(1910's)	絹本着色　六曲一双、各図128.2×41.8	個人蔵	■	■	■	■	■	■

No.	作品名	制作年／発行年	判型・寸法／材質技法等	所属先	展示期間 ①	②	③	④	⑤	⑥
265	（人参、いりこ、里芋）	明治29年(1896)	紙・水彩　一枚、19.0×29.3	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
266	（鳩、雀、りんご、みかん）	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、19.1×29.2	渡邊木版美術画舗				■	■	■
267	（墨田堤の花見）	制作年不詳(n.d.)	紙・水彩　一枚、22.7×31.3	渡邊木版美術画舗				■	■	■
268	（時計台の見える風景、子供たち）	制作年不詳(n.d.)	紙・水彩　一枚、24.8×33.1	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
269	（表：渓流釣り　裏：老婦人の肖像）	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、19.0×29.3	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
270	（海岸の二人の人物と漁村）	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
271	（雪景色、傘をさす人、人力車、犬など）	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
272	小名路(渓流)	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
273	小名路松宿ニ於テ　昨今雪降ル	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.5×32.6	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
274	小名路両界バシ下	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
275	小名路(傘をさす人)	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
276	（語り合う二人の釣人）	明治30年頃(c.1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
277	白雨黒風送晩春	明治30年頃(c.1897)	紙・水彩　一枚、23.8×32.5	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
278	垂見村	明治30年頃(c.1897)	紙・水彩　一枚、21.0×34.1	渡邊木版美術画舗	■	■	■			
279	（牛に乗る人、虹の架かる風景）	明治30年頃(c.1897)	紙・水彩　一枚、21.8×35.1	渡邊木版美術画舗				■	■	■
280	（橋上に牛車が通る風景）	明治30年頃(c.1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.3	渡邊木版美術画舗				■	■	■
281	小名路(川辺の人影)	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗				■	■	■
282	（堰、黒い水鳥）	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、32.5×23.6	渡邊木版美術画舗				■	■	■
283	（民家に続く坂を上る女性）	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗				■	■	■
284	小名路柏や	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗				■	■	■
285	高尾山　登り口三十丁め	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗				■	■	■
286	小名路(木橋、荷物を背負って歩く人)	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、23.6×32.5	渡邊木版美術画舗				■	■	■
287	小名路　高尾蛇瀧	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、32.5×23.6	渡邊木版美術画舗				■	■	■
288	（葡萄棚のある家）	明治30年(1897)	紙・水彩　一枚、18.9×20.8	渡邊木版美術画舗				■	■	■
289	写生帖1	明治11-12年頃(c.1878-79)	紙・水彩　一冊、14.0×22.3	個人蔵	■	■	■	■	■	■
290	写生帖2	明治12年頃(c.1879)	紙・水彩　一冊、11.4×18.5	個人蔵	■	■	■	■	■	■
291	写生帖3	明治12年頃(c.1879)	紙・水彩　一冊、11.2×18.5	個人蔵	■	■	■	■	■	■
292	写生帖4	明治23-24年頃(c.1890-91)	紙・水彩　一冊、20.8×14.4	個人蔵	■	■	■	■	■	■
293	写生帖5	明治12-14年頃(c.1879-81)	紙・水彩　一冊、13.2×18.8	個人蔵	■	■	■	■	■	■
284	写生帖6	明治13年頃(C.1880)	紙・水彩　一冊、13.4×18.5	個人蔵	■	■	■	■	■	■
295	写生帖7	明治42年頃(C.1909)	紙・水彩　一冊、15.0×21.3	個人蔵	■	■	■	■	■	■
298	写生帖8	大正2年頃(c.1913)	紙・水彩　一冊、11.9×18.5	個人蔵	■	■	■	■	■	■
297	写生帖9	明治41-43年頃(c.1908-10)	紙・水彩　一冊、14.0×18.3	個人蔵	■	■	■	■	■	■
298	写生帖	明治41-42年(1908-09)	紙・水彩　一冊、9.0×14.0	渡邊木版美術画舗	■	■	■	■	■	■
299	清親自画伝	大正2年頃(c.1913)	紙本墨画　一冊、12.2×20.5	個人蔵	■	■	■	■	■	■
300	御入国御人数町宿帳	明治2年(1869)	紙本墨書　一冊、16.0×22.0	静岡県立中央図書館	■	■	■	■	■	■
301	印章	制作年不詳(n.d.)	石、木、竹	個人蔵	■	■	■	■	■	■

３．交流事業（教育普及事業）目次

3−1　交流事業

1）　Shizubi Project 4　ヒトのカタチ、彫刻　津田亜紀子/藤原彩人/青木千絵 …… 55
2）　Shizubi シネマアワー …… 57
3）　ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」 …… 58
4）　しずびオープンアトリエ…… 58
5）　しずびチビッこプログラム…… 59
6）　暦とあそぶワークショップ…… 61
7）　プレゼントワークショップ…… 62
8）　夜店市…… 63

3−2　連携事業

1）　ミュージアム教室・展示解説…… 64
2）　静岡大学連携事業「静岡大学アートマネジメント力育成事業」…… 65
3）　生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」 …… 65
4）　静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業（三館共同事業）…… 66
5）　静岡市文化振興財団設立20周年連携事業「キニナルスキニナルプロジェクト」…… 66
6）　その他施設との連携等…… 68

3．交流事業(教育普及事業)

3－1　交流事業

1)Shizubi Project 4　ヒトのカタチ、彫刻
津田亜紀子/藤原彩人/青木千絵

概要：エントランスホールや多目的室等の交流ゾーンの開放的な空間を活かし、現代のアートシーンを紹介するShizubi Projectの第4弾。人間の姿形をモチーフに、樹脂、陶器、漆と様々な素材を用いて「彫刻」とは何かを問い続ける3名の作家、津田亜紀子(1969－)、藤原彩人(1975－)、青木千絵(1981－)を紹介した。

会期：12月16日(火)－3月22日(日)
会場：エントランスホール
観覧者数：66,991人

出品作品リスト：
◆津田亜紀子
1.《椅子に座る06》2006年、樹脂、布
2.《生成の無垢》2007年、樹脂、布、鉄
3.《染みからの妄想》2009年、樹脂、布
4.《Chatter》2005年、樹脂、布、レース
以上すべて　作家蔵

◆藤原彩人
5.《首像/意識の壺》6.《立像/2014A-01》7.《立像/2014A-02》8.《立像/2014A-03》9.《立像/2014A-04》10.《立像/2014A-05》11.《立像/2014B-01》12.《立像/2014B-02》13.《立像/2014B-03》
以上すべて　2014年、施釉陶、作家蔵

◆青木千絵
14.《BODY06-1》2006年、漆、麻布、スタイロフォーム、金沢美術工芸大学蔵
15.《BODY10-1》2010年、漆、麻布、スタイロフォーム、作家蔵
16.《BODY08-2－昇華－》2008年、漆、麻布、スタイロフォーム、作家蔵

主要広報記録：
◆テレビ
・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『ひる・しず』、3月10日放送。
◆新聞
・「葵区　人間の形モチーフの彫刻並ぶ」『静岡新聞』、12月26日。
・「展覧会紹介」『新美術新聞』、2月1日。
◆雑誌他
・「展覧会紹介」『静岡アートナビ』号外、1月15日。
・「展覧会紹介」『美術屋・百兵衛』、2月号。
・「展覧会紹介」『尾張中央タイムズ』、vol.265。
・「カタログ紹介」『美術手帖』、2015年6月号。
◆ウェブサイト等
・村田真「artscapeレビュー：ヒトのカタチ、彫刻」『artscape』、1月15日号。
以下媒体名のみ記載
「静岡市ホームページ」、「Japan Design Net」、「まちぽ」

印刷物：
チラシ
＜仕様＞紙：OKプラナスホワイト 94.5kg
サイズ・数量：A4 30,000部

チラシ表面

チラシ裏面

カタログ：
＜仕様＞183×247mm、111頁

カタログ表紙

カラー図版 94点
参考図版（モノクロ27点）

金井直「チョウコクあるいは弱い触覚」
阿久津裕彦「人体と人体彫刻」

以倉新「ヒトのカタチと「彫刻」 津田亜紀子、藤原彩人、青木千絵　3人の彫刻家について」
伊藤鮎「カタチとソザイ　――3作家の素材の選択について」

作品リスト/作家略歴

編集：以倉新（静岡市美術館学芸課長）、伊藤鮎（静岡市美術館学芸員）、伊藤雅俊（株式会社マイブックサービス）
翻訳：クリストファー・スティヴンズ
発行者：村上正
発行所：株式会社マイブックサービス

関連事業：

◆アーティストトーク
概要：出品作家によるアーティストトーク。展示作品を前に、作家本人から、作品に込めた意図や制作方法を聞くことができた。
日時：①12月16日（火）　②3月22日（日）
　　いずれも　13:00－
会場：エントランスホール　　**参加者数**：計42人
ゲスト：①津田亜紀子、藤原彩人、青木千絵
　　②藤原彩人、青木千絵

◆カタログ刊行記念
トークセッション「ヒトのカタチ、彫刻」
概要：当館監修のもと刊行された公式カタログの刊行を記念して、カタログ寄稿者と出品作家を招いた2部構成のトークセッションを行った。1部では、カタログ執筆者の金井氏、阿久津氏および当館の以倉から、カタログテキストに執筆した内容を中心に各20分程度発表を行った。2部では作家も交え、様々な角度から人体彫刻について活発な議論がかわされた。
日時：2月15日（日）14:00－16:30
会場：多目的室　　**参加者数**：54人
パネラー：金井直（信州大学人文学部准教授）、阿久津裕彦（美術解剖学）、藤原彩人（本展出品作家）、青木千絵（本展出品作家）、以倉新（当館学芸課長）
司会：伊藤鮎（当館学芸員）

2)Shizubi シネマアワー

⑴シズオカ×カンヌウィーク2014　関連イベント

Shizubi シネマアワー vol.11 「映画×文学」

概要：「巨匠の眼　川端康成と東山魁夷」展にあわせ、ノーベル文学賞作家の川端康成とガブリエル・ガルシア＝マルケスの著作を映画化した作品を紹介した。

日時：①5月3日（土・祝）　②5月4日（日・祝）
　　いずれも　15:00－（開場 14:30）

上映内容：
①『伊豆の踊子』（1963年、日本、87分）
②『コレラの時代の愛』（2007年、アメリカ、137分）

会場：多目的室　　**参加料**：500円
参加者数：①43人　②41人
企画協力：（株）サールナートホール

告知チラシ（当館作成）

⑵Shizubi シネマアワー vol.12

「アニメーション！アニメーション!!」

概要：「山本二三展」にあわせ、山本氏が影響を受けたアニメーション作品を計2回にわたって特集。1日目はスタジオジブリを代表する高畑勲と宮崎駿の原点とも評される傑作とその続編、2日目はカナダのアニメーション作家のフレデリック・バックの作品計9本を上映した。

日時：①8月30日（土）　②8月31日（日）
　　いずれも　14:00－（開場 13:30）

上映内容：
①『パンダコパンダ』（1972年、日本、33分）、『パンダコパンダ　雨ふりサーカス』（1973年、日本、38分）
②『アブラカダブラ』（1970年、フランス、約9分）、『神様イノンと火の物語』（1972年、フランス、約10分）、『鳥の誕生』（1972年、フランス、約10分）、『イリュージョン？』（1975年、フランス、約12分）、『タラタタ』（1977年、フランス、約8分）、『トゥ・リアン』（1978年、フランス、約11分）、『クラック！』（1981年、フランス、約15分）、『木を植えた男』（1987年、フランス、約30分）、『大いなる河の流れ』（1993年、フランス、約24分）

会場：多目的室　　**参加料**：500円
参加者数：①115人　②74人
企画協力：（株）サールナートホール

告知チラシ（当館作成）

⑶Shizubi シネマアワー vol.13 「英国と二人の女王」

概要：「ロイヤル・アカデミー展」にあわせ、イギリスのヴィクトリア女王（1819－1901）およびエリザベス2世（1926－）を題材とした映画を上映した。

日時：①12月21日（日）　②12月28日（日）
　　いずれも　14:00－（開場 13:30）

上映内容：
①『ヴィクトリア女王　世紀の愛』（2009年、イギリス・アメリカ、102分）
②『クィーン』（2006年、イギリス・フランス・イタリア、104分）

会場：多目的室　　**参加料**：500円
参加者数：①104人　②88人
企画協力：（株）サールナートホール

告知チラシ（当館作成）

⑷Shizubi シネマアワー vol.14 「美術館の舞台裏」

概要：美術館の舞台裏に迫ったドキュメンタリー映画を県内先行上映で計2日間にわたって紹介した。

日時：①2月28日（土）　②3月1日（日）
　　いずれも　14:00－（開場 13:30）

上映内容：

①『みんなのアムステルダム国立美術館へ』（2014年、オランダ、97分）※県内先行上映

②『ナショナル・ギャラリー　英国の至宝』（2014年、アメリカ・フランス、181分）※県内先行上映

会場：多目的室　　**参加料**：500円

参加者数：①93人　②80人

企画協力：（株）サールナートホール

告知チラシ（当館作成）

3)ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」
第8回「映画と音楽―高畑勲作品をめぐって」

概要：テレビやラジオでブロードキャスターとして活躍中のピーター・バラカン氏が案内役を務めるトークシリーズの第8弾。「山本二三展」にあわせ、アニメーション監督の高畑勲氏をゲストに招き、映画における音楽の重要性やそのこだわりを、音楽とともに紹介した。

日時：9月14日（日）14:00－16:00

会場：多目的室

案内人：ピーター・バラカン氏（ブロードキャスター）

ゲスト：高畑勲氏（アニメーション映画監督）

司会：安岡真理（当館学芸員）

参加料：500円　　**参加者数**：132人

主要広報記録：

◆新聞

・「映画音楽へ思い語る　静岡市美術館　高畑勲さんらトーク」『静岡新聞』、9月15日。

・「高畑監督とピーター・バラカン氏対談　音楽と映画関わり語る　静岡市美術館」『朝日新聞』静岡版、9月15日。

4)しずびオープンアトリエ

概要：春・夏の年2回、開催中の展覧会にあわせて実施する、鑑賞と創作が一体となったオリジナルワークショップ。

⑴「手まわしアニメーション“ゾートロープ”をつくろう！」

概要：「山本二三展」にあわせ、出品作品を背景画に使用し、その上から透明フィルムを重ねて連続したモチーフを描き加えた、手まわしアニメーション“ゾートロープ”を制作した。

日時：8月16日（土）－31日（日）
　　いずれも　①13:30－　②15:00－
　　（各回約1時間、計16日間・32回実施）

会場：ワークショップ室

参加料：200円（材料費含む）

対象・参加者数：小学生以上　計385人（各回定員15人）

⑵「提灯をつくろう！光をとおして見る清親の世界」

概要：「小林清親展」にあわせ実施。冒頭のレクチャーで、清親の作品の中に描かれた様々な光と影の表現を確認、今までの浮世絵との違いを紹介した。その後清親の光が描かれた作品で提灯をつくり、清親を魅了した“光のゆらぎ”を体験した。

日時：「小林清親展」会期中の土・日曜日
いずれも　①13:30－　②15:00－
（各回約1時間、計14日間・28回実施）

会場：ワークショップ室

参加料：200円（材料費含む）

対象・参加者数：小学生以上　計227人（各回定員15人）

5）しずびチビッこプログラム

概要：2歳以上の未就学児を対象とした、鑑賞に基づく制作プログラム。保護者は展覧会を見学する。展覧会毎に様々なアプローチで未就学児の表現の可能性に迫っている。市内保育支援団体の協力を得て実施。（保護者は要観覧券）

⑴しずびチビッこプログラム
「巨匠の眼　川端康成と東山魁夷」

概要：展覧会出品作品の東山魁夷《北山初雪》を鑑賞した後、作品をイメージした風景画を描くプログラムを行った。《北山初雪》の、三角形の樹冠、直立した幹の杉林の表現をめざし、まず背景を暗青色で彩色。乾ききらないうちに樹幹は三角を描くように筆の腹を押し重ねて描き、直立した幹は、わりばしの背をスタンプのように押し当てて表現し、東山の作品に通ずる雰囲気を目指した。

日時：5月24日（土）①10:30－12:00　②14:00－15:30

会場：ワークショップ室　　**参加料**：子ども1人につき500円

対象・参加者数：2歳以上の未就学児　計20人

主要広報記録：

◆テレビ

・「子育て世代が芸術を満喫　親子アート体験プログラム」静岡朝日テレビ『ANNスーパー Jチャンネル：県内ニュース』、5月24日放送。

⑵しずびチビッこプログラム
「法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―」

概要：展覧会の2大主題である仏像類・聖徳太子像を鑑賞した後、紙に出力した《飛天》の“彩色”に挑戦。聖徳太子像については、昭和期の平野富山「二歳像」と鎌倉期の「二歳像」（木彫）の比較鑑賞により、往年の作もかつて極彩色であったことを理解して取り組んだ。

日時：6月29日（日）①10:30－12:00　②14:00－15:30

会場：ワークショップ室　　**参加料**：子ども1人につき500円

対象・参加者数：2歳以上の未就学児　計24人

⑶しずびチビッこプログラム
「日本のアニメーション美術の創造者　山本二三展」

概要：山本二三氏が得意とする雲が描かれた作品の紹介や、デモンストレーション映像の鑑賞をした後、山本氏が実際に使用しているTMKポスター紙に、ポスターカラーを用いて、二三雲と呼ばれる入道雲を描いた。雲は丸めたティッシュを押し付け、色を抜き表現。未就学児でも楽しみながら迫力ある雲を描くことができた。
日時：9月6日（土）・20日（土）
　　いずれも　①10:30－12:00　②14:00－15:30
会場：ワークショップ室　　**参加料**：子ども1人につき500円
対象・参加者数：2歳以上の未就学児　計43人
主要広報記録：
◆雑誌
・「子どもがプログラムに参加中、大人は展覧会を楽しめます　しずびチビっこプログラム　山本二三展」『ポッケ』、9月号。

⑷しずびチビッこプログラム
「国宝・久能山東照宮展―家康と静岡ゆかりの名宝」

概要：将軍の所在を示す「馬標（印）」の意味や役割を、出品作品を鑑賞して理解。有名武将の馬標（印）や旗印のデザインも参考に鑑賞し、自分の「馬標（印）」制作につなげた。ラベルシールで自分を示すマークをつくり、布地に絵の具で転写。あらかじめ黒く塗り、金をあしらった木の丸棒に旗を取り付けて完成した。
日時：11月15日（土）①10:30－12:00　②14:00－15:30
会場：ワークショップ室　　**参加料**：子ども1人につき500円
対象・参加者数：2歳以上の未就学児　計21人

⑸しずびチビッこプログラム
「ロイヤル・アカデミー展」

概要：展覧会出品作の《ベラスケスの想い出》の模写に挑戦。あらかじめ板を黒く塗り少女像の輪郭を白くトレースしたものを用意。写実的な表現になるよう、髪・顔・服を、作品の特徴である動きのあるタッチで、基本の色・明るい色・暗い色と細分化して描き、それぞれにあった色での塗り分けを試みた。
日時：1月17日（土）①10:30－12:00　②14:00－15:30
会場：ワークショップ室　　**参加料**：子ども1人につき500円
対象・参加者数：2歳以上の未就学児　計17人

⑹しずびチビッこプログラム
「没後100年　小林清親展」

概要：小林清親の夜をテーマとした木版画を鑑賞し、描かれた光を見つけた。その後、多色刷り木版のしくみの理解に繋げるため《池の端花火》を背景/暗い版/明るい版の3枚にわけて描いた。背景はベニヤ板を彩色し、暗い/明るい版はOHPシートを絵に重ね合わせ写しとった。黒のシルエットで描かれた木や人物の群像などと、花火や提灯の光を描き分けながら、清親の「光と影」の表現を体感することができた。
日時：2月11日（水・祝）①10:30－12:00　②14:00－15:30
会場：ワークショップ室　　**参加料**：子ども1人につき500円
対象・参加者数：2歳以上の未就学児　計23人

6)暦とあそぶワークショップ

概要：祭事や年中行事を通して季節を感じ、それをかたちにするワークショップシリーズ。暦の本来の意味や歴史を学びながら制作する。

⑴暦とあそぶワークショップvol.8　関連展示
「こどもの日だ！昔のいろんな鯉のぼり」

概要：こどもの日にあわせ、県内出身の鯉のぼり蒐集家が所蔵する、明治から昭和30年代頃までの貴重な鯉のぼり12体をエントランスホールに展示。職人技と伝統的な美意識あふれる、手彩色の魅力を伝えた。
会期：4月15日（火）−5月6日（火・祝）
会場：エントランスホール
出品協力：林直輝氏（鯉のぼり蒐集家・吉徳資料室学芸員）
観覧者数：16,075人
出品作品リスト：
1.《真鯉》235×80cm、明治時代、紙に手彩色
2.《けうゑや　金太郎鯉幟》175×50cm、昭和初期、紙に手彩色
3.《真鯉》250×85cm、昭和30年代、紙に手彩色
4.《緋鯉》215×80cm、昭和30年代、紙に手彩色
5.《真鯉》170×50cm、昭和30年代、紙に手彩色
6.《緋鯉》170×50cm、昭和30年代、紙に手彩色
7.《緋鯉》223×55cm、昭和30年代後半〜40年代最初期、木綿に手染め
8.《緋鯉》293×70cm、昭和30年代、木綿に手彩色
9.《真鯉》185×60cm、昭和初期、木綿に手彩色
10.《真鯉》83×43cm、昭和初期、木綿に手彩色
11.《真鯉》296×85cm、昭和30年代、木綿に手彩色
12.《緋鯉》233×72cm、昭和30年代、木綿に手彩色
主要広報記録：
◆テレビ
・「イベント紹介」トーカイケーブルネットワーク『TCNワイド』、4月18日放送。
◆雑誌他
・「イベント案内」『中日ショッパー』静岡版、4月25日。

⑵暦とあそぶワークショップvol.8
「こどもの日だ！家族みんなで“鯉のぼり”をつくろう」

概要：昨年に続いての実施。端午の節句の由来を知り、エントランスホールに展示された、昔の斬新な意匠の鯉のぼりを鑑賞した後、現在では家族の姿にも例えられる鯉のぼりをそれぞれに制作した。
日時：4月26日（土）13:00－16:30
会場：多目的室
参加料：1人につき500円
対象・参加者数：小学生以上　家族11組27人

⑶暦とあそぶワークショップvol.9
「節分の準備をしよう！」

※1月24日（土）に実施予定であったが都合により中止となった。

7)プレゼントワークショップ

概要：子どもたちの創作意欲の原点である、家族や大切な人への想いをかたちにし、プレゼントを作る、という行為に焦点を当て、記念日にあわせて実施。プレゼントを「作って、贈る」ことから生まれるコミュニケーションに主眼を置く。

⑴プレゼントワークショップvol.11
「母の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」

概要：参加者それぞれが母をイメージして彩色したオリジナルリボンで、母を称える“ロゼット”（リボン勲章）を制作し、母への感謝の気持ちを伝えた。16:15に2世代同時にそれぞれの母へ、手紙を添えてプレゼントした。
日時：5月11日（日）13:00－16:30
会場：ワークショップ室
参加料：1人につき500円（材料費含む）
対象・参加者数：小学生とその母　11組23人

⑵プレゼントワークショップvol.12
「父の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」

概要：参加者それぞれが父の象徴を考え、シルクスクリーンの技法を用い、手ぬぐいと画用紙にプリントした。手ぬぐいにはパターンを描くように摺り、紙には摺った後にサインとエディションナンバーを入れ、版画作品として仕上げた。16:00に2世代同時にそれぞれの父へプレゼントした。
日時：6月15日（日）13:00－16:30
会場：ワークショップ室
参加料：1人につき500円（材料費含む）
対象・参加者数：父子（子どもは小学生以上）　8組19人
主要広報記録：
◆新聞
・「父の日2世代で贈り物　静岡市美術館　手拭い作り挑戦」『静岡新聞』、6月16日。

⑶プレゼントワークショップvol.13
「クリスマスの準備をしよう！」

概要：クリスマスに向けて、オリジナルスノードームを制作した。子ども編では、冒頭のレクチャーでクリスマスの象徴であるツリーや星、サンタクロース、プレゼントを贈る理由などを、キリスト教絵画の中から探った。制作では、耐水性の材料を用いることで、自分の描いたモチーフで制作可能なオリジナルスノードームを考案、実施した。大人編では、子ども編の内容に加え、レクチャーでは日本のクリスマス受容史について、具体例を挙げながら解説した。制作物もアレンジし、参加者一人一人のアイデアをより反映できるものとした。
日時：①子ども編　12月7日（日）13:00－16:30
　　②大人編　　12月14日（日）13:00－16:30
会場：①、②とも　ワークショップ室
参加料：1人につき500円（材料費含む）
対象・参加者数：①小学生25人　②中学生以上21人

子ども編

大人編

8)夜店市

概要：中央商店街恒例のイベント「夜店市」に、静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・ると共同で出店。当館ブースでは「山本二三展」、「国宝・久能山東照宮展」のチケット、当館オリジナル茶アメ、竹久夢二ポストカードセットを販売し、美術館の広報に努めた。

日時：8月15日（金）・16日（土）・17日（日）

いずれも　16:00－21:00

場所：葵区紺屋町名店街「札幌かに本家」前「小梳神社」側

販売物：「山本二三展」当日券、「国宝・久能山東照宮」展前売券、静岡市美術館オリジナル茶アメ、竹久夢二ポストカードセット

※チケット・商品購入者には、スピードくじを実施した。

印刷物等：

◆うちわ

＜仕様＞サイズ：告知スペースの直径215mm　縦280mm

柄付き

印刷：両面オフセット4色印刷　ニス引き

枚数：表（共通）/裏① 5,000枚、表（共通）/裏② 5,000枚

計 10,000枚

うちわ表

うちわ　裏①

うちわ　裏②

3－2　連携事業

1)ミュージアム教室・展示解説

概要：当館では、学校や生涯学習センター等からの団体を対象にして、展覧会担当学芸員が直接解説する鑑賞教室に力を入れている。幼稚園・保育園児～高校生については、子どもたちと当館学芸員等が対話形式で展覧会鑑賞を行う「ミュージアム教室」として実施。子どもたち自身が作品の魅力を発見し、考えるよう促すことで、美術を身近で楽しいものと感じることを目指すとともに、美術館でのマナーも学習することを目的とする。大学・専門学校生、および生涯学習センター・生涯学習交流館等の事業参加者については、展覧会の見どころを中心とした「展示解説」として実施している。

対象：＜ミュージアム教室＞幼稚園・保育園児～高校生
　　＜展示解説＞大学生・専門学校生～一般

実施内容・所要時間(共通)：
スタッフの解説30分＋自由鑑賞30分　計60分

利用状況：

◆ミュージアム教室利用状況

	幼稚園・保育園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校 特別支援学級		児童クラブ		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
巨匠の眼 川端康成と東山魁夷	0	0	0	0	6	279	3	50	0	0	0	0	9	329
法隆寺展 ―聖徳太子と平和への祈り―	0	0	3	369	6	355	2	21	0	0	1	12	12	757
日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展	5	114	5	252	14	366	6	111	2	24	14	532	46	1,399
国宝・久能山東照宮展 ―家康と静岡ゆかりの名宝	0	0	2	84	1	24	3	24	1	23	0	0	7	155
ロイヤル・アカデミー展 イギリス美術の華麗なる150年	0	0	1	16	8	263	5	135	0	0	1	6	15	420
没後100年　小林清親展 文明開化の光と影をみつめて	0	0	1	8	6	275	1	6	0	0	0	0	8	289
計	5	114	12	729	41	1,562	20	347	3	47	16	550	97	3,349

計　97団体　3,349人

◆展示解説利用状況

	大学・専門学校		生涯学習センター 生涯学習交流館		その他		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
巨匠の眼 川端康成と東山魁夷	2	59	1	19	2	103	5	181
法隆寺展 ―聖徳太子と平和への祈り―	0	0	3	146	4	248	7	394
日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展	8	242	0	0	0	0	8	242
国宝・久能山東照宮展 ―家康と静岡ゆかりの名宝	0	0	3	110	10	134	13	244
ロイヤル・アカデミー展 イギリス美術の華麗なる150年	1	65	1	65	1	32	3	162
没後100年　小林清親展 文明開化の光と影をみつめて	0	0	2	63	1	93	3	156
計	11	366	10	403	18	610	39	1,379

計　39団体　1,379人

2)静岡大学連携事業
「静岡大学アートマネジメント力育成事業」
概要：本事業は、文化庁の「大学を活用した文化芸術推進事業」として、昨年度より3か年の予定で始まった。昨年度は、同事業実習B（美術分野）による企画展「めぐるりアート静岡」に会場の一つとして参画、企画協力したが、本年度は、同展（2015年2月3日－22日）と当館のShizubi Projectの開催時期が重なったため、展覧会への参画は見送り、互いに広報協力を行った。

3)生涯学習センター・静岡市美術館連携事業
「しずび出前講座」
概要：「しずび出前講座」は、開催中の展覧会にかかわらず、生涯学習センターに当館学芸員を講師として派遣し、座学やワークショップを実施する連携講座。本年度は座学3講座4回、ワークショップ1講座を実施した。

＜講義＞
①「名のある風景、名のない山水」
概要：富士図の歴史的展開や、富士山を描いた絵師についての美術講演会。霊山としての富士山の表現、写実的表現で描かれた富士山など、時代を追って様々な表現を概観した。
日時：12月13日（土）10:00－12:00
会場：大里生涯学習センター　　**参加者数**：21人
講師：吉田恵理

②「ルネサンス巨匠対決！ボッティチェッリvsダ・ヴィンチ」
概要：イタリア・ルネサンスを代表するボッティチェッリとダ・ヴィンチの作品を比較しながら、両者の違いや共通点、ルネサンス期の芸術の特徴を紹介した。
日時：2月7日（土）14:00－16:00
会場：藁科生涯学習センター　　**参加者数**：21人
講師：伊藤鮎

③「彫刻とは何か？」
概要：「彫刻」は明治期西洋からの移入概念で、それまで日本には、「仏像」や「置物」「人形」はあっても「彫刻」はなかった。初日に先史時代から近代まで「彫刻」の歴史を概観し、2日目には当館で開催中のShizubi Project4を見学、現代の多様な表現まで含めて「彫刻とは何か」について改めて考えた。
日時：2月21日（土）、22日（日）
　　いずれも　15:00－17:00
会場：葵生涯学習センター　　**参加者数**：14人
講師：以倉新

＜ワークショップ＞
①「オリジナル短冊かざりをつくろう！」
概要：平成24年度に開催した「しずびチビッこプログラム」の出張版として内容を親子向けにアレンジして実施。七夕の季節に合わせ、昔の七夕飾りの鑑賞を踏まえたオリジナル短冊飾りを制作した。
日時：7月5日（土）10:30－12:00
会場：葵生涯学習センター
参加料：1人500円
対象・参加者数：2歳以上の未就学児とその保護者　計18人
講師：森谷紗世、安岡真理

4)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)

概要：JR静岡駅前に位置する静岡音楽館AOI、静岡科学館る･く･る、静岡市美術館が特徴を活かして、音楽、科学、美術の境界を越え、総合的な文化空間の創造を目指して連携実施する事業。本年度は右記の事業を当館で展開した。

⑴静岡音楽館AOI　第16期「子どものための音楽ひろば」

概要：静岡音楽館AOI主催の、音楽を通した幅広い経験をすることによって、子どもたちが自らの能力に気付くことを願い、実施される年間講座。本年度当館では「法隆寺展」のレクチャーおよび「山本二三展」の事前レクチャーおよび鑑賞の計2回実施した。

日時：①7月19日(土)13:30－15:00　②8月31日(土)13:30－15:30

場所：①静岡音楽館AOI講堂　②当館展示室・多目的室

対象・参加者数：小4～中3　計86人

⑵静岡市文化振興財団設立20周年連携事業「キニナルスキニナルプロジェクト」／静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業／静岡・室内楽フェスティバル2014

ミュージアム・コンサート

※67頁を参照。

5)静岡市文化振興財団設立20周年連携事業
「キニナルスキニナルプロジェクト」

概要：当館を指定管理する静岡市文化振興財団の20周年を記念し、財団が管理する文化施設・生涯学習施設が連携して子どもから大人まで幅広い世代が参加でき、静岡の歴史や文化をより身近に感じて好きになってもらえるような事業を展開する「キニナルスキニナルプロジェクト」を実施した。当館では講演会、ワークショップ、ウォークツアー、ミュージアム・コンサート等4事業計7回を実施した。

印刷物：

◆チラシ(静岡市文化振興財団事務局作成)
＜仕様＞ サイズ・加工：297×832mm
(仕上A4)、観音折り

チラシ表

⑴「フォトモで復元！むかしの静岡」

概要：「国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝」にあわせ、南部生涯学習センター主催講座の一環としてワークショップを実施。参加者の作品が葵タワー1階で展示されたほか、展示室では当館学芸員が展示解説を行った。

日時：①10月2日(木)13:00－16:00　②10月9日(木)13:00－

場所：南部生涯学習センター、静岡市美術館

参加料：一般1,500円、70歳以上・大高生1,300円(当館観覧料含む)

参加者数：6人

⑵ウォークツアー「久能山探検！」

概要：共通チケットを活用し、学芸員の解説付きで「国宝・久能山東照宮展」を見学した後、観光ボランティアガイド「駿府ウェイブ」の案内で久能山東照宮を参拝した。展覧会と国宝建築をあわせて鑑賞することで、地元の文化財への理解を深めた。

日時：①10月9日(木)9:00－17:30(全1回)
②10月30日(木)9:30－11:30・31日(金)10:00－16:30(全2回)

場所：①東部生涯学習センター　②西部生涯学習センター

参加料：当館観覧料、久能山東照宮拝観料、ロープウェー料金等実費(セット割引あり)

参加者数：計62人

⑶この一曲をとことん語る　C.サン＝サーンス《動物の謝肉祭》＆しずびチビッこプログラム

概要：静岡音楽館AOIおよび当館の定例事業「“この一曲”をとことん語る」と「しずびチビッこプログラム」のコラボレーション企画。静岡音楽館AOIの「子どものためのコンサート　音楽とおはなし《動物の謝肉祭》」に絡め、子どもは「水族館」「白鳥」などの楽曲を聴きながら即興的に絵を描き、同伴する保護者は講演会を聴講した。
日時：10月12日（日）①10:30－12:00　②14:00－15:30
場所：＜講演会＞多目的室　＜チビッこプログラム＞ワークショップ室
参加料：子ども1人につき500円
対象：＜講演会＞どなたでも　＜チビッこプログラム＞2歳以上の未就学児
参加者数：計37人

⑷自然観察と竹スプーンづくり～静岡の竹と漆を考える～

概要：財団設立20周年記念事業および静岡科学館る・く・る企画展「しずおか自然体験ミュージアム」関連事業。静岡北特別支援学校で行っている、静岡の伝統工芸と竹林整備とのユニークな取組みを3回講座にアレンジし、同校教諭らを講師に招いて実施。有度山麓の遊木の森で、竹などの自然観察を行った後、竹を採集し乾燥させ、本漆を用いた竹スプーンを制作した。
日時：①10月13日（月・祝）10:00－15:00
②1月18日（日）13:00－16:30
③2月1日（日）13:00－16:30
場所：①有度山（遊木の森）
②および③　静岡科学館る・く・る創作ルーム
参加料：600円（材料費・保険料含む）、科学館入館料
対象・参加者数：小学4年生以上　計40人
講師等：静岡県自然観察指導員会中部支部（自然観察）、静岡北特別支援学校南の丘分校（竹スプーン制作技術協力・指導）

⑸静岡市文化振興財団設立20周年連携事業「キニナルスキニナルプロジェクト」／静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業／静岡・室内楽フェスティバル2014

ミュージアム・コンサート

概要：当館を指定管理する（公財）静岡市文化振興財団の設立20周年事業「キニナルスキニナルプロジェクト」の一環として、またJR静岡駅前に位置する当館を含めた3文化施設の連携事業として、特に静岡音楽館AOIの協力を得て実施した。ミュージアム・コンサートとしてはめずらしい邦楽を扱ったが、《春の海》など馴染みのある曲も含んだ選曲で、幅広い層の来場があった。
日時：11月16日（日）開場14:30　開演15:00
会場：多目的室　　**参加料**：1,500円　　**参加者数**：49人
出演：岡村慎太郎氏、岡村愛氏（いずれも箏、三絃、歌）、
柴道香（尺八）
曲目：
1. 宮城道雄 作曲《春の海》 2. 同《瀬音》 3. 中尾都山 作曲《石清水》 4. 地歌《たぬき》 5. 池上眞吾 作曲《紗羅の花》 6. 同《約束のウタ》

6)その他施設との連携等

⑴Kids Art Project Shizuoka

概要：平成26年4月～平成27年3月末まで、「Kids Art Project Shizuoka実行委員会」に参画、県内の小学校全児童に参加各館のオリジナルスタンプを集めるスタンプラリー付の「しずおかミュージアムパスポート」を配布した。
実施期間：4月1日（月）－3月31日（月）
対象：静岡県内の全小学生（549校・約21万人）
加盟館：静岡県内の美術館・博物館計43館

⑵JR東海「さわやかウォーキング」

概要：JR東海主催イベント「さわやかウォーキング」へ協力。当館がコースの一部となったほか、コースマップ提示者には「巨匠の眼　川端康成と東山魁夷」展を団体料金で鑑賞できるサービスを行った。
実施日：5月17日（土）　**参加者数**：126人

⑶「山本二三さんと雲をえがこう」

概要：静岡市清水文化会館マリナートとの連携により、「山本二三展」に関連したワークショップを、山本二三氏を迎えて実施した。制作前にマリナート職員が作家本人とインタビュー形式で作品紹介をし、その後山本氏によるデモンストレーションが行われた。
日時：7月12日（土）13:00－15:30
会場：静岡市清水文化会館マリナート　1階ギャラリー
講師：山本二三氏（アニメーション美術監督・背景画家）
参加料：1人につき500円
対象・参加者数：小学3年生～6年生　27人
主要広報記録：
◆新聞
・石原猛「雲もいきいきアニメ空描こう　「もののけ姫」監督　山本二三さん児童教室　清水区「自由に色使って」」『中日新聞』静岡版、7月13日。
・「独特の雲　描き方伝授　アニメ美術監督山本二三さん　小学生向けに　清水区」『静岡新聞』、7月13日。

⑷しずおかエンジェルプロジェクト

概要：「しずおかエンジェルプロジェクト」は、今年度より静岡市が取り組んでいる結婚支援事業で、静岡市の魅力をふんだんに詰め込んだ「男女の出会いのイベント」を開催するもの。会員制で、市内在住または通勤・通学をしている20歳以上40歳未満の独身男女が対象。イベントコースは「3区をめぐるしぞ～か恋物語♥コース」及び「しぞ～かプチ贅沢♥大人恋愛コース」の2つで、当館は、前者のコースの会場として、事業への協力を行った。
日時：8月24日（日）9:00－11:15、9月19日（金）18:00－18:50
会場：多目的室、展示室　**参加者数**：90人
主要広報記録：
◆新聞
・「「結婚」支援へ公共施設活用　市が事業概要発表　美術館などでイベント」『静岡新聞』、5月20日。

4．受託事業等

4－1　受託事業

1)「竹久夢二」展

概要：蒲原地区の祭事にあわせ、志田コレクションの優品を、夢二と同時代に建てられた国登録有形文化財の旧五十嵐邸で展示する、毎年恒例の展覧会。

会期：4月3日(木)－6日(日)　　**来場者数**：371人

出品作品リスト：志田コレクションより

1. 竹久夢二《草に憩う女》(掛軸)
2. 竹久夢二《紙びな》(掛軸)
3. 書籍『桜さく嶋　春のかたはれ』(計2点)
4. 書籍『三味線草』
5. 書籍『春の鳥』
6. 月刊夢二カード「第5集　夫婦」(計6点)
7. 版画『長崎六景』(計6点)

計7件18点

主要広報記録：

◆新聞

・「まちトピ：清水区　竹久夢二展」『静岡新聞』、4月3日。

2)静岡市清水文化会館マリナート常設展示

「平野富山－清水が生んだ彩色木彫の名匠」

概要：今年度で3年目となる静岡市清水文化会館マリナートにおける、彩色木彫家・平野富山の常設展示。静岡市が収蔵する富山作品(彩色木彫35点、塑像等約35点、書2点)と富山の収集品454件を活用し、各期テーマを設けて展示した。また、それに係る展示施工、保存管理、調査研究のほか、今年度よりマリナート季刊誌『ＳＦ』への寄稿も行い、各期の展示内容を紹介するなどの広報にも努めた。

テーマおよび会期：

【第1期】哲仙と富山　4月－7月
【第2期】能、歌舞伎　8月－11月
【第3期】富山と同時代の作家　12月－3月

第3期展示①

平野富山《青松》ブロンズ
静岡市蔵

平野富山《白砂》ブロンズ
静岡市蔵

第3期展示②

出品作品リスト：

【第1期】哲仙と富山

平野富山の最初の師である池野哲仙(1880－1936)は、後に富山が師事する日本近代彫刻の巨匠・平櫛田中(1872－1979)の彩色を請負うなど、高い彩色技術を持つ人形師だった。富山コレクションより哲仙の作品4点を展示し、"師"哲仙と、"弟子"富山の関係を紹介した。

1. 平野富山《韋駄天童子》昭和49年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《鐘馗》昭和50年、彩色木彫、静岡市
3. 池野哲仙《蘭陵王舞》彩色木彫、静岡市/平野富山コレクション
4. 池野哲仙《蘭陵王面》彩色木彫、静岡市/平野富山コレクション
5. 池野哲仙《白武悪※狂言面》彩色木彫、静岡市
6. 池野哲仙《模刻隆慶作百人一衆》彩色木彫、静岡市
7. 平野富山《神猿》昭和56年、彩色木彫、静岡市
8. 平野富山(敬吉)《女》※第3回新日展出品、昭和35年、FRP、静岡市

【第2期】能、歌舞伎

平野富山が手掛けた彩色木彫より、能、歌舞伎を主題とした作品を展示。出身地・清水にもゆかりある「羽衣伝説」に取材した能の演目「羽衣」に基づいた《羽衣舞》など、晩年の代表作を紹介した。

1. 平野富山《粧》昭和11年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《おぼろ夜》昭和12年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《八重垣姫》昭和11年、彩色木彫、静岡市
4. 《喝食》江戸時代、静岡市/平野富山コレクション
5. 《平太》江戸時代、静岡市/平野富山コレクション
6. 《石王尉》江戸時代、静岡市/平野富山コレクション
7. 平野富山《羽衣舞》昭和58年、彩色木彫、静岡市
8. 平野富山(敬吉)《斜光》※第5回新日展出品、昭和37年、FRP、静岡市

【第3期】富山と同時代の作家

富山コレクションより、日本美術院で作品発表を続けた木彫家、宮本理三郎の80歳の作《うずら》や、富山と同様、構造社で彫塑も学び日展で活躍した木島延幸の木彫作品など、富山と同時代の作家も紹介した。

1. 平野富山《福童子》昭和24年、彩色木彫、静岡市
2. 平野富山《天満大自在天神》昭和54年、彩色木彫、静岡市
3. 平野富山《福ねずみ》昭和46年、彩色木彫、静岡市
4. 宮本理三郎《うずら》昭和58年、彩色木彫、静岡市/平野富山コレクション
5. 木島延幸《うそ》木彫、静岡市/平野富山コレクション
6. 平櫛田中《書「集雅」》紙本墨書、静岡市/平野富山コレクション
7. 平野富山《神馬》昭和52年、彩色木彫、静岡市
8. 平野富山(敬吉)《裸婦》※第2回新日展出品 特選、昭和34年、FRP、静岡市

3)徳川家康公顕彰四百年記念事業
神の葵と将軍の葵―京都洛北世界遺産　上賀茂神社展―

概要：京都最古の神社・上賀茂神社は、平安京以前より京都を鎮護する神として、長きにわたり天皇からの崇敬を得てきた。賀茂別雷命を祀り、正式には賀茂別雷神社という。もとは、山城盆地北部の豪族・賀茂県主の氏神であり、奈良時代中頃までは賀茂の社は一つだったが、やがて上賀茂神社と賀茂別雷命の母神と祖父神を祀る賀茂御祖神社(通称：下鴨神社)の二社に分かれた。
有名な「葵祭」は、この上賀茂神社と下鴨神社の例祭で、古来「賀茂祭」と呼ばれていた。葵の草を大きな器に盛って神前に供え、葵の葉と桂の木の枝で社殿を飾り、勅使一行や神職など祭の奉仕者の冠などにこれを付けることから、江戸時代元禄年間頃より「葵祭」と呼ばれ親しまれてきた。
また、徳川将軍家の家紋「三葉葵」は、一説に上賀茂神社の神紋「二葉葵」と関係があるといわれる。慶長15年4月11日、駿府城の徳川家康に「葵使」が派遣され、葵の他、多数の進物が献上された。葵使は十五代将軍慶喜の時代まで続いた。本展では葵祭や徳川将軍家と関わる資料や美術工芸品などを、重要文化財11点を含む上賀茂神社の御神宝により紹介した。

会期：3月28日(土)－4月5日(日)
(第1部：3月28日(土)－31日(火)、第2部：4月1日(水)－5日(日))

会場：第1、第3展示室

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、徳川家康公顕彰四百年記念事業静岡部会事業実施本部

特別協力：賀茂別雷神社

観覧料：無料　　**観覧者数**：944人(第1部)

印刷物：

◆チラシ

＜仕様＞紙：モンテルキア 90.5kg
サイズ・数量：A4 5,000部

◆ポスター

＜仕様＞紙：マットコート 135kg
サイズ・数量：B1 10部　(※オンデマンド印刷)

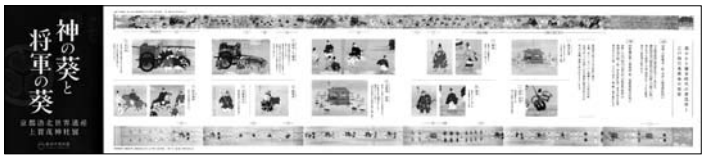
ポスター /チラシ表
(イメージ共通)

チラシ裏

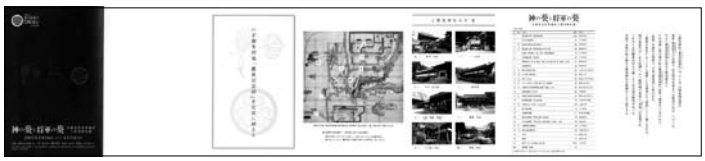
◆出品目録兼鑑賞ガイド

図録の代わりとして制作。最終ページには会場出口に設置された御朱印風スタンプを押せるページを設け、幅広い層に展示を楽しんでもらえる工夫をした。

＜仕様＞紙：上質 90kg
サイズ・加工・数量：177×81mm（仕上177×116mm）
ジャバラ折（7折）3,000部



表



裏

出品作品リスト：

1.真道黎明筆《賀茂神話絵》五面　昭和17年（再興第29回日本美術院展覧会出品）
2.《年中行事秘抄》一冊　江戸時代
3.◎《賀茂別雷神社境内絵図》一幅　室町時代
4.◎賀茂経久筆　《賀茂社嘉元年中行事》一帖　鎌倉時代
5.詞書・日野輝光/絵・未詳　《賀茂祭絵詞》一巻　江戸時代
6.狩野種信筆　《葵祭図》二巻　江戸時代
7.《葵祭装束（冠、笏、檜扇、平緒、石帯、袍、単位、裾、表袴、大口袴）》一式　昭和43年
8.《葵祭御祭文》一通　昭和20年
9.◎《徳川家康朱印状》一枚　元和1年7月27日
10.◎《江戸葵下算用状》一枚　寛文11年
11.◎《葵下小日記》一冊　寛永21年4月29日
12.◎《江戸ニ而方々江進上帳(葵下進物帳)》一冊　慶安2年10月
13.◎《京都所司代牧野親成達書（葵献上ニ付）》一枚　寛文2年3月14日
14.《御葵使勤方日次記》一冊　享保6年
15.◎《東福門院装束奉納目録》一枚　慶安5年4月31日
16.《菖蒲蒔絵鞍（桂昌院奉納）》一背　元禄10年奉納
17.◎《社務日誌（元禄十丁丑歳日記）》一冊　元禄10年
18.《雷文象嵌鐙》一双　江戸時代
19.《金銅釣燈籠》二口　明和3年奉納
20.森安石象筆《孝明天皇行幸絵巻》一巻　昭和時代
21.山本信禮筆《孝明天皇上賀茂神社行幸図（下絵）》一巻　元治2年
22.◎《本殿摂社神殿図》一巻　江戸時代
23.◎《寛永造営遷宮記》一冊　宝暦9年5月
24.《手斧》一対　昭和12年
25.《墨壺》一件　昭和12年
26.《神宝一式（挿、酒器、茶器、箸）》4点　文久3年
参考　《御神餞（複製）》一式

※◎は重要文化財を示す。

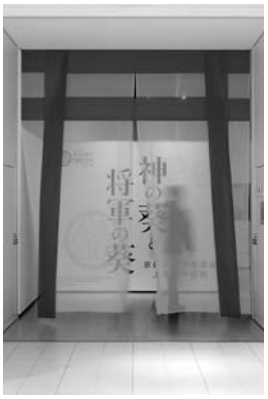
主要広報記録：

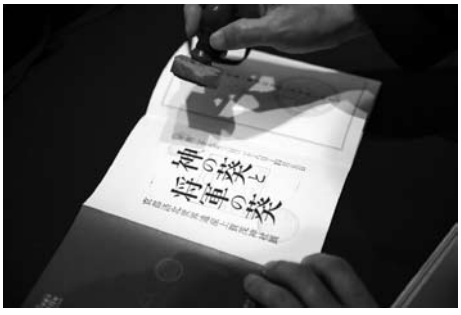
◆新聞

・「徳川家と上賀茂神社　「葵」が結ぶ縁紹介　5日まで静岡市美術館」『静岡新聞』、3月29日。
・「「神様の服」を紹介　SBS学苑特別講座最終回　十二単も詳しく」『静岡新聞』、3月29日。
・松野穂波「上賀茂神社と葵のご縁　静岡市美術館　文書や絵巻で紹介」『中日新聞』静岡版、3月30日。

◆ウェブサイト等（媒体名のみ記載）

「アットエス」、「Yahoo! JAPAN」、「じゃらんnet」





5．調査研究・研修受入等

5－1　調査研究

平成26年度中に当館職員が行った、館外での主な活動および執筆・寄稿等は下記のとおりである。

●田中豊稲
＜雑誌・新聞等寄稿＞
・「企画会議 in 静岡」『美連協ニュース』No.124、7頁。

●以倉新
＜館外での活動＞
・静岡市立芹沢銈介美術館　協議会委員（8月30日、2月28日）
・京都造形芸術大学通信教育部博物館学芸員課程　非常勤講師
・「現代美術の展望　VOCA展2015」（上野の森美術館）推薦委員
＜展覧会カタログ編集・執筆＞
・「Shizubi Project 4 ヒトのカタチ、彫刻　津田亜紀子/藤原彩人/青木千絵」展カタログ編集、作家論執筆「ヒトのカタチと「彫刻」津田亜紀子、藤原彩人、青木千絵3人の彫刻家について」
＜雑誌・新聞等寄稿＞
・（推薦文　鈴木興）『VOCA展2015　現代美術の展望』（上野の森美術館／2015年）

●吉田恵理
＜館外での活動＞
・浜松市美術館　作品評価委員（3月4日）
＜研究発表・論文等＞
・「徳川慶喜の油彩画を読む―シンポジウム企画開催の経緯とその後」、『ジャポニスム学会第一回学芸員勉強会』、帝京大学霞が関キャンパス（東京都千代田区平河町）、12月5日、15:00－17:00
＜展覧会カタログ編集・執筆＞
・「巨匠の眼　川端康成と東山魁夷」解説リーフレット執筆
・「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り」カタログ編集、第三章「太子信仰の広がり」2「法隆寺と徳川家」章解説・作品解説執筆
・「国宝・久能山東照宮展　家康と静岡ゆかりの名宝」カタログ編集、関係資料・作品解説執筆
＜雑誌・新聞等寄稿＞
・吉田恵理「法隆寺展①：優しく清々しい表情国宝観音菩薩立像（夢違観音）」『読売新聞』静岡版、6月17日。
・吉田恵理「法隆寺展③：太子16歳父の平癒祈る聖徳太子孝養像及び二王子・二天像」『読売新聞』静岡版、6月24日。
・吉田恵理「法隆寺展④：人物描写活き活きと聖徳太子絵伝第三幅遠江法橋筆」『読売新聞』静岡版、6月27日。

●山本香瑞子
＜展覧会カタログ編集・執筆＞
・「巨匠の眼　川端康成と東山魁夷」解説リーフレット執筆・編集
・「没後100年　小林清親展」カタログ編集、コラム・作品解説執筆、論考「浮世絵版画の死と再生」『小林清親　文明開化の光と影をみつめて』198－202頁。
＜雑誌・新聞等寄稿＞
・山本香瑞子「文明開化光と影で表現：没後100年小林清親展　来月7日から静岡市美術館」『静岡新聞』、1月28日。

●小川かい
＜館外での活動＞
・静岡県博物館協会事業推進グループ委員
＜展覧会カタログ編集・執筆＞
・「ロイヤル・アカデミー展」カタログ編集、エッセイ・作品解説翻訳、イギリス関連地図制作、主要参考文献編集
＜雑誌・新聞等寄稿＞
・小川かい「静岡市美術館　12月6日から　ロイヤル・アカデミー展　英国美術の殿堂」『中日新聞』静岡版、12月4日。

●森谷紗世
＜館外での活動＞
・「日本平動物園写生大会」審査（静岡市立日本平動物園、11月21日）

●青木良平
＜研究発表・論文等＞
・「静岡市美術館の広報について（事例紹介）」、『静岡県博物館協会平成26年度第3回講習会　館園の広報』、静岡市美術館、3月6日、15:30－16:15
＜その他＞
・「くらしプレミアム　学芸員ひと目ぼれ　いいモノカタチ：①青木良平さん（静岡市美術館）　見るだけで和む絵付け　九谷焼の汲み出し碗」『静岡新聞』（夕刊）、10月23日。

●伊藤鮎
＜展覧会カタログ編集・執筆＞
・「Shizubi Project 4 ヒトのカタチ、彫刻　津田亜紀子/藤原彩人/青木千絵」カタログ編集、エッセイ「カタチとソザイ－3作家の素材の選択について」

●大石沙織
＜展覧会カタログ編集・執筆＞
・「国宝・久能山東照宮展　家康と静岡ゆかりの名宝」カタログ編集、関係資料・作品解説執筆
・「没後100年　小林清親展」カタログ編集、コラム・作品解説執筆
＜雑誌・新聞等寄稿＞
・大石沙織「法隆寺展②：V字形眉鋭く理知的聖徳太子立像（2歳像）」『読売新聞』静岡版、6月20日。
・大石沙織「法隆寺展⑤：家康太子の加護求め奉納剣銘信国および剣袋」『読売新聞』静岡版、6月29日。

●安岡真理
＜館外での活動＞
・「日本平動物園写生大会」審査（静岡市立日本平動物園、11月21日）
＜研究発表・論文等＞
・発表：「静岡市美術館の教育普及事業について」（美術科教育指導論・後期）、静岡大学、1月5日。
＜雑誌・新聞等寄稿＞
・安岡真理「アニメ美術の創造者山本二三（上）下町の空気感まで表現　じゃりン子チエ《大阪の夜》」『静岡新聞』（夕刊）、7月28日。
・安岡真理「アニメ美術の創造者山本二三（中）実写以上の感情的効果　火垂るの墓《捨てられた思い出》」『静岡新聞』（夕刊）、7月29日。
・安岡真理「アニメ美術の創造者山本二三（下）記憶を呼び起こす

一瞬　時をかける少女《ゴーヤ棚》」『静岡新聞』(夕刊)、7月30日。
・安岡真理「山本二三展@静岡市美術館(上)「未来少年コナン」背景を質感豊かに」『毎日新聞』静岡版、8月5日。
・安岡真理「山本二三展@静岡市美術館(中)「天空の城ラピュタ」架空の世界に現実感」『毎日新聞』静岡版、8月6日。
・安岡真理「山本二三展@静岡市美術案(下)「もののけ姫」神話的自然の原風景」『毎日新聞』静岡版、8月7日。

◆教育プログラム企画・制作(担当：森谷・安岡)
・「しずびチビッこプログラム」オリジナルプログラム(各展覧会・計6種)
・「しずびオープンアトリエ」オリジナルプログラム(計2種)
夏：「手まわしアニメーション"ゾートローブ"をつくろう！」
春：「提灯をつくろう！光をとおして見る清親の世界」」
・「プレゼントワークショップ」オリジナルプログラム(計4種)
vol.11「母の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」、vol.12「父の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」、vol.13「クリスマスの準備をしよう！」(子ども編・大人編)
・「暦とあそぶワークショップ」オリジナルプログラム　(計1種)
vol.8「こどもの日だ！家族みんなで"鯉のぼり"をつくろう」

5－2　研修受入等

平成26年度に当館で受け入れた学校・他施設等の職員研修は下記のとおりである。

1)教員社会体験の研修受入
受入日時：①8月15日(金)13:00－19:00
②8月18日(月)11:10－16:50
③8月24日(日)10:00－17:00　　計3日間
研修者：志村理恵子(静岡市立清水高部東小学校)
内容：「夜店市」従事、「オープンアトリエ」の体験・補助等

5－3　博物館実習

以下の要領で学芸員資格取得を目指す学生を対象に博物館実習を行った。

対象：博物館法施行規則第一条に定められた博物館に関する科目の単位を履修済みまたは履修中で、以下の要件を満たす者。ただし学芸員資格を既に取得済みの者は除く。
①美学・美術史または美術教育専攻であること。(美術館で研修する理由がある者)
②静岡県内在学者もしくは県内に帰省先があること。
③パソコンのメールアドレスを持っていること。(携帯メールは不可)
④学部3年生以上であること。(4年生を優先する)
実習期間：8月12日(火)－15日(金)および18日(月)　計5日間
受入大学・人数：静岡大学、静岡文化芸術大学、実践女子大学、東京造形大学　計4大学5人

実習日	時　間	実　施　内　容
12日(火)	10:10－11:00 11:10－12:00 13:00－13:50 14:00－14:50 15:00－15:50	ガイダンス、職員紹介、施設案内 静岡市美術館の特色について(講義) 静岡市美術館の広報活動について(講義) 展覧会の作り方①(講義) 展覧会見学
13日(水)	10:10－11:00 11:10－12:00 13:00－13:50 14:00－16:50	展覧会の作り方②(講義) 展示・演出について(講義) 美術品の調査の仕方・作品の取扱い(実習) 作品調査①(実習)
14日(木)	9:10－ 9:55 10:10－11:00 11:10－12:00 13:00－16:50	自記温度計の取扱い、収蔵庫清掃(実習) 美術館の展示・保存環境について(講義) 展示準備室の整理(実習) 作品調査②(実習)
15日(金)	13:00－13:50 14:00－14:50 15:00－19:00	館長講話(講義) 「これまでの実習で学んだこと」(実習生による発表) 夜店市補助(実習)
18日(月)	11:10－12:00 13:30－14:30 15:00－16:50	静岡市美術館の教育普及活動について(講義) オープンアトリエ体験(実習) オープンアトリエ補助(実習)

5－4　視察等受入

平成26年度受入分は下記のとおりである。

	日　付	視察団体名	人数
1	10月30日（木）	静岡市役所文化財課文化財調査係	5人
2	11月14日（金）	北摂津市議会議長会	24人
3	11月19日（水）	沖縄市議会	2人
4	12月 6 日（土）	金沢市議会	2人
5	12月11日（木）	三島市教育委員会	10人
6	3 月10日（火）	相模原市	7人

（※外部施設との連携事業における展示解説分は除く。）

計　6件　50人

5－5　その他

1）美術館連絡協議会「2014年度企画会議」の受入

概要：美術館連絡協議会主催の、展覧会企画提案会議が当館で開催された。各地の加盟館学芸員11人計12企画の提案があり、活発な意見交換が行われた。なお、会議終了後、「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」を観覧した。

日時：7月3日（木）13:30－

※翌4日（金）には参加希望者による、静岡市立芹沢銈介美術館、静岡市立登呂博物館、静岡県立美術館見学会が実施された。

会場：多目的室　　**参加者数**：21人（理事、事務局含む）

主要広報記録：

◆雑誌等

・「2014年企画会議　12の提案プレゼンテーション　今年は静岡で開催」『美連協ニュース』No.124、6-7頁。

2）静岡県博物館協会「平成26年度　第3回講習会　館園の広報」の受入

概要：静岡県博物館協会で年2～3回開催されている講習会を当館で開催した。美術館・博物館の広報をテーマに、第一線で活躍している講師によるレクチャーのほか、当館での広報の実際についても事例報告を行った。なお、終了後希望者は「小林清親展」を観覧した。

日時：3月6日（金）13:30－16:30

会場：多目的室　　**参加者数**：30人

講師等：沼澤英夫氏（株式会社ウインダム専務取締役）、阿南一徳氏（株式会社主婦の友社法務課長、静岡県舞台芸術センター広報アドバイザー）、青木良平（当館学芸員）

6．収蔵品・図書等

6－1　収蔵品貸出

1)「夢二からちひろへ―子どもの本の先駆者たち―」展
会期：11月6日(木)－1月31日(土)
会場(所在地)：ちひろ美術館・東京(東京都練馬区下石神井)
貸出内容：志田コレクションより
『絵ものがたり　京人形』、『歌時計』、『夢二画手本　一～四』、『どんたく絵本　一』、『凧』、『コドモのスケッチ帖　活動写真にて』、『夢二繪手本』、『あやとりかけとり』、『春』(いずれも竹久夢二著・装幀)　計12点

6－2　画像貸出等

1)『大正着物』
貸出画像：竹久夢二《木に寄る女》、《草に憩う女》(いずれも掛軸)　計2点
発行者：株式会社パイ インターナショナル
発行部数：4,500部
発行日：平成27年(2015年)3月19日
体裁：A5判272頁

2)小山市立車屋美術館　平成27年度企画展
『杉山明博の造形世界　木とあそぼう　―学びと遊びのデザイン展―』ポスター・チラシ
貸出画像：杉山明博《啓蟄の候》、《あかり　4本足》、《参加彫刻(丸型パーツ)1》、《参加彫刻(丸型パーツ)2》　計4点
(いずれも静岡アートギャラリー平成20年度展覧会「木のぬくもり展」図録所収作品画像)
発行者：小山市立車屋美術館
体裁・発行部数：B2ポスター 500枚、A4チラシ 6,000枚
発行日：平成27年(2015年)3月

6－3　図書等

平成26年度図書等受入数

	購入	寄贈	合計
カタログ	13冊	331冊	344冊
雑誌	39冊	115冊	154冊
一般図書・その他	60冊	713冊	773冊
合計	112冊	1,159冊	1,271冊

7．広報活動

7－1　広報印刷物

1)年間スケジュール

平成26(2014)年度展覧会スケジュールを下記のとおり制作し、ウェブサイトに掲載した。

＜仕様＞紙：マットコート 110kg
　　サイズ・数量：210×396mm（仕上 210×99mm）45,000部(日本語版)、500部(英語版)
　　加工：観音折り(四つ折り)加工
　　印刷：オフセット印刷(日本語版)、オンデマンド印刷(英語版)

◆日本語版年間スケジュール

表紙

表面

中面

◆英語版年間スケジュール

表紙

表面

中面

2)ワークショップシリーズ年間スケジュール

平成26(2014)年度ワークショップシリーズ年間スケジュールを下記のとおり制作した。

＜仕様＞紙：片艶晒クラフト 86kg
　　サイズ・数量：A4(仕上A5) 20,000部
　　加工：二つ折り加工

表紙

表面

中面

主要広報記録：

◆雑誌等

・「安心感あるデザインで幅広い年齢層に訴求：静岡市美術館」『デザイントレンドアーカイブ』Vol.4。

7－2　ウェブサイト

展覧会情報を中心に、関連イベントの情報や施設概要、ショップ情報についても掲載。スマートフォンサイトとも連動している。また、ブログ、ツイッターも開設し、常にタイムリーな情報発信を行っている。

ウェブサイト構成：（http://www.shizubi.jp）
●展覧会　　・これからの展覧会　・開催中の展覧会
　　・年間スケジュール　・過去の展覧会
●イベント　　・これからのイベント　・今までのイベント
●ショップ＆カフェ　・ショップ＆カフェ　・アーカイブ
●学校・団体鑑賞
●プレス
●アクセス・利用案内　・アクセス/利用案内　・駐車場
●美術館の概要　・館長挨拶　・コンセプト
　　・施設概要　・ロゴについて
　　・沿革
●その他（リンク）
・ブログ（http://www.shizubi.jp/blog/index.php）
・ツイッター（http://twitter.com/shizubi_jp）

アクセス数：314,109件（1日平均　約861件）

7－3　施設広報記録

展覧会事業・交流事業以外の美術館施設に関する主な取材記録は下記のとおりである。

1）新聞
・「小冊子持参で美術館特典　JR東海、来月まで企画」『静岡新聞』、8月15日。
・「ワクワクする企画展がゾクゾク。観たい！いっぱい！6年目の静岡市美術館」『静岡新聞』、3月29日。

2）雑誌
・「季節にちなんだ、親子ワークショップ：静岡市美術館」『こどもとおでかけ '14』。
・「仲間たち：静岡駅前に賑わい創出　オリジナル企画次々と静岡市美術館」『美連協ニュース』、No.122。
・「施設紹介」『アート＆トレイン 2014』。
・「施設紹介」『魅惑のフェルメール全仕事：美術展にようこそ！2015年に出会える名画たち』、1月5日。
・「施設紹介」『美術屋・百兵衛』、2月号。
・「施設紹介」『旅ゆけば　しずおか　宿マップ』。
・「施設紹介」『Freek』、No.53。
・「展覧会ポスター・チラシ紹介（近江巡礼展、山本二三展、国宝・久能山東照宮展、ロイヤル・アカデミー展）」『展覧会のグラフィックデザイン』。

3）ウェブサイト等（媒体名のみ記載）
ちずコレ（スマートフォン向けアプリ）

4）その他
・「ＮＨＫプラネット　会社概要」会場風景写真提供。

8．管理運営

8－1　利用者数

1)利用者数(月別)（単位：人）

	展覧会 観覧者	展覧会関連事業 参加者	交流事業 参加者	連携事業 参加者	その他事業 参加者	事業参加者 計	総入館者
4月	3,874	251	10,075	0	371	14,571	15,453
5月	10,834	574	6,154	126	0	17,688	26,427
6月	9,090	413	43	0	0	9,546	23,753
7月	18,243	1,143	0	89	0	19,475	38,599
8月	36,924	1,120	574	109	0	38,727	72,377
9月	29,849	867	175	23	0	30,914	55,593
10月	9,508	470	0	56	0	10,034	24,431
11月	10,845	296	21	49	0	11,211	27,092
12月	4,553	347	8,442	21	0	13,363	15,481
1月	11,481	456	27,106	12	0	39,055	27,089
2月	3,861	285	15,234	50	0	19,430	14,962
3月	5,966	353	16,983	0	944	24,246	20,188
計	155,028	6,575	84,807	535	1,315	248,260	361,445
月平均	12,919	548	7,067	45	110	20,688	30,120

2)利用者数　事業別

展覧会名	実施期間	入場者等
巨匠の眼　川端康成と東山魁夷	4月12日－6月1日 （開館44日間）	15,475人 （352人/日）
読売新聞創刊140周年記念・静岡第一テレビ開局35周年 法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―	6月14日－7月27日 （開館38日間）	26,566人 （699人/日）
日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～	8月4日－9月23日 （開館48日間）	66,773人 （1,391人/日）
徳川家康公顕彰四百年記念事業・静岡市文化振興財団設立20周年記念事業 国宝・久能山東照宮展―家康と静岡ゆかりの名宝	10月4日－11月24日 （開館45日間）	20,353人 （452人/日）
ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年	12月6日－1月25日 （開館41日間）	16,034人 （391人/日）
没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて	2月7日－3月22日 （開館38日間）	9,827人 （259人/日）
展覧会　観覧者　計		155,028人
普及事業参加者　（展覧会関連事業参加者＋交流事業参加者＋連携事業参加者＋その他事業参加者）		93,232人
事業参加者　総計　（展覧会観覧者＋普及事業参加者）		248,260人
総入館者数(エントランス入口自動カウンター集計数)	4月1日－3月31日	361,445人

3)利用者数(事業別詳細)

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会事業	**展覧会**		計6本　155,028人		
	巨匠の眼　川端康成と東山魁夷	4/12－6/1	23,000	15,475	67.3%
	法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―	6/14－7/27	23,000	26,566	115.5%
	日本のアニメーション美術の創造者　山本二三展	8/4－9/23	30,000	66,773	222.6%
	国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝	10/4－11/24	25,000	20,353	81.4%
	ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年	12/6－1/25	23,000	16,034	69.7%
	没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて	2/7－3/22	12,000	9,827	81.9%
展覧会関連事業	**ミュージアム教室**		計3,349人(97団体／98回)		
	巨匠の眼　川端康成と東山魁夷	4/12－6/1	329(9団体／9回)		
	法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―	6/14－7/27	757(12団体／12回)		
	日本のアニメーション美術の創造者　山本二三展	8/4－9/23	1,399(46団体／46回)		
	国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝	10/4－11/24	155(7団体／7回)		
	ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年	12/6－1/25	420(15団体／15回)		
	没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて	2/7－3/22	289(8団体／9回)		
	その他展示解説 (※視察、外部施設＜生涯学習センターは除く＞との連携事業による展示解説は含まない)		計1,379人(39団体／40回)		
	巨匠の眼　川端康成と東山魁夷	4/12－6/1	181(5団体／5回)		
	法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―	6/14－7/27	394(7団体／8回)		
	日本のアニメーション美術の創造者　山本二三展	8/4－9/23	242(8団体／8回)		
	国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝	10/4－11/24	244(13団体／13回)		
	ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年	12/6－1/25	162(3団体／3回)		
	没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて	2/7－3/22	156(3団体／3回)		
	巨匠の眼　川端康成と東山魁夷　関連事業		計4本　315人		
	記念講演会①「川端康成－モダニズムと『伝統』」	4/12	70	75	107.1%
	記念講演会②「東山魁夷の芸術について」	4/19	70	102	145.7%
	ギャラリートーク	4/26、5/10	40	65	162.5%
	SPAC俳優による朗読：川端文学の世界	5/17	60	73	121.7%
	法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―　関連事業		計3本　405人		
	講演会①「和の精神と日本文化－日本の宗教観と平和精神」	6/14	70	134	191.4%
	講演会②「聖徳太子の伝記絵について」	7/13	70	127	181.4%
	講演会③「白鳳のほほえみ－飛鳥時代後期の彫刻について－」	7/21	70	144	205.7%
	日本のアニメーション美術の創造者　山本二三展　関連事業		計3本　346人		
	清水銀行プレゼンツ　山本二三トークショー＆サイン会	8/9	100	125	125.0%
	清水銀行プレゼンツ　デモンストレーション (伝統的な背景画の実演制作)	8/10	100	139	139.0%
	ギャラリートーク	8/23、9/15	40	82	205.0%
	国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝　関連事業		計6本　367人		
	ワークショップ「フォトモで作ろう静岡の街「いま」「むかし」」	10/5、10/13	20	22	110.0%
	講演会①「久能山東照宮御鎮座四百年」	10/11	70	103	147.1%
	講演会②「異形の兜と立物－家康の時代の甲冑－」	10/19	70	83	118.6%
	講演会③「久能山東照宮御神宝装束とゆかりの染織品」	10/26	70	69	98.6%

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			（人）	（人）	（%）
展覧会関連事業	講演会④「徳川家康の日本刀観」	11/8	70	90	128.6%
	ミュージアム・コンサート	11/16	※財団設立20周年連携事業欄に記載		
	ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年　関連事業		**計3本　221人**		
	ギャラリートーク	12/13、1/17	40	95	237.5%
	講演会① 「ロイヤル・アカデミーが目ざしたもの－その理想と現実」	1/10	70	65	92.9%
	講演会②「グランド・ツアー盛期のイギリス人たち」	1/11	70	61	87.1%
	没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて　関連事業		**計3本　193人**		
	記念講演会①「小林清親の世界－その生涯と画業－」	2/14	70	62	88.6%
	ギャラリートーク	2/21、3/14	40	65	162.5%
	記念講演会②「小林清親の学んだもの」	3/7	70	66	94.3%
交流事業	**Shizubi Project4　ヒトのカタチ、彫刻　津田亜紀子/藤原彩人/青木千絵**		**計3本　67,087人**		
	Shizubi Project 4　ヒトのカタチ、彫刻 津田亜紀子/藤原彩人/青木千絵	12/16－3/22	-	66,991	-
	アーティストトーク	12/16、3/22	-	42	-
	カタログ刊行記念　トークセッション「ヒトのカタチ、彫刻」	2/15	50	54	108.0%
	Shizubiシネマアワー		**計8本　638人**		
	Shizubiシネマアワー vol.11 「映画×文学」 ①『伊豆の踊子』	5/3	70	43	61.4%
	Shizubiシネマアワー vol.11 「映画×文学」 ②『コレラの時代の愛』	5/4	70	41	58.6%
	Shizubiシネマアワー vol.12 「アニメーション！アニメーション!!」 ①『パンダコパンダ』	8/30	100	115	115.0%
	Shizubiシネマアワー vol.12 「アニメーション！アニメーション!!」 ②『木を植えた男』他	8/31	100	74	74.0%
	Shizubiシネマアワー vol.13 「英国と二人の女王」 ①『ヴィクトリア女王　世紀の愛』	12/21	70	104	148.6%
	Shizubiシネマアワー vol.13 「英国と二人の女王」 ②『クィーン』	12/28	70	88	125.7%
	Shizubiシネマアワー vol.14 「美術館の舞台裏」 ①『みんなのアムステルダム国立美術館へ』	2/28	70	93	132.9%
	Shizubiシネマアワー vol.14 「美術館の舞台裏」 ②『ナショナル・ギャラリー　英国の至宝』	3/1	70	80	114.3%
	ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」		**計1本　132人**		
	第8回「映画と音楽－高畑勲作品をめぐって」	9/14	100	132	132.0%
	しずびオープンアトリエ		**計2本　612人**		
	しずびオープンアトリエ 「手まわしアニメーション“ゾートローブ”をつくろう！」	8/16－8/31	320	385	120.3%
	しずびオープンアトリエ 「提灯をつくろう！光をとおして見る清親の世界」	2/7－3/22	140	227	162.1%
	しずびチビッこプログラム		**計6本　148人**		
	巨匠の眼　川端康成と東山魁夷	5/24	20	20	100.0%
	法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―	6/29	20	24	120.0%
	日本のアニメーション美術の創造者　山本二三展	9/6、9/20	40	43	107.5%
	国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝	11/15	20	21	105.0%

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			（人）	（人）	（%）
交流事業	ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年	1/17	20	17	85.0%
	没後100年　小林清親展	2/11	20	23	115.0%
	暦とあそぶワークショップ		計3本　16,102人		
	暦とあそぶワークショップvol.8　関連展示 「こどもの日だ！昔のいろんな鯉のぼり」	4/15－5/6	-	16,075	-
	暦とあそぶワークショップvol.8 「こどもの日だ！家族みんなで“鯉のぼり”をつくろう」	4/26	20	27	135.0%
	暦とあそぶワークショップvol.9 「節分の準備をしよう！」	1/24	20	中止	-
	プレゼントワークショップ		計4本　88人		
	プレゼントワークショップvol.11 「母の日だ！２世代で贈るプレゼントづくり」	5/11	20	23	115.0%
	プレゼントワークショップvol.12 「父の日だ！２世代で贈るプレゼントづくり」	6/15	20	19	95.0%
	プレゼントワークショップvol.13 「クリスマスの準備をしよう！　子ども編」	12/7	20	25	125.0%
	プレゼントワークショップvol.13 「クリスマスの準備をしよう！　大人編」	12/14	20	21	105.0%
	その他交流事業		計1本		
	夜店市	8/15－8/17	-	-	-
連携事業	**■生涯学習センターとの連携事業**				
	展示解説付き講座		計11本		
	北部生涯学習センター美和分館 「美術と文学で辿る　川端康成の世界」	4/27	※その他展示解説に含む		
	北部生涯学習センター 「美術講座～法隆寺の至宝～」	6/21	※その他展示解説に含む		
	東部生涯学習センター 高齢者学級みのり大学　東部学級	7/8	※その他展示解説に含む		
	駿河生涯学習センター 「法隆寺展」鑑賞会	7/19	※その他展示解説に含む		
	東部生涯学習センター ウォークツアー「久能山探検！」	10/9	※その他展示解説に含む		
	南部生涯学習センター 「フォトモで復元！むかしの静岡」	10/2、10/9	※財団設立20周年連携事業に含む		
	西部生涯学習センター ウォークツアー「久能山探検！」	10/30、10/31	※その他展示解説に含む		
	藁科生涯学習センター 高齢者学級みのり大学　藁科学級	11/13	※その他展示解説に含む		
	長田生涯学習センター 高齢者学級みのり大学　長田学級	1/9	※その他展示解説に含む		
	長田生涯学習センター 「深く知り、より楽しむ　小林清親展」	2/15	※その他展示解説に含む		
	大里生涯学習センター 高齢者学級みのり大学　大里学級	2/19	※その他展示解説に含む		
	「しずび出前講座」（講義）		計3本　56人		
	大里生涯学習センター しずび出前講座「名のある風景、名のない山水」	12/13	30	21	70.0%

事業区分	事業名	実施時期	入場者等			
			目標値	実績値	達成率	
			（人）	（人）	（%）	
連携事業	藁科生涯学習センター しずび出前講座「ルネサンス巨匠対決！ボッティチェッリvsダ・ヴィンチ」	2/7	30	21	70.0%	
	葵生涯学習センター しずび出前講座「彫刻とは何か？」	2/21、2/22	30	14	46.7%	
	「しずび出前講座」（ワークショップ）		計1本　18人			
	葵生涯学習センター しずび出前講座「オリジナル短冊かざりをつくろう！」	7/5	20	18	90.0%	
	■静岡市清水文化会館との連携事業		計1本　27人			
	「山本二三さんと雲をえがこう」	7/12	20	27	135.0%	
	■静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業（三館共同事業）		計3本　86人			
	静岡音楽館ＡＯＩ 子どものための音楽ひろば	7/19	50	44	88.0%	
	静岡音楽館ＡＯＩ 子どものための音楽ひろば	8/31	50	42	84.0%	
	「国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝」 関連イベント　ミュージアム・コンサート	11/16	※財団設立20周年連携事業欄に記載			
	■静岡市文化振興財団設立20周年連携事業「キニナルスキニナルプロジェクト」		計4本　132人			
	南部生涯学習センター 「フォトモで復元！むかしの静岡」	10/2、10/9	30	6	20.0%	
	この一曲をとことん語る　C.サン=サーンス≪動物の謝肉祭≫ ＆しずびチビッこプログラム	10/12	20	37	185.0%	
	自然観察と竹スプーンづくり～静岡の竹と漆を考える～	10/13、1/18、2/1	60	40	66.7%	※
	「国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝」 関連イベント　ミュージアム・コンサート	11/16	100	49	49.0%	
	■その他連携事業		計2本　216人			
	JR東海さわやかウォーキング	5/17	-	126	-	
	しずおかエンジェルプロジェクト	8/24、9/19	-	90	-	
その他事業	■その他事業		計3本　1,315人			
	静岡市清水文化会館マリナート常設展示 「平野富山―清水が生んだ彩色木彫の名匠」 【第1期】テーマ：富山と哲仙 【第2期】テーマ：能、歌舞伎 【第3期】テーマ：縁起物、富山コレクションより	【第1期】4/16－7/31 【第2期】8/1－12/10 【第3期】12/11－3/30	―	―	―	
	「竹久夢二」展	4/3－4/6	500	371	74.20%	
	神の葵と将軍の葵－京都洛北世界遺産上賀茂神社展－	3/28－3/31	―	944	―	
		計	139,780	248,260	-	

※ … 事業としての目標値は20名だが、3回講座で各回毎参加者数が異なったため、目標値、実績値は累計を記載した。

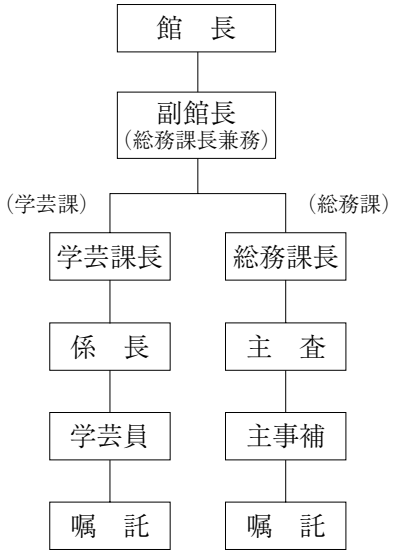
8－2　過去展覧会一覧

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成22(2010)年度			計3本　93,654人
1	開館記念展<Ⅰ> ポーラ美術館コレクション展　印象派とエコール・ド・パリ	10月2日(土)－11月28日(日) <開館51日間>	38,695人 (759人/日)
2	開館記念展<Ⅱ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 家康と慶喜－徳川家と静岡	12月11日(土)－1月30日(日) <開館42日間>	34,424人 (820人/日)
3	開館記念展<Ⅲ> 棟方志功　祈りと旅	2月11日(金・祝)－3月27日(日) <開館39日間>	20,535人 (527人/日)
●平成23(2011)年度			計5本　131,904人
1	ハンス・コパー展－20世紀陶芸の革新	4月9日(土)－6月26日(日) <開館69日間>	16,395人 (238人/日)
2	没後150年　歌川国芳展	7月9日(土)－8月21日(日) <開館38日間> ※前期：7月9日(土)－31日(日) 後期：8月2日(火)－21日(日)	30,404人 (801人/日)
3	開館1周年記念展<Ⅰ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家　セガンティーニ　－光と山－	9月3日(土)－10月23日(日) <開館44日間>	17,806人 (405人/日)
4	開館1周年記念展<Ⅱ> レオナルド・ダヴィンチ美の理想	11月3日(木・祝)－12月25日(日) <開館46日間>	53,136人 (1,156人/日)
5	竹久夢二と静岡ゆかりの美術 (前期：中川雄太郎と静岡の創作版画の世界 後期：平野富山"彩色木彫"の美)	1月7日(土)－3月25日(日) <開館64日間> ※前期：1月7日(土)－2月12日(日) 後期：2月18日(土)－3月25日(日)	14,163人 (222人/日)
●平成24(2012)年度			計6本　100,862人
1	森村泰昌モリエンナーレ　まねぶ美術史	4月7日(土)－6月10日(日) <開館57日間>	7,976人 (140人/日)
2	静岡音楽館AOI×静岡科学館る･く･る×静岡市美術館　共同事業 七夕の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる	6月23日(土)－8月19日(日) <開館51日間> ※前期：6月23日(土)－7月22日(日) 後期：7月24日(火)－8月19日(日)	10,929人 (214人/日)
3	フィンランドのくらしとデザイン－ムーミンが住む森の生活	9月1日(土)－10月8日(月・祝) <開館38日間>	41,258人 (1,086人/日)
4	ストラスブール美術館展　モダンアートへの招待	10月27日(土)－12月16日(日) <開館44日間>	12,016人 (273人/日)
5	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼　祈りの至宝展	1月2日(水)－2月11日(月・祝) <開館36日間> ※前期：1月2日(水)－1月20日(日) 後期：1月22日(火)－2月11日(月・祝)	11,256人 (313人/日)
6	新美南吉生誕100年　ごんぎつねの世界	2月23日(土)－3月31日(日) <開館32日間>	17,427人 (545人/日)
●平成25(2013)年度			計5本　156,594人
1	藤田嗣治　渡仏100周年記念 レオナール・フジタとパリ	4月20日(土)－6月23日(日) <開館57日間>	22,451人 (393人/日)
2	静岡朝日テレビ　開局35周年記念 オディロン・ルドン　夢の起源　幻想のふるさと、ボルドーから	6月29日(土)－8月25日(日) <開館51日間>	16,907人 (332人/日)
3	はじめての美術　絵本原画の世界2013	9月14日(土)－10月27日(日) <開館38日間>	44,385人 (1,168人/日)
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年　徳川慶喜	11月2日(土)－12月15日(日) <開館38日間> ※前期：11月2日(土)－11月24日(日) 後期：11月26日(火)－12月15日(日)	15,260人 (402人/日)
5	テレビ静岡開局45周年記念　シャガール展	1月2日(木)－3月30日(日) <開館76日間>	57,591人 (758人/日)

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成26(2014)年度			計6本　155,028人
1	巨匠の眼　川端康成と東山魁夷	4月12日(土)－6月1日(日) <開館44日間>	15,475人 (352人/日)
2	読売新聞創刊140周年記念・静岡第一テレビ開局35周年 法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り―	6月14日(土)－7月27日(日) <開館38日間>	26,566人 (699人/日)
3	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 ～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～	8月4日(月)－9月23日(火・祝) <開館48日間>	66,773人 (1,391人/日)
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業・静岡市文化振興財団設立20周年記念事業 国宝・久能山東照宮展―家康と静岡ゆかりの名宝	10月4日(土)－11月24日(月・祝) <開館45日間>	20,353人 (452人/日)
5	ロイヤル・アカデミー展　イギリス美術の華麗なる150年	12月6日(土)－1月25日(日) <開館41日間>	16,034人 (391人/日)
6	没後100年　小林清親展　文明開化の光と影をみつめて	2月7日(土)－3月22日(日) <開館38日間>	9,827人 (259人/日)

8－3　組織図・職員名簿

＜組織図＞



＜職員名簿＞(平成26年度)

館　長	田中　豊稲
副館長(総務課長兼務)	落合　廣明
(総務課)	
主　査	村上　真琴
主事補	青島　祐司
嘱　託	内山　奈穂
嘱　託	岩倉　牧
(学芸課)	
学芸課長	以倉　新(近・現代美術)
係　長	吉田　恵理(日本美術)
学芸員	山本　香瑞子(日本近代美術)
学芸員	小川　かい(西洋美術)
学芸員	森谷　紗世(教育普及)
学芸員	青木　良平(西洋美術)
学芸員	伊藤　鮎(西洋美術)
学芸員	大石　沙織(日本史)
学芸員	安岡　真理(教育普及)
嘱　託	大庭　千恵子(広報)

8－4　条例・施行規則

○静岡市美術館条例

平成21年7月16日
条例第50号

（設置）
第1条　静岡市は、多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、及び美術文化の交流を促進することにより、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民の美術文化を振興することを目的として、次の施設を設置する。

名称	位置
静岡市美術館	静岡市葵区紺屋町17番地の1

（事業）
第2条　静岡市美術館（以下「美術館」という。）は、次に掲げる事業を行う。
⑴　美術文化に係る展示会の開催に関すること。
⑵　美術文化の教育及び普及に関すること。
⑶　美術文化に係る講演会、講習会等の開催に関すること。
⑷　美術文化に係る調査及び研究に関すること。
⑸　美術文化に係る情報の収集及び提供並びに広報活動に関すること。
⑹　美術作品及び美術に係る資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
⑺　前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業
（開館時間）
第3条　美術館の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、第7条の規定による指定を受けて美術館の管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる。
（休館日）
第４条　美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更し、又は臨時に休館することができる。
⑴　月曜日（当日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その翌日以降の最初の休日以外の日）
⑵　12月28日から翌年の1月4日までの日
（入館の制限）
第5条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退館を命ずることができる。
⑴　公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
⑵　美術館の管理上支障があると認めるとき。
⑶　前2号に掲げる場合のほか、必要があると認めるとき。
（損害賠償の義務）
第6条　美術館の施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。
（指定管理者による管理）
第7条　美術館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するものに行わせるものとする。
（指定管理者の指定の申請）
第8条　指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を添付して市長に申請しなければならない。
（指定管理者の指定の基準）
第9条　市長は、前条の規定による申請を審査し、次に掲げる基準に適合するもののうちから、最も効率的かつ
適切な管理を行うことができると認めるものを指定管理者として指定するものとする。
⑴　事業計画が美術館の設置の目的を達成するためにふさわしいものであること。
⑵　事業計画が美術館の効果的な管理を実現するものであること。
⑶　事業計画に沿った管理を行うために必要な物的・人的能力を有していると認められること。
⑷　管理の業務を適切かつ円滑に行うための経理的基礎を有していること。
（指定管理者の指定等の公告）
第10条　市長は、指定管理者を指定したとき、又はその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告するものとする。
（指定管理者の業務の範囲）
第11条　指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。
⑴　第2条に掲げる事業の実施に関すること。
⑵　美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
⑶　前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務
（指定管理者の原状回復の義務）
第12条　指定管理者は、その指定に係る管理の業務の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設又は設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。
（委任）
第13条　この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。
附　則
この条例は、公布の日から起算して12月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第1条、第8条から第11条まで及び第13条の規定は、公布の日から施行する。
（平成22年規則第9号で、規則で定める日を平成22年5月1日とした。）

○静岡市美術館条例施行規則

平成21年11月12日
規則第103号

(趣旨)
第1条　この規則は、静岡市美術館条例(平成21年静岡市条例第50号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
(入館者の遵守事項)
第2条　静岡市美術館(以下「美術館」という。)の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。
⑴　火災、爆発その他の危険を生ずるおそれのある行為をしないこと。
⑵　騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
⑶　動物(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)又は他人に迷惑を及ぼすおそれのある物品を持ち込まないこと。
⑷　美術館資料、器物又は施設を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
⑸　許可を受けないで広告類を掲出し、又はまき散らす行為をしないこと。
⑹　所定の場所以外の場所へ立ち入らないこと。
⑺　所定の場所以外の場所で飲食をしないこと。
⑻　喫煙をしないこと。
⑼　許可を受けないで寄附金品の募集、物品の販売若しくは陳列又は飲食物の販売若しくは提供をしないこと。
⑽　前各号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認める行為をしないこと。
(指定管理者の指定の申請書類)
第3条　条例第8条の規定による申請は、静岡市美術館指定管理者指定申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて行うものとする。
⑴　静岡市美術館事業計画書(様式第2号)
⑵　静岡市美術館事業計画に関する収支予算書(様式第3号)
⑶　定款、寄附行為又はこれに準ずるものの謄本
⑷　役員名簿
⑸　経営(事業)状況に関する書類
⑹　前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類
(協定の締結)
第4条　市長は、指定管理者を指定したときは、当該指定管理者と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。
2　前項の協定には、次に掲げる事項を掲載するものとする。
⑴　事業計画に関する事項
⑵　市が支払うべき管理費用に関する事項
⑶　管理業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
⑷　事業報告に関する事項
⑸　前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項
(雑則)
第5条　この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、別に定める。
附　則
この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、静岡市美術館条例附則本文に規定する規則で定める日から施行する。

様式第1号(第3条関係)

静岡市美術館指定管理者指定申請書

年　月　日

(あて先)静岡市長

所在地(法人以外の団体にあっては、その代表者の住所)

申請者　名称

代表者氏名　印

電話

静岡市美術館の指定管理者の指定を受けたいので、静岡市美術館条例第8条及び静岡市美術館条例施行規則第3条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第2号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画書

事業計画の理念・方針
実施事業の概要(事業の構成及び年間計画表)
実施体制図
特記事項(効果的に事業を行うための方策、市民サービスの向上のための施策等)

様式第3号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画に関する収支予算書

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
支出			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円

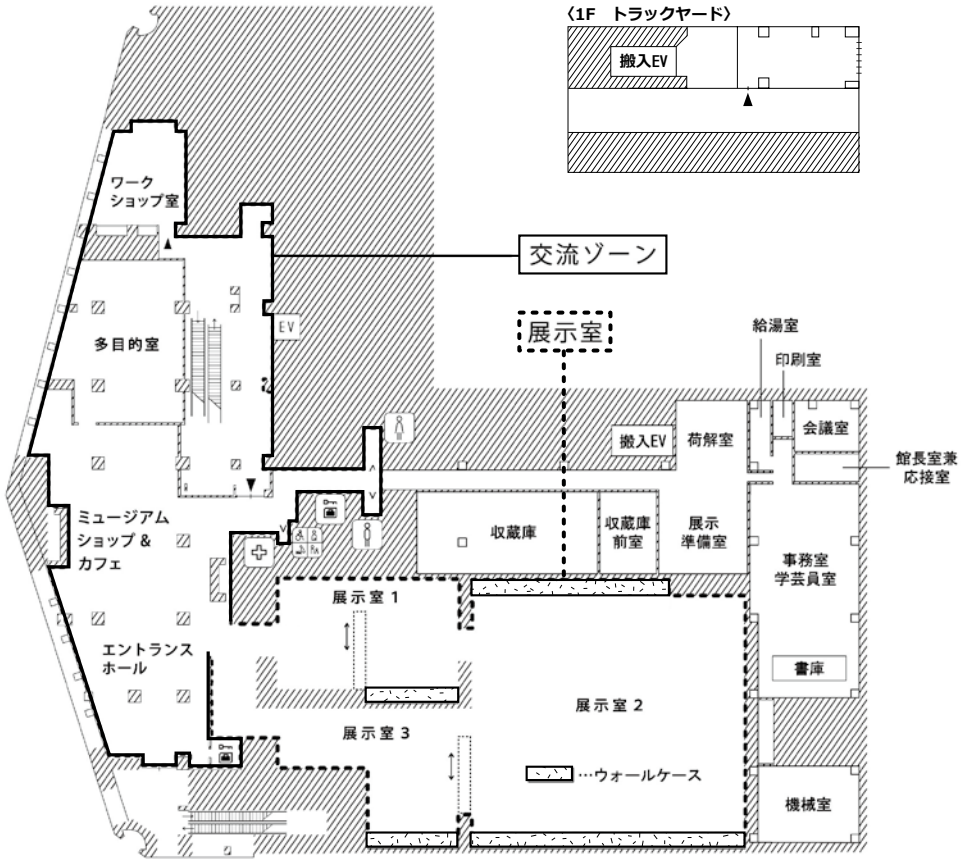
8−5　施設・建築概要

所在地：静岡市葵区紺屋町17番地の１号　葵タワー３階
設置者：静岡市
構造：S造(一部RC・SRC造)
内装設計：株式会社丹青研究所
内装建築工事：株式会社木内建設
延床面積：3,393.22㎡
館内施設：
(展示関係)展示室1：209.76㎡　展示室2：713.03㎡
展示室3：204.17㎡
天井高：4.1m－4.5m
総壁面長(可動壁含む)：290m
床荷重：500kg/㎡
ウォールケース：総長60m（エアータイト型壁面ガラスケース）
(収蔵関係)収蔵庫：141㎡　収蔵庫前室：46㎡
(管理関係)事務室・学芸員室：179㎡　会議室31㎡
館長室兼応接室：19㎡
(交流ゾーン)エントランスホール：612㎡（天井高6m）　多目的室：180㎡（天井高5m）　ワークショップ室：92㎡（天井高3m）
設備：
(電気)[本体ビル]3相3線6.6KV（地中引込方式)、非常用発電設備
(給排水)[本体ビル]給水：上水、雑用水2系統　排水：汚水、雑排水分流方式
(消火)N2ガス消火設備(展示収蔵エリア)、スプリンクラー（その他エリア)、消火用散水栓、消火器、自動火災報知設備
(空調)[本体ビル]ガス焚き吸収冷温水機及び排熱冷温水機(熱源)、4管方式により冷温水供給
[美術館]展示室：エアハンドリングユニット(床置きコンパクト型)
収蔵庫：空冷パッケージ(インバータ・セパレート型)エアコン
その他エリア：ファンコイルユニット

＜静岡市美術館整備費内訳(単位：円)＞

保留床購入費 (葵タワー再開発組合からの占有床購入経費)	￥2,461,200,000
内装・展示工事費	￥859,533,150
(内訳)建築工事費 電気工事費 衛生工事費	￥712,007,100 ￥132,826,050 ￥ 14,700,000
整備費合計	￥3,378,123,924
(内訳)まちづくり交付金(国庫補助金) 市債(合併特例債) 一般財源	￥1,180,000,000 ￥1,571,200,000 ￥626,923,924

施設見取り図



平成26(2014)年度
静岡市美術館　年報 No.5
2015年10月　発行

編集・発行　静岡市美術館
〒420-0852
静岡市葵区紺屋町17-1　葵タワー3階
TEL 054-273-1515(代)
FAX 054-273-1518

印刷　株式会社アプライズ

©Shizuoka City Museum of Art 2015